
海陽町 教育振興計画策定に関する
アンケート調査
(教職員)

－ 報 告 書 －

令和７年 １１ 月

海陽町 教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の属性	2
1	あなたご自身について	2
①	性別	2
②	経験年数	2
③	担任経験	2
III	集計結果	3
2	学校教育について	3
問1	子どもに身に付けさせるべきこと	3
問2	資質向上のための研修の実施	5
問3	研修の必要性	6
問4	教職員としての行動	13
問4-1	できていない理由	19
問5	職務の多忙感	20
問5-1	多忙感を解消する方法	21
問6	職務の課題	22
問7	海陽町の教育について	24
問8	ICT教育で学んだことをどのように生かしてほしいか	26
問9	グローバル社会で活躍する人材を育てるために必要な力	29
問10	英語を学んだことをどのように生かしてほしいか	31
問11	職務の悩み	34
問11-1	職務の悩みを相談する相手	36
問12	保護者の理解・協力について	37
問13	地域の理解・協力について	37
問14	地域に協力してほしいこと	38
問15	教育振興の取組に対する満足度と重要度	39
問16	家庭教育で重視していること	50
3	町内の小・中学校について	51
問17	充実・改善してほしい学校の施設・設備について	51
問18	児童・生徒の減少が子どもに与える影響	52
問19	学校再編・統合に関するご意見	54
問20	海陽町の学校教育に関するご意見	55

I 調査の概要

- 1 調査時期：令和7年9月26日～10月10日
- 2 調査対象者：かいようこども園、海南小学校、海部小学校、穴喰小学校、海陽中学校、穴喰中学校に勤務する教職員（悉皆調査）

- 3 回収率等：

調査票	配布数	有効回収数	有効回収率
教職員	109 件	80 件	73.4%

- 4 報告書の見方について

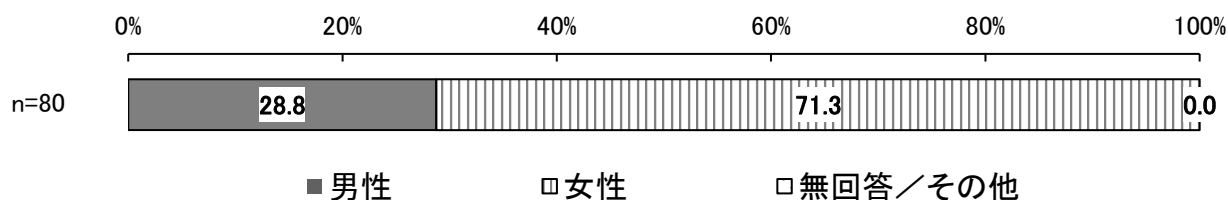
- ・ 回答結果の割合「%」は、回答者数（n）に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答者数（n）に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、「%」合計が100%を超える場合があります。
- ・ グラフ及び表中に「未回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答条件に沿っていないものを含んでいます。
- ・ グラフ及び表中の n（number of case）は、集計対象者総数です。

II 回答者の属性

1. あなたご自身について

① 性別 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

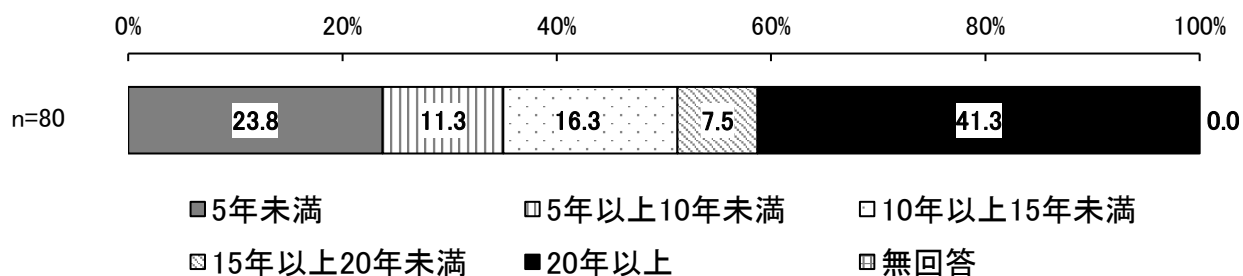
性別は、男性が28.8%、女性が71.3%となっています。



② 経験年数 教職員としての経験年数を教えてください。(○は1つ)

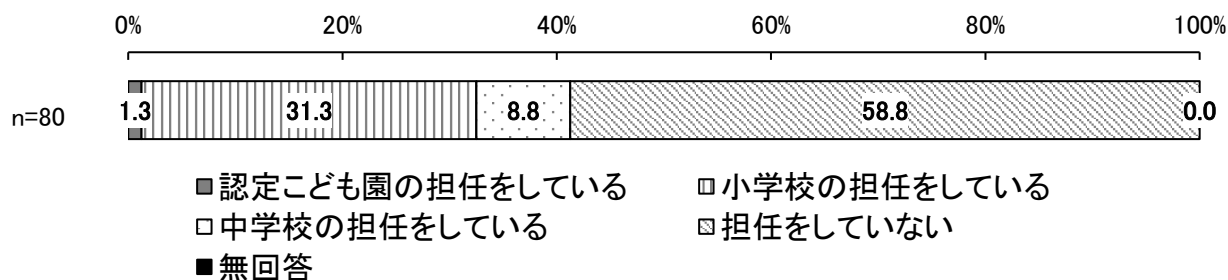
経験年数別にみると、上位から「20年以上」41.3%、「5年未満」23.8%、「10年以上15年未満」16.3%、「5年以上10年未満」11.3%、「15年以上20年未満」7.5%となっています。

教職員としての経験年数10年以上は65.1%となっています。



③ 担任経験 現在、担任をしていますか。(○は1つ)

担任経験別にみると、「現在、担任をしている」41.4%（認定こども園の担任1.3%、小学校の担任31.3%、中学校の担任8.8%）、「担任をしていない」58.8%となっています。



Ⅲ 集計結果

２．学校教育について

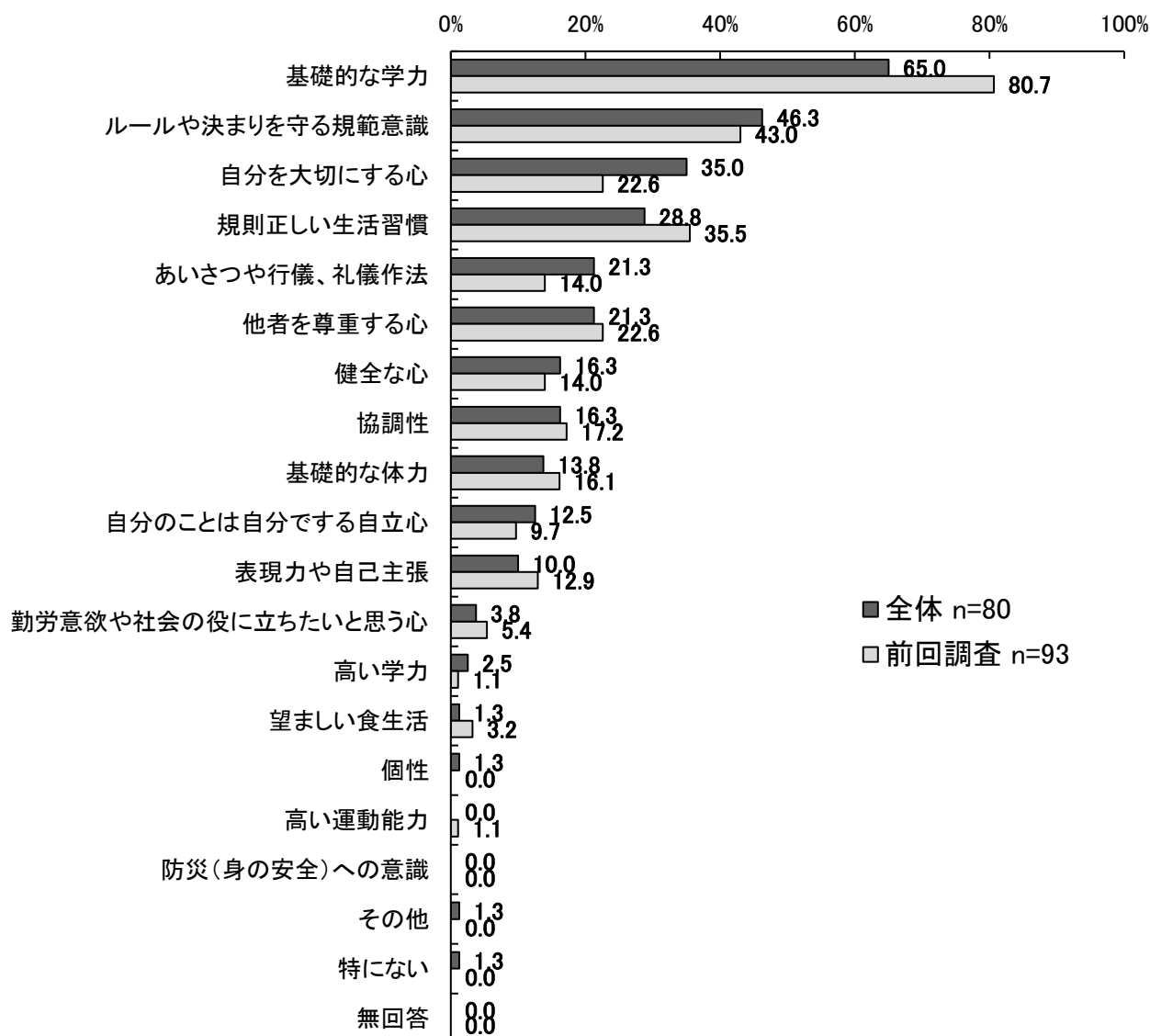
問１ 子どもに身に付けさせるべきこと

あなたは、あなたの学校の中で、子どもに特に身に付けさせる必要があると思うことは何ですか。（○は３つまで）

子どもに身に付けさせるべきことについて、全体では、上位から「基礎的な学力」65.0%、「ルールや決まりを守る規範意識」46.3%、「自分を大切にする心」35.0%となっています。前回調査と比較すると、「基礎的な学力」が15.7ポイント減少し、「自分を大切にする心」が12.4ポイント増加しています。

経験年数別にみると、「基礎的な学力」と「ルールや決まりを守る規範意識」は経験年数が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられます。

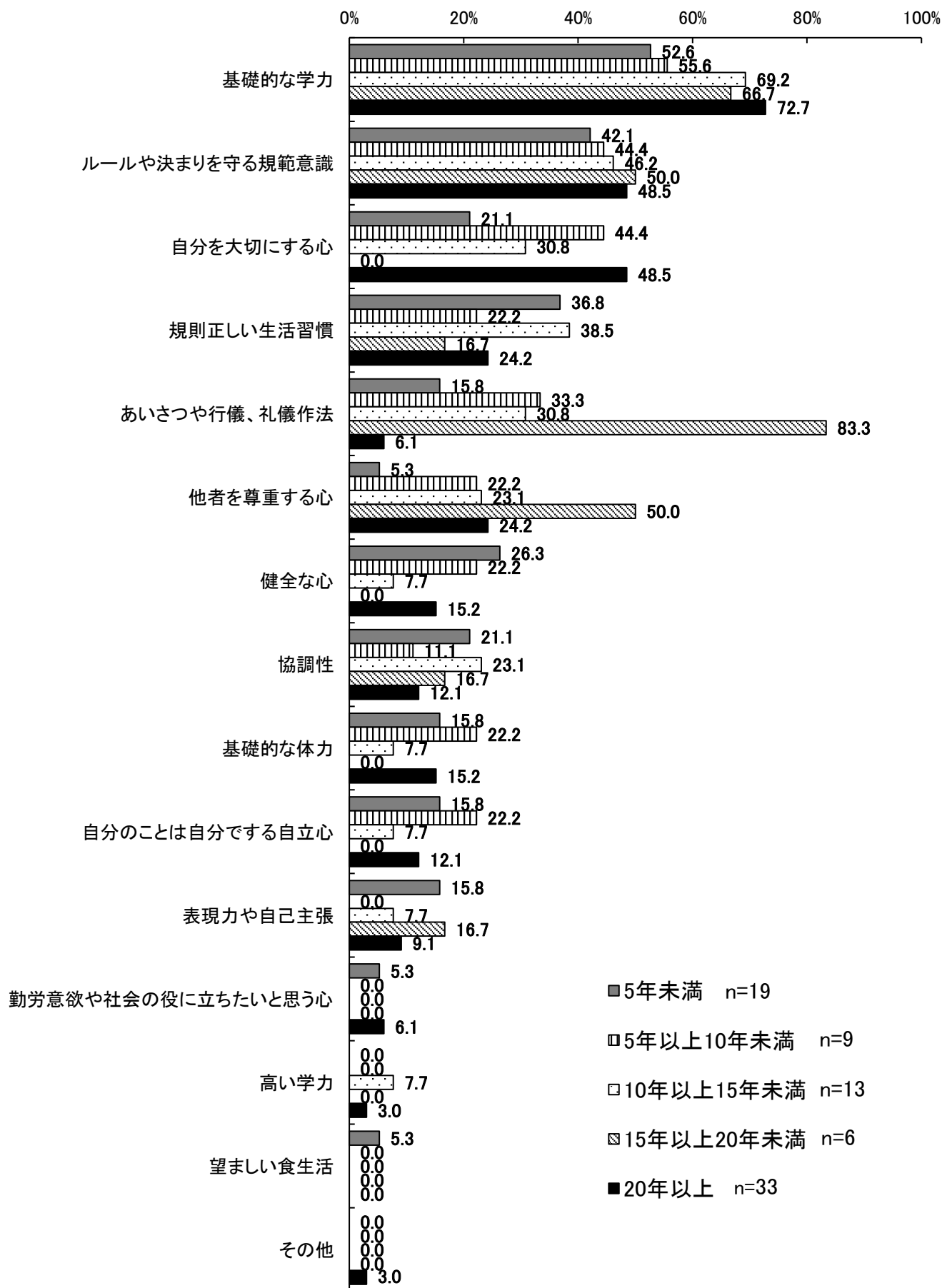
【全体・前回調査】



（その他の回答）

・生きがい

【経験年数別】



問 2 資質向上のための研修の実施

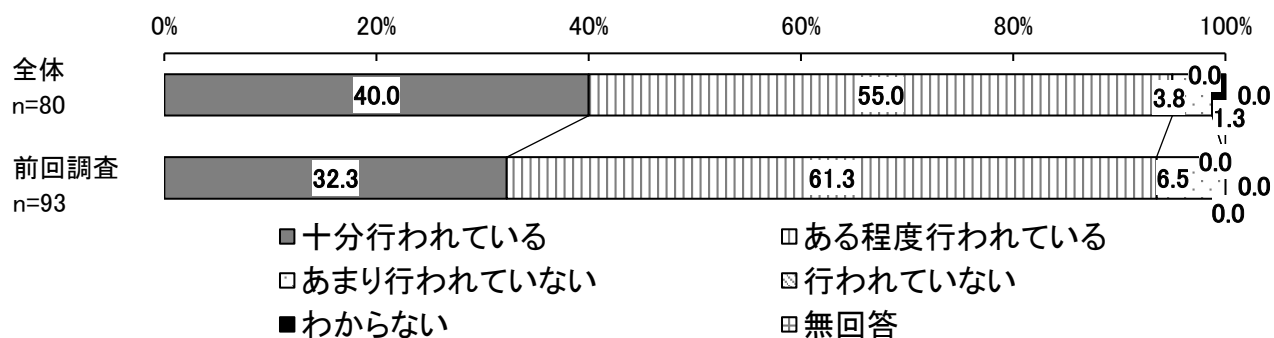
あなたの学校では、教職員としての資質向上のための研修が十分行われていますか。

(○は1つ)

資質向上のための研修は、“行われている”(「十分行われている」と「ある程度行われている」の合計。)が95.0%、「あまり行われていない」が5.1%となっています。

前回調査と比較すると、「十分行われている」が7.7ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



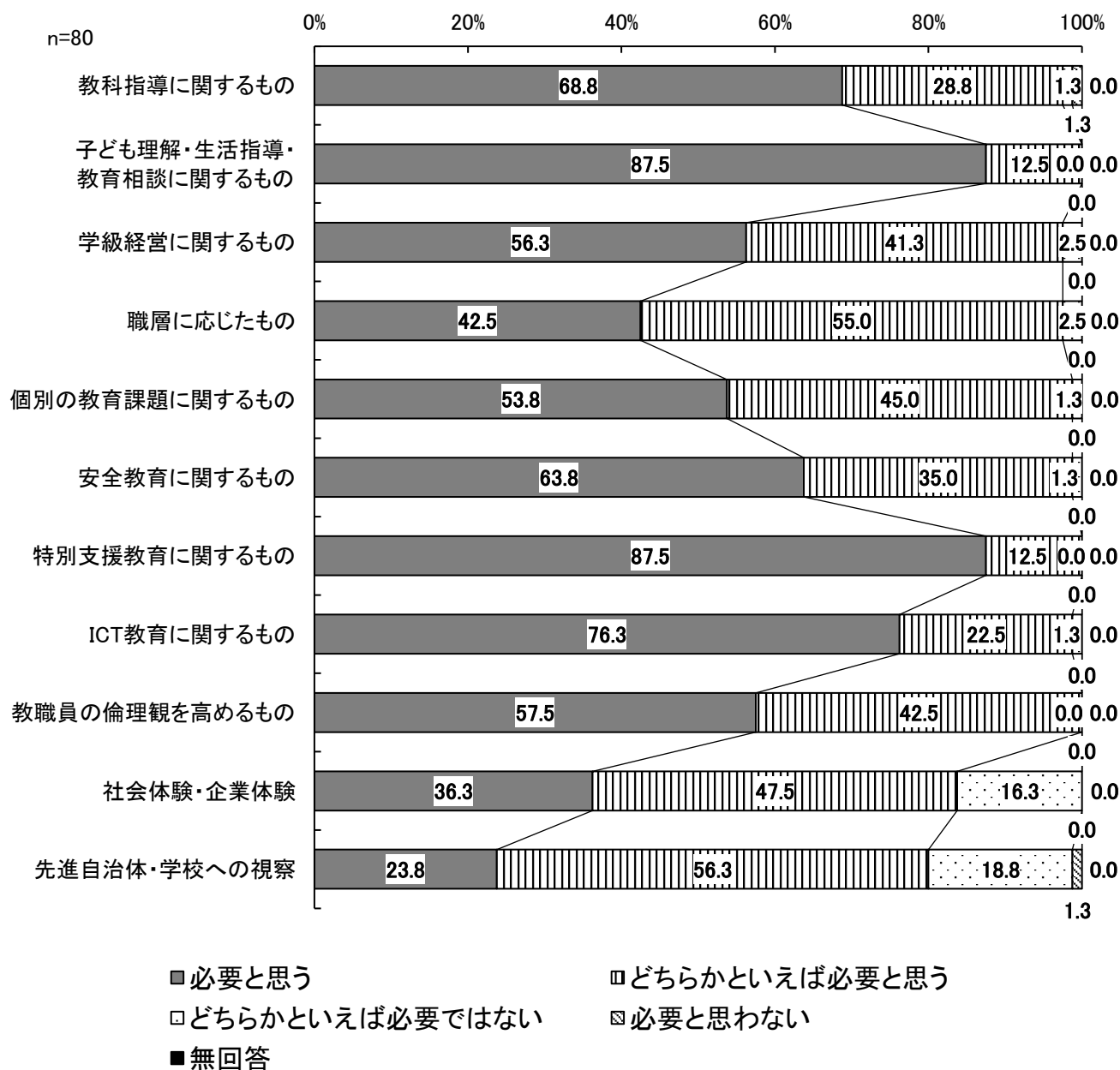
問 3 研修の必要性

次の研修について、あてはまることは何ですか。（それぞれにつき、1つに○）

研修の必要性について、全体では、すべての項目について“必要”（「必要と思う」と「どちらかといえば必要と思う」の合計。以下同様）が80%を超えています。

「必要と思う」の割合が高いものは、上位から「子ども理解・生活指導・教育相談に関するもの」と「特別支援教育に関するもの」87.5%、「ICT教育に関するもの」76.3%となっています。

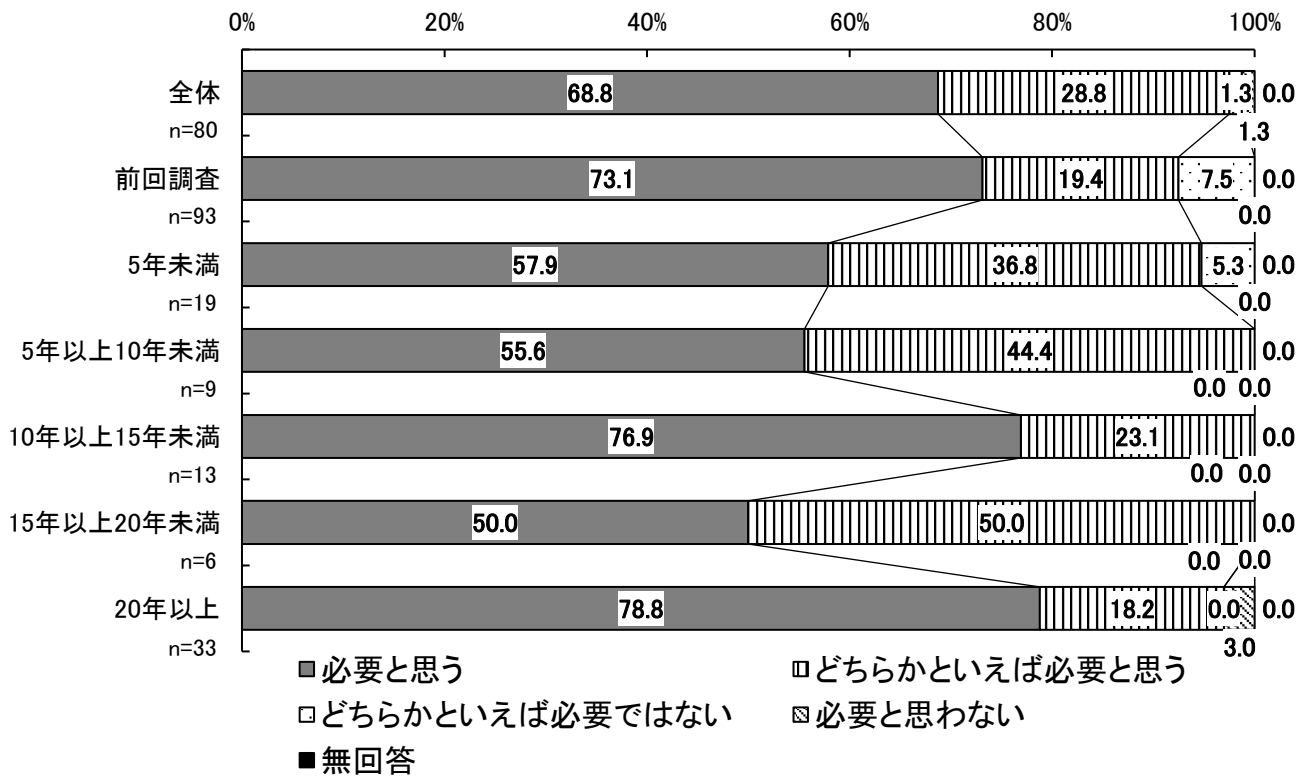
【全体】



各項目を経験年数別に集計・分析したものを、以下に示します。

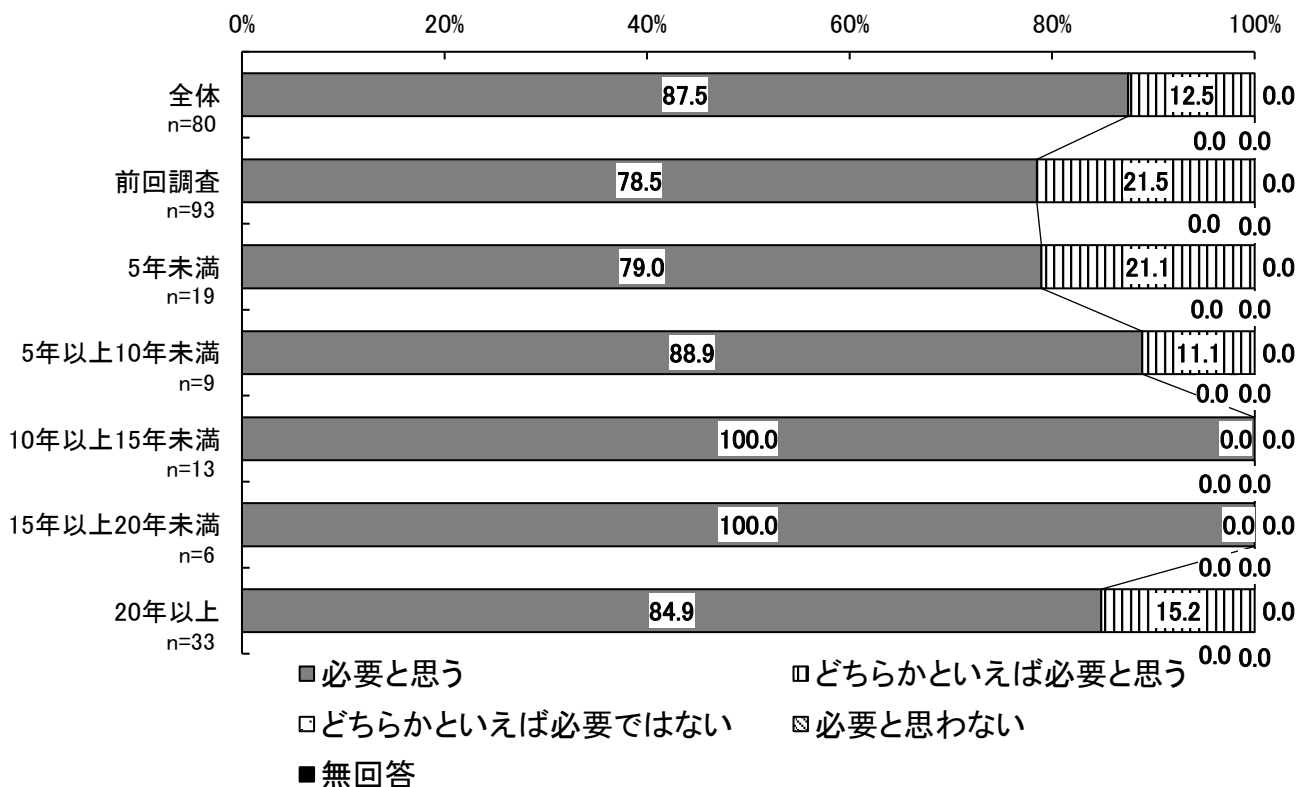
(1) 教科指導に関するもの

経験年数が5年以上10年未満から15年以上20年未満の方は、全員が“必要”と回答しています。



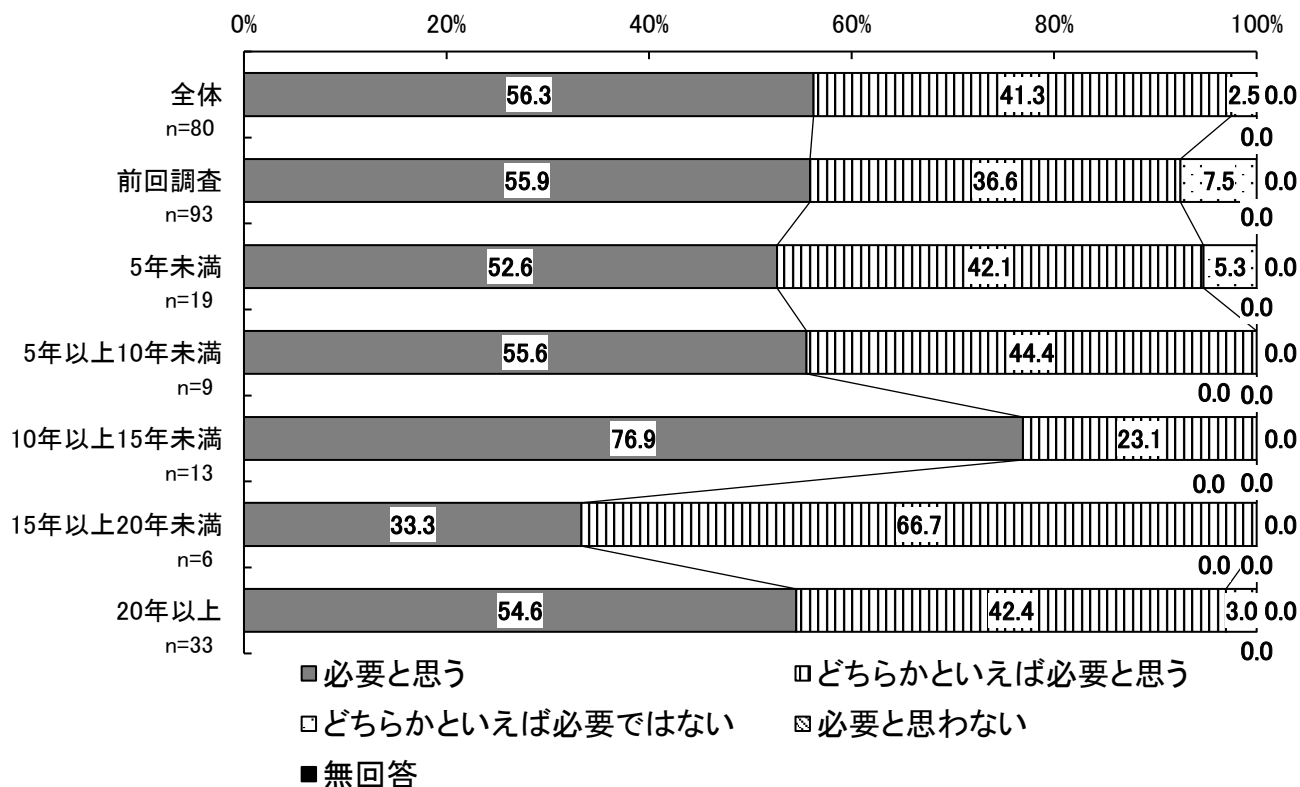
(2) 子ども理解・生活指導・教育相談に関するもの

経験年数に関わらず、全員が“必要”と回答しています。



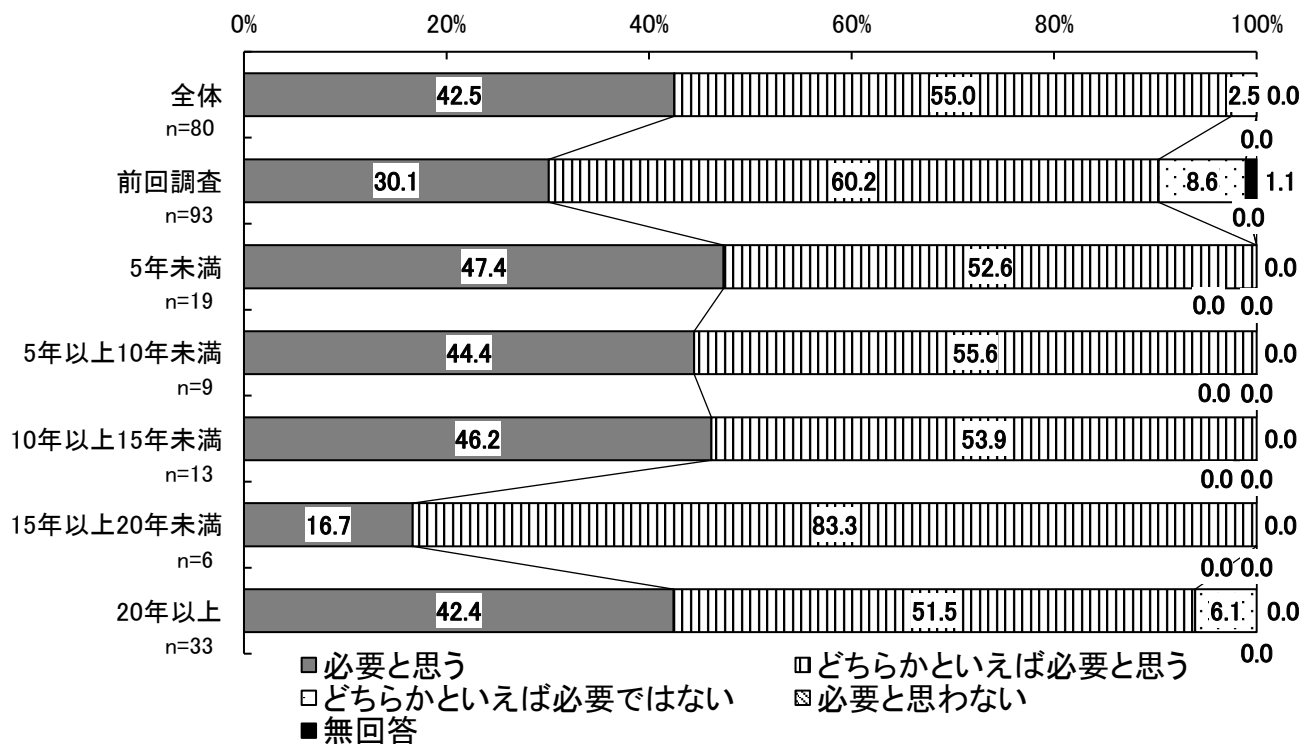
(3) 学級経営に関するもの

経験年数が5年以上10年未満から15年以上20年未満の方は、全員が“必要”と回答しています。



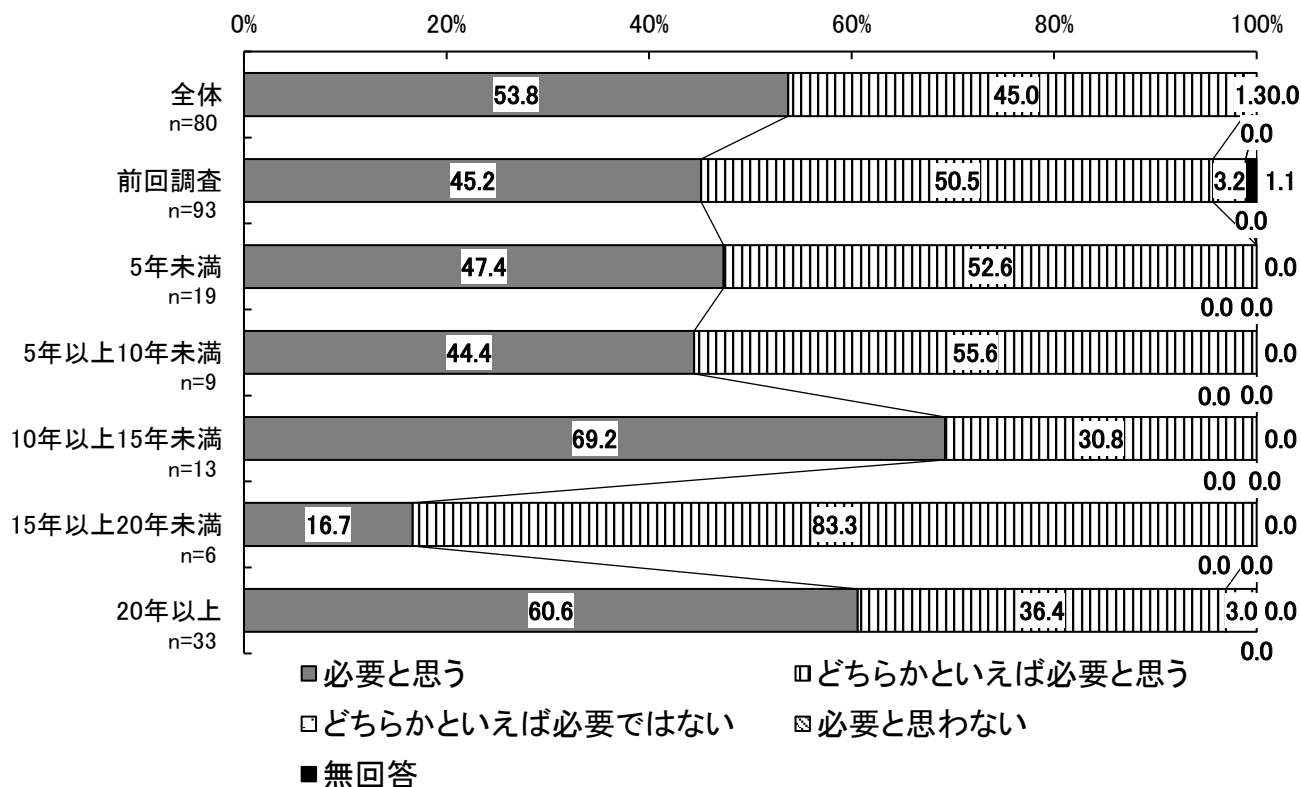
(4) 職層に応じたもの

経験年数が20年以上の方以外は、全員が“必要”と回答しています。



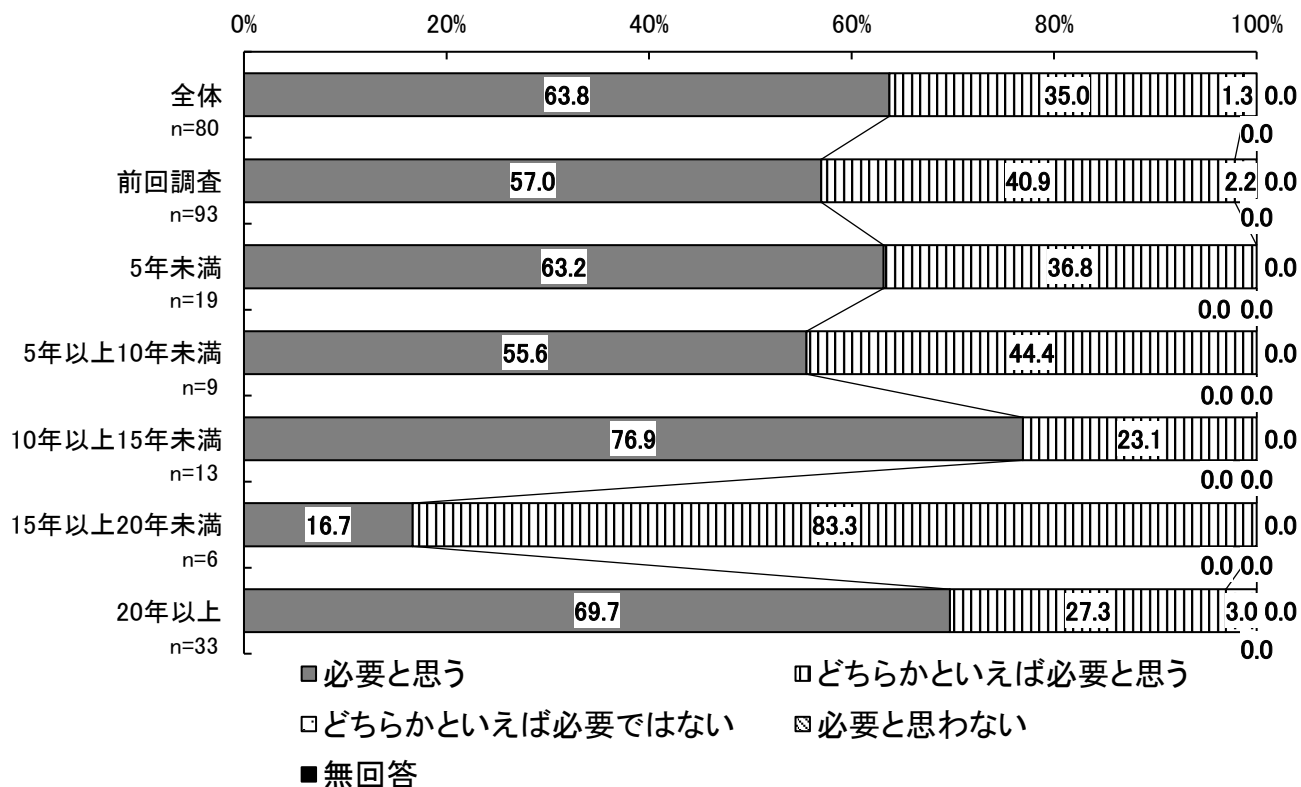
(5) 個別の教育課題に関するもの

経験年数が20年以上の方以外は、全員が“必要”と回答しています。



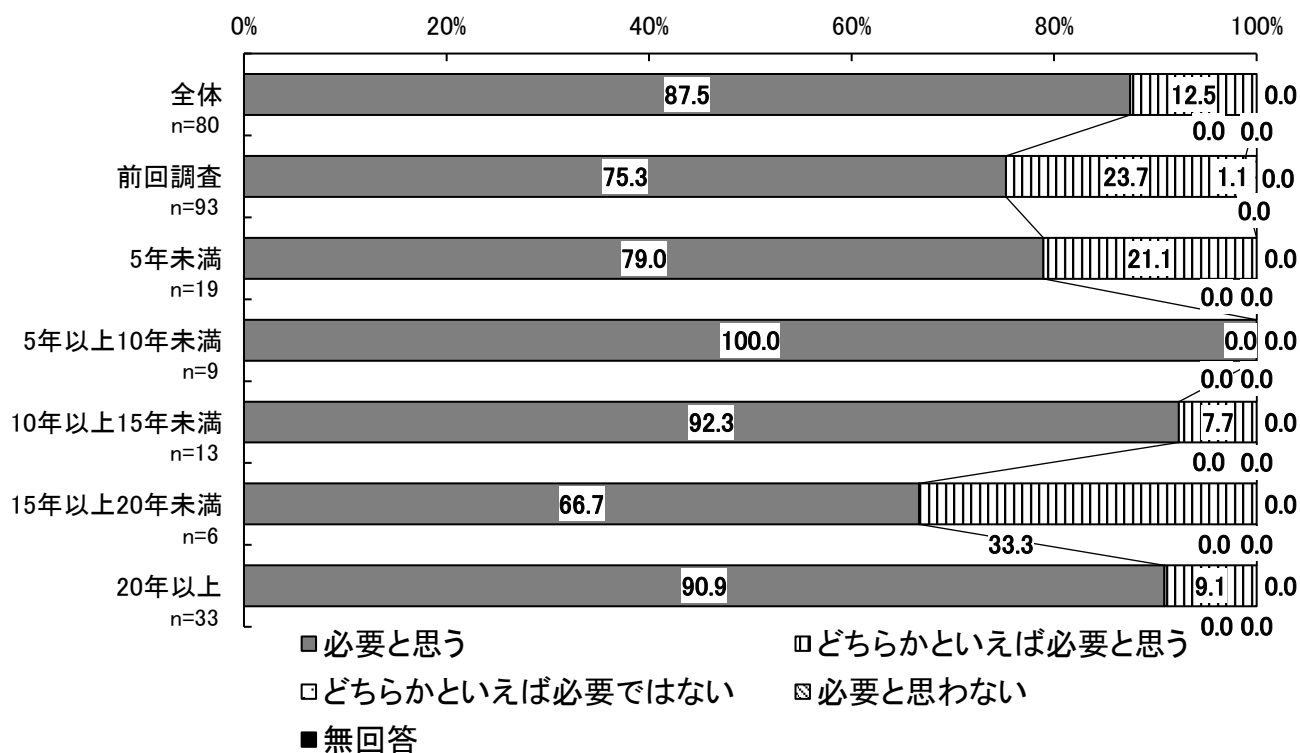
(6) 安全教育に関するもの

経験年数が20年以上の方以外は、全員が“必要”と回答しています。



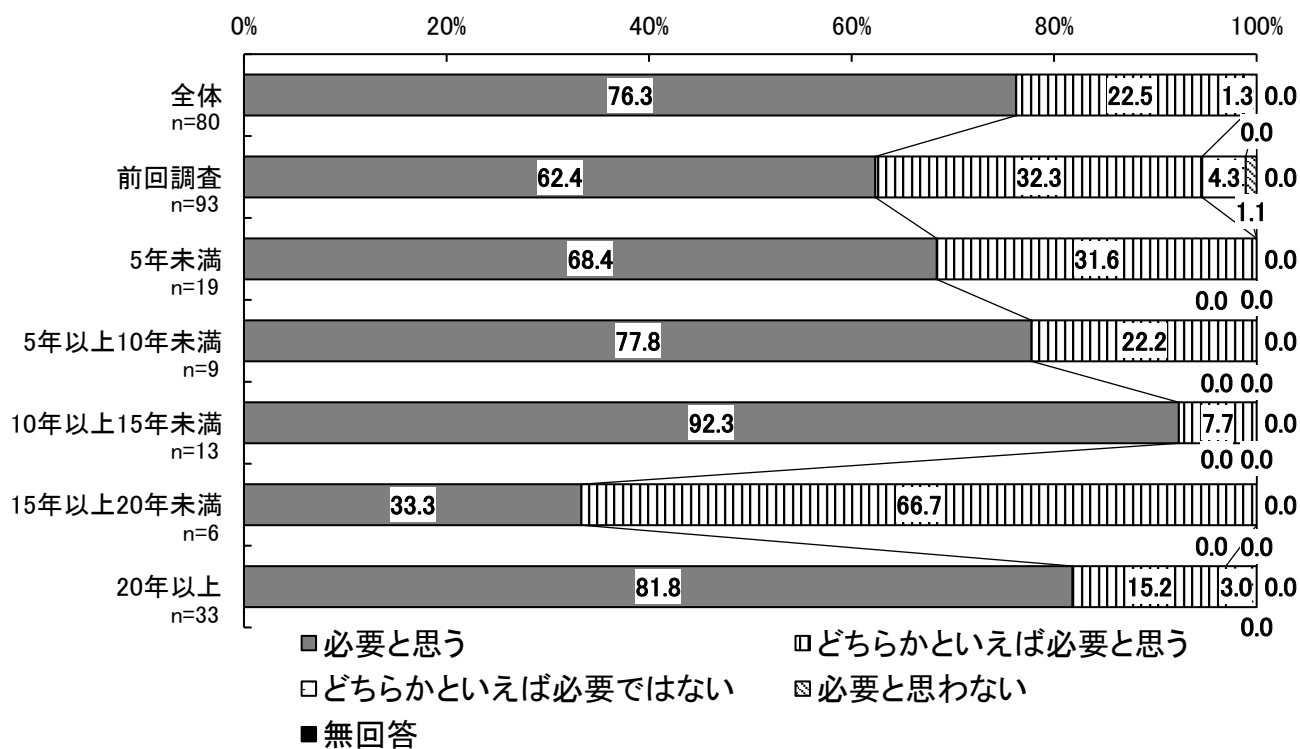
(7) 特別支援教育に関するもの

経験年数に関わらず、全員が“必要”と回答しています。



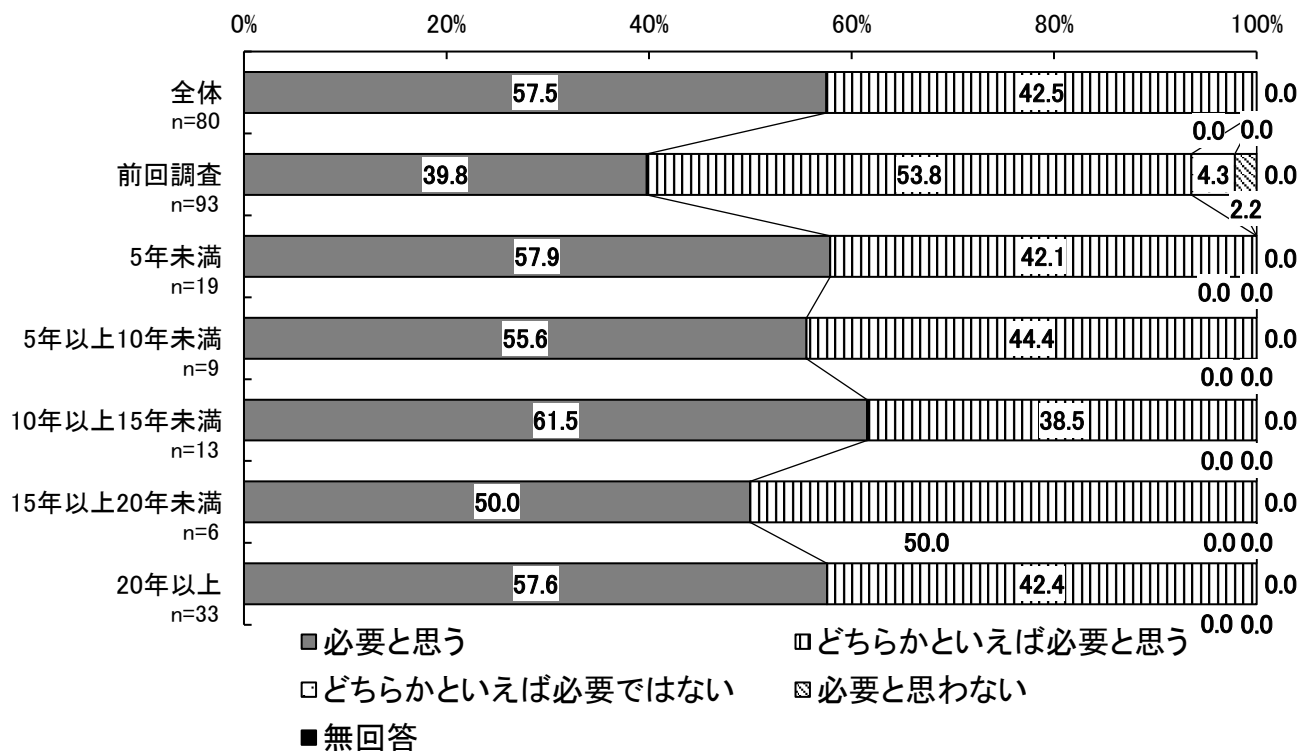
(8) ICT 教育に関するもの

経験年数に関わらず、全員が“必要”と回答しています。



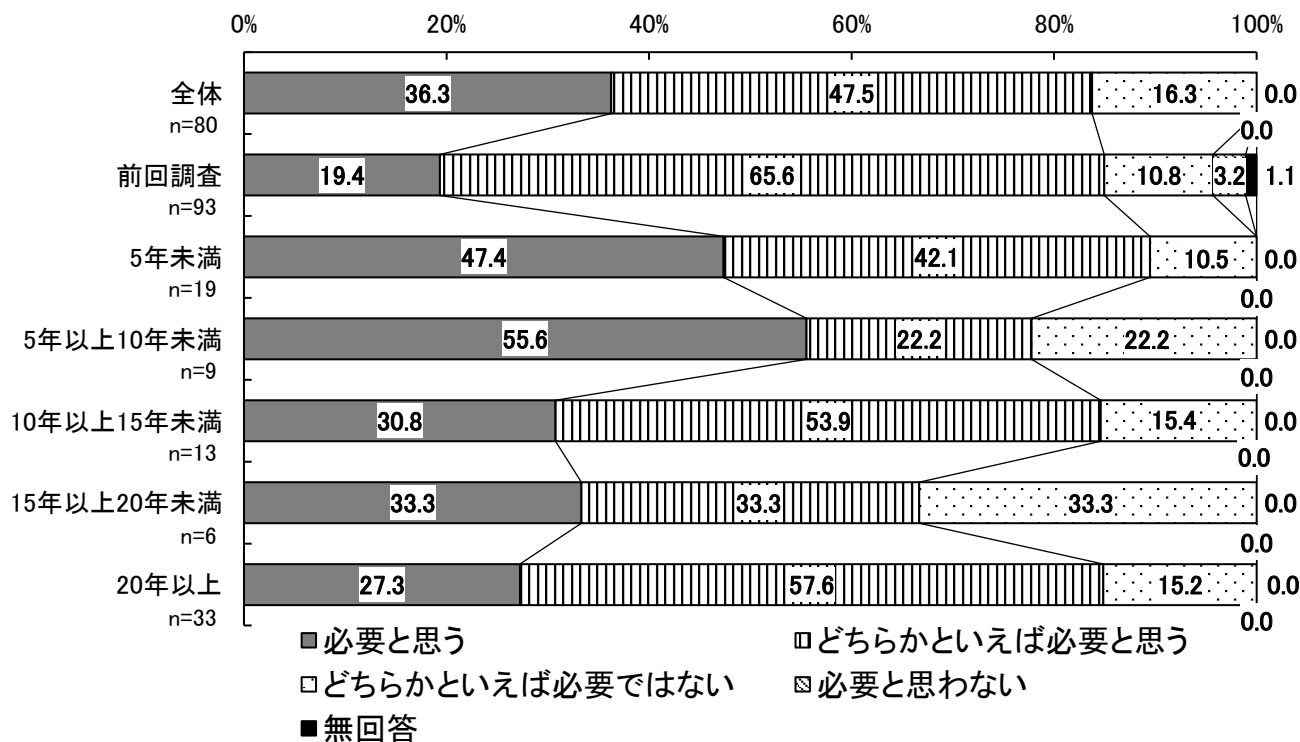
(9) 教職員の倫理観を高めるもの

経験年数に関わらず、全員が“必要”と回答しています。



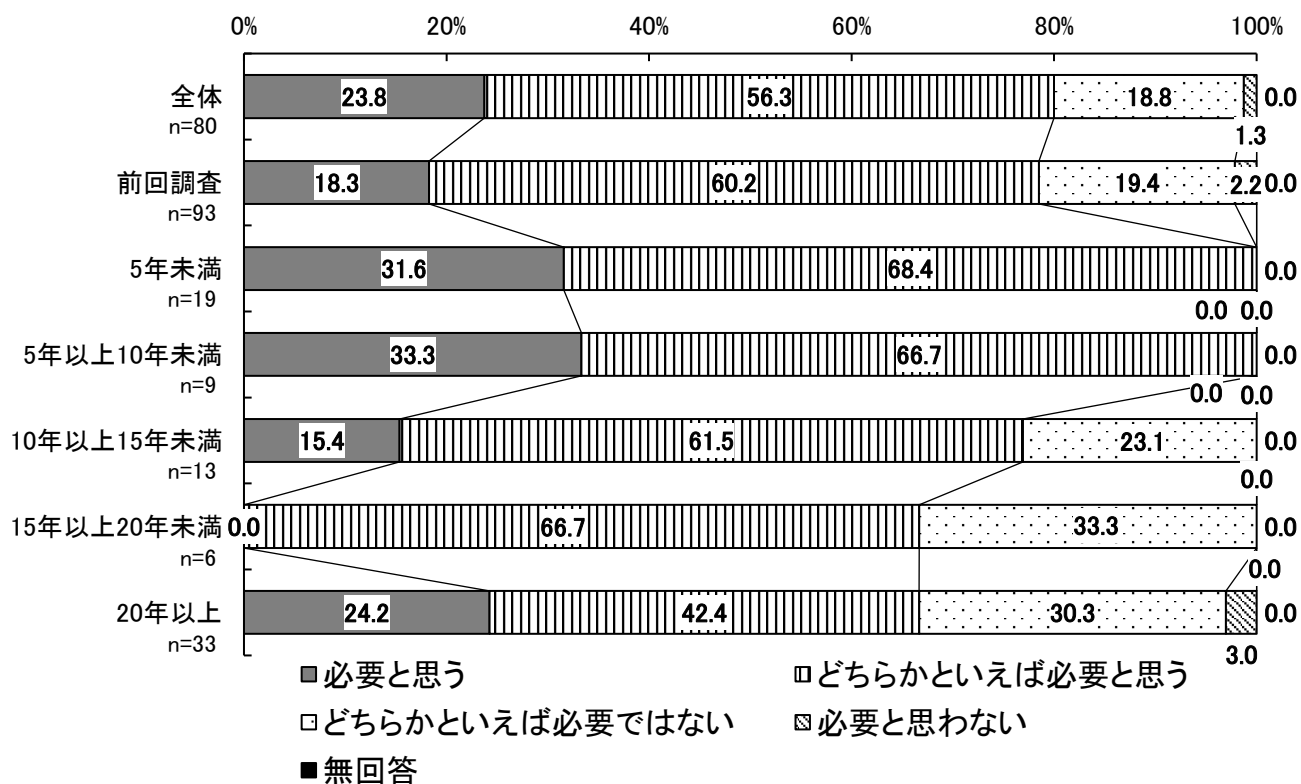
(10) 社会体験・企業体験

他の項目と異なり、すべての経験年数で「どちらかといえば必要ではない」の回答がされています。



(11) 先進自治体・学校への視察

経験年数が5年未満及び5年以上10年未満の方は、全員が“必要”と回答しています。



問4 教職員としての行動

あなたは、次のことについて、どの程度できていると思いますか。

(それぞれにつき、1つに○)

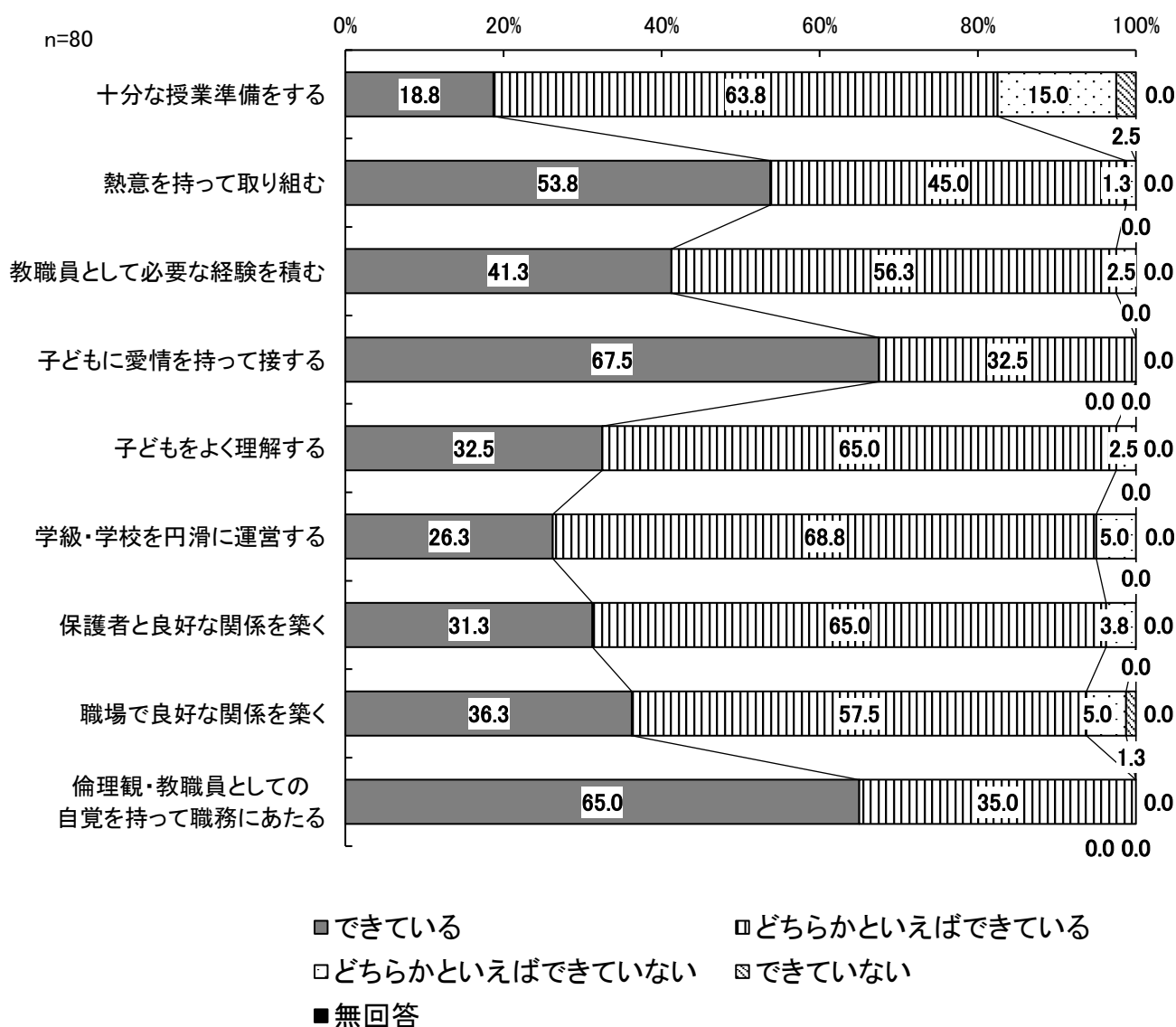
教職員としての行動は、全体では、すべての項目について“実行できている”(「できている」と「どちらかといえばできている」の合計。以下同様)が80%を超えています。

「できている」の割合が高いものは、上位から「子どもに愛情を持って接する」67.5%、「倫理観・教職員としての自覚を持って職務にあたる」65.0%、「熱意を持って取り組む」53.8%となっています。

一方で、“実行できていない”(「できていない」と「どちらかといえばできていない」の合計。以下同様)は、「十分な授業準備をする」17.5%と他の項目に比べて高くなっています。

【全体】

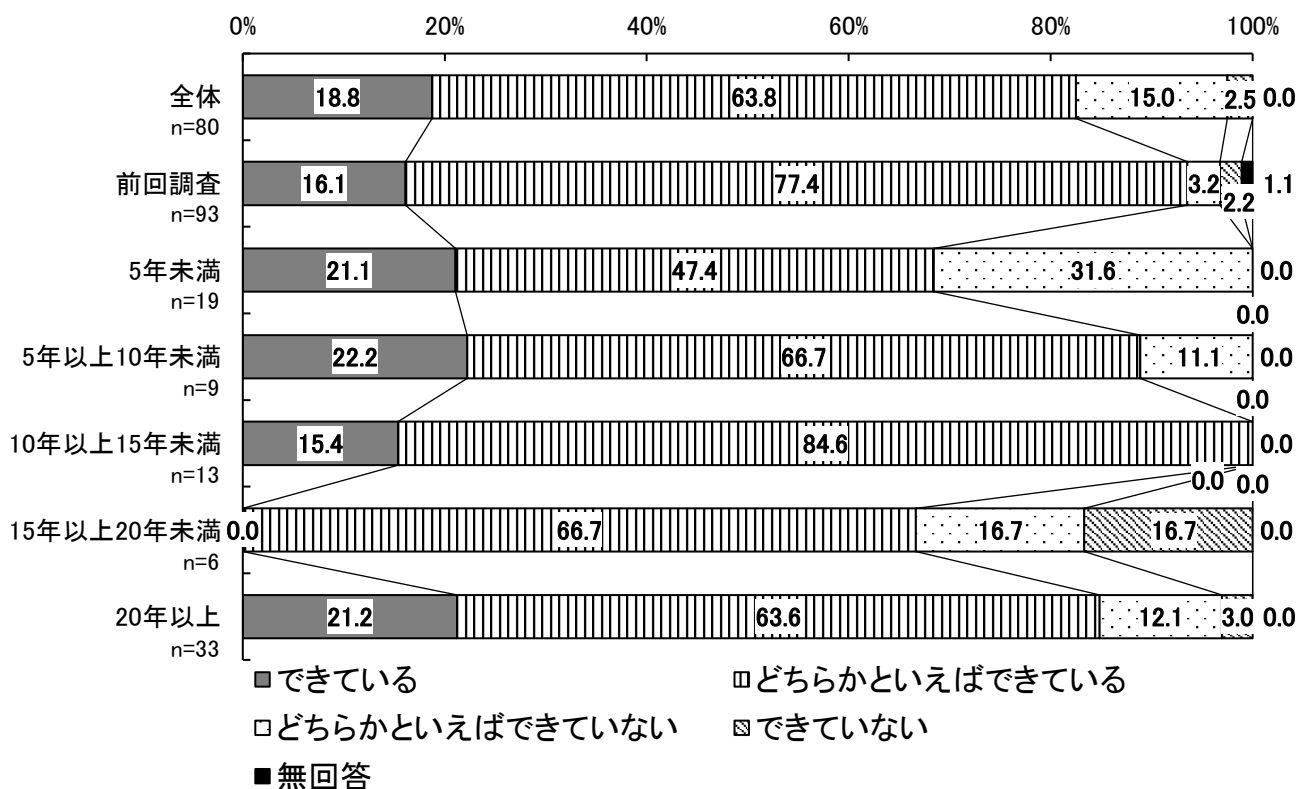
n=80



各項目を経験年数別に集計・分析したものを、以下に示します。

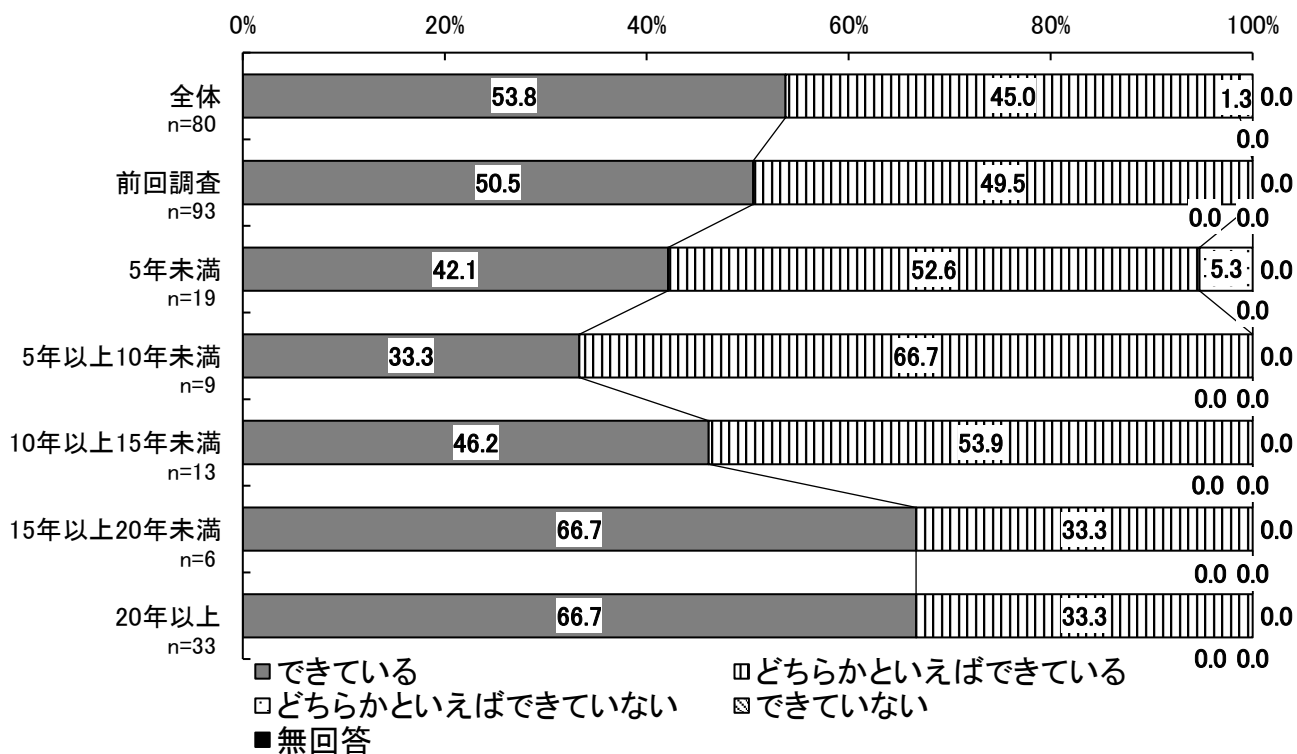
(1) 十分な授業準備をする

経験年数が5年未満の方のうち、3割が“実行できていない”と回答しています。



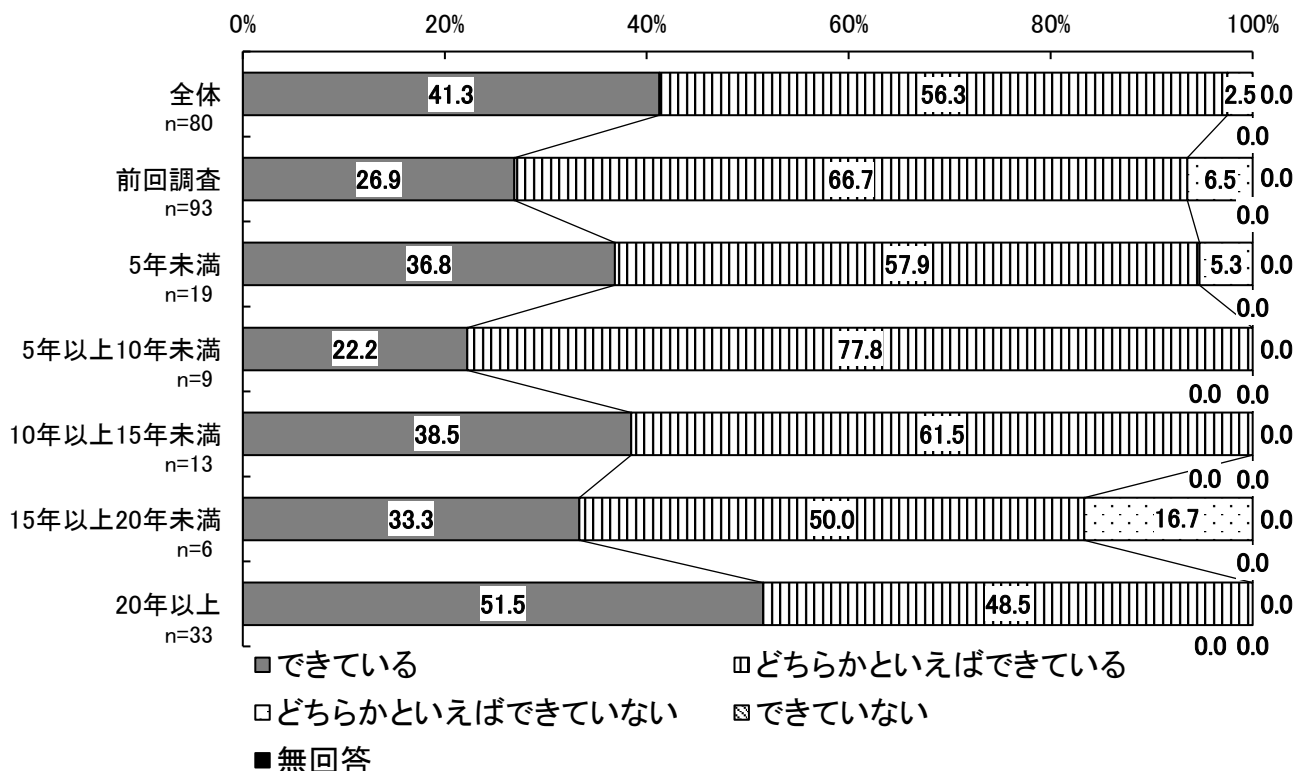
(2) 熱意を持って取り組む

経験年数が5年未満の方以外は、全員が“実行できている”と回答しています。



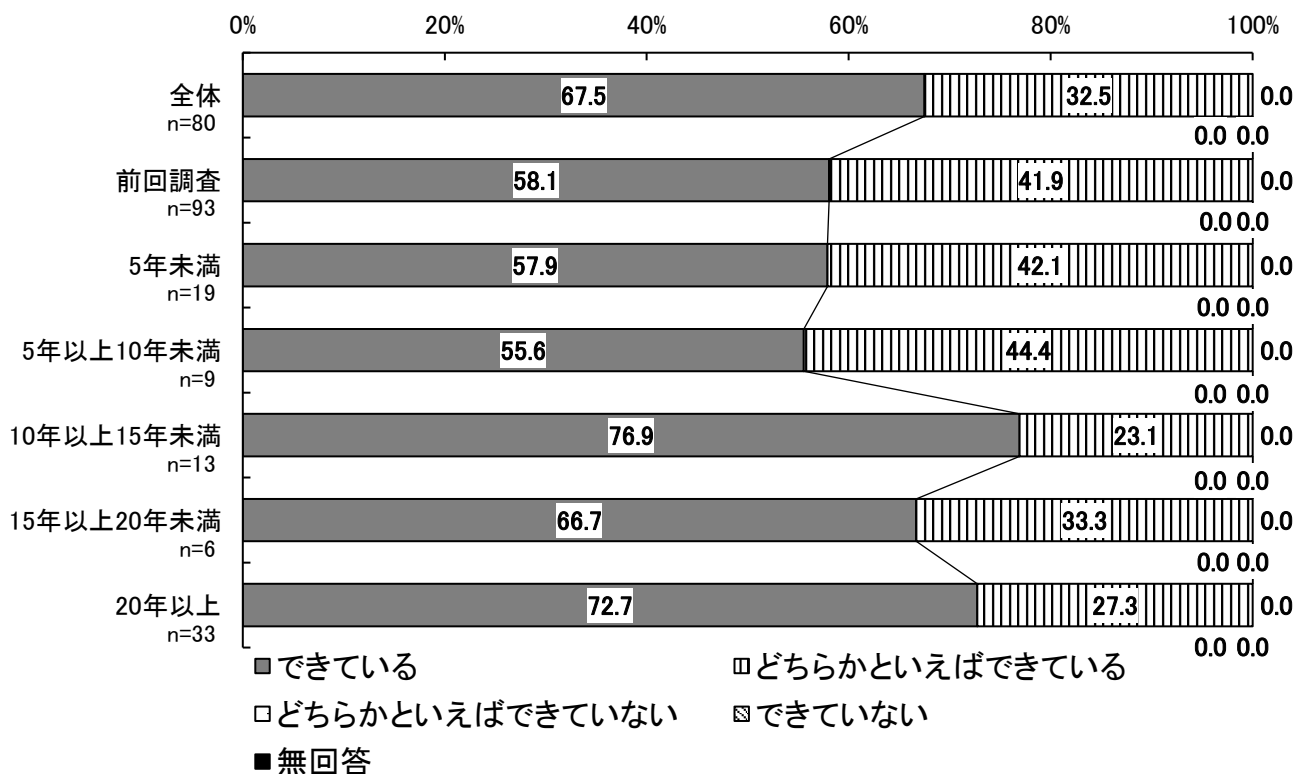
(3) 教職員として必要な経験を積む

経験年数が5年以上10年未満、10年以上15年未満、20年以上の方は、全員が“実行できている”と回答しています。



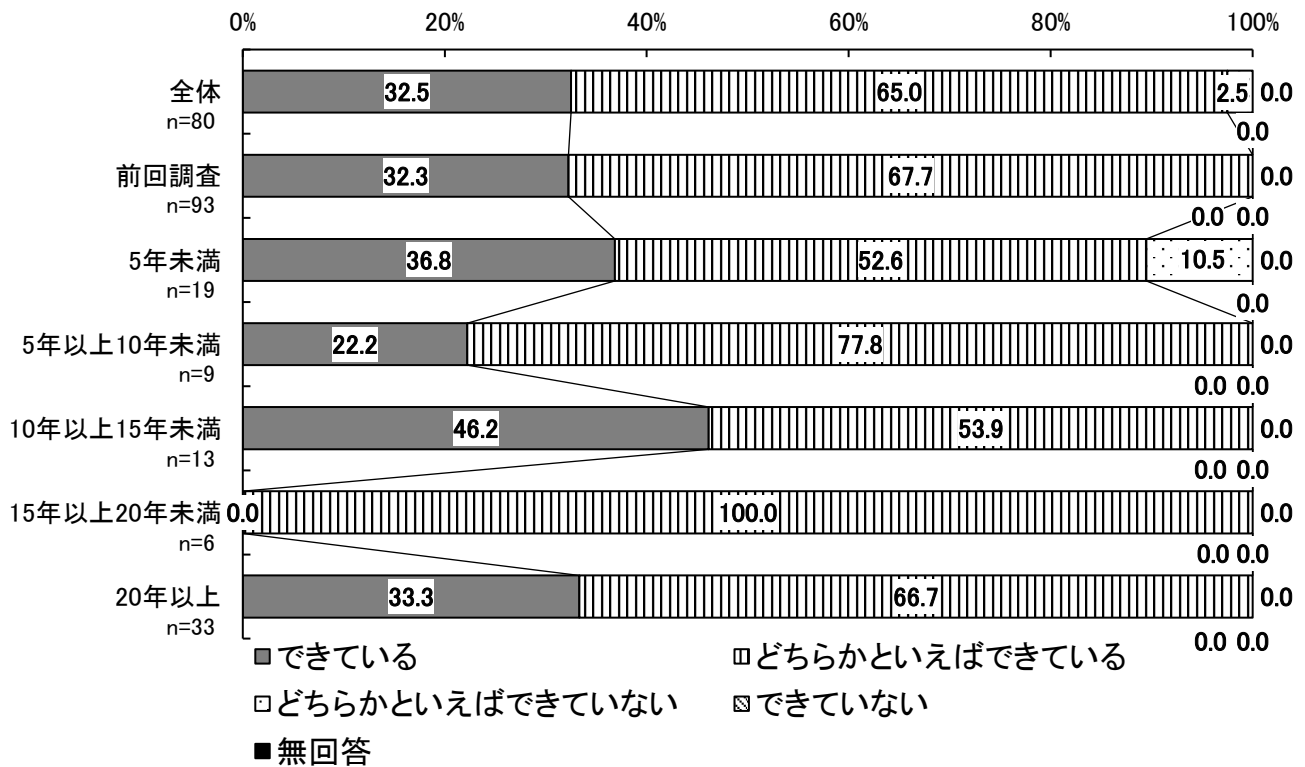
(4) 子どもに愛情を持って接する

経験年数に関わらず、全員が“実行できている”と回答しています。



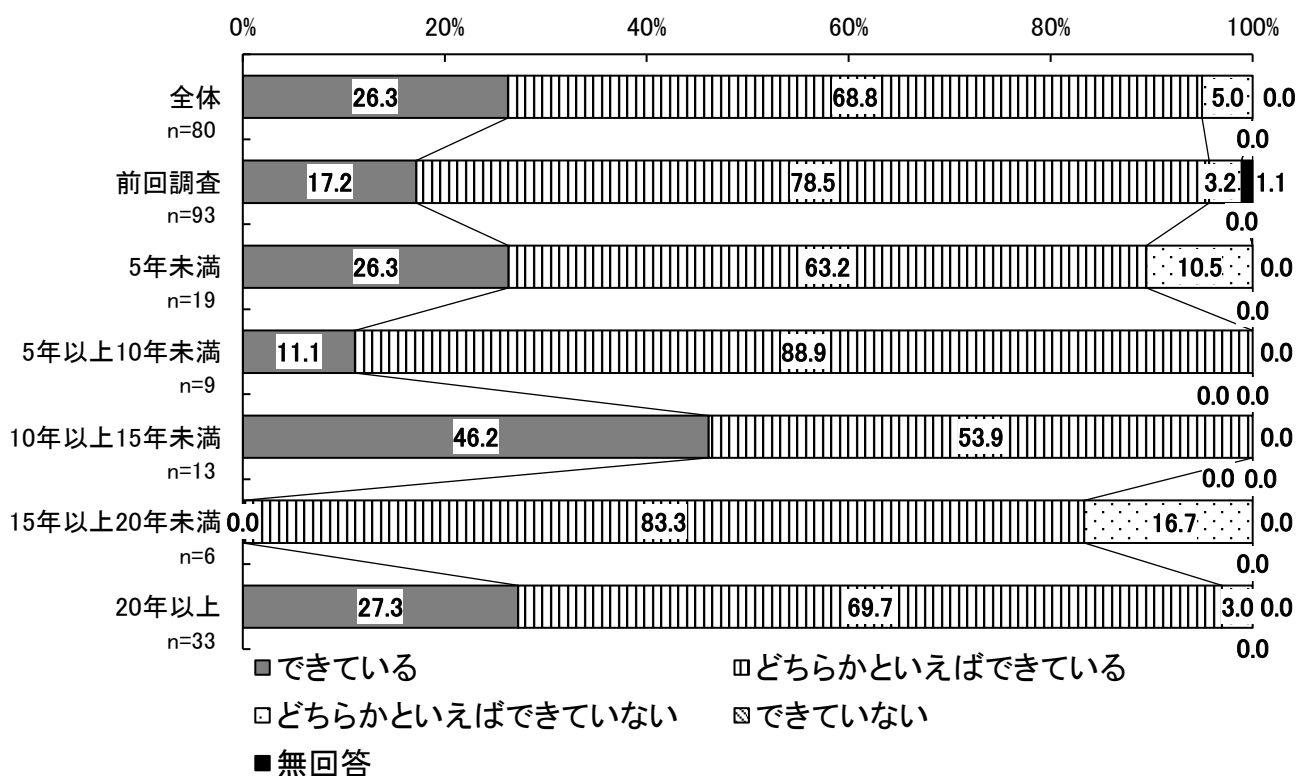
(5) 子どもをよく理解する

経験年数が5年未満の方以外は、全員が“実行できている”と回答しています。



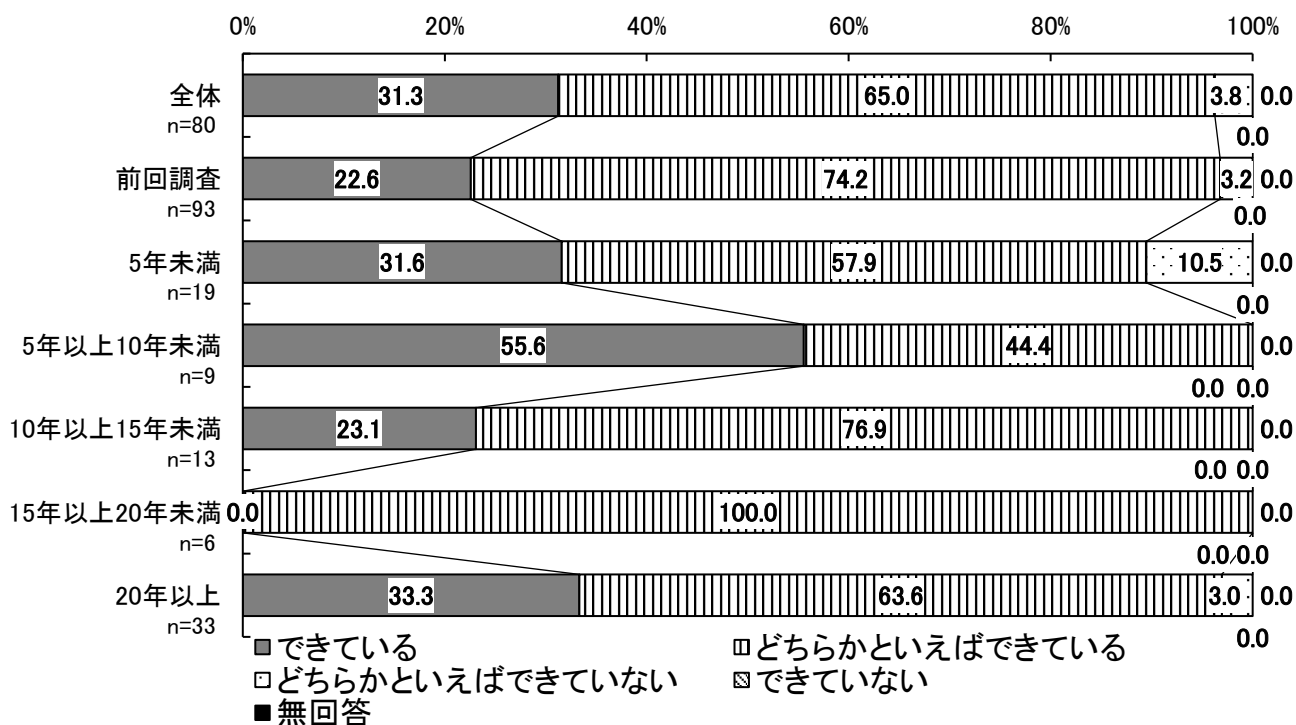
(6) 学級・学校を円滑に運営する

経験年数が5年以上10年未満、10年以上15年未満の方は、全員が“実行できている”と回答しています。



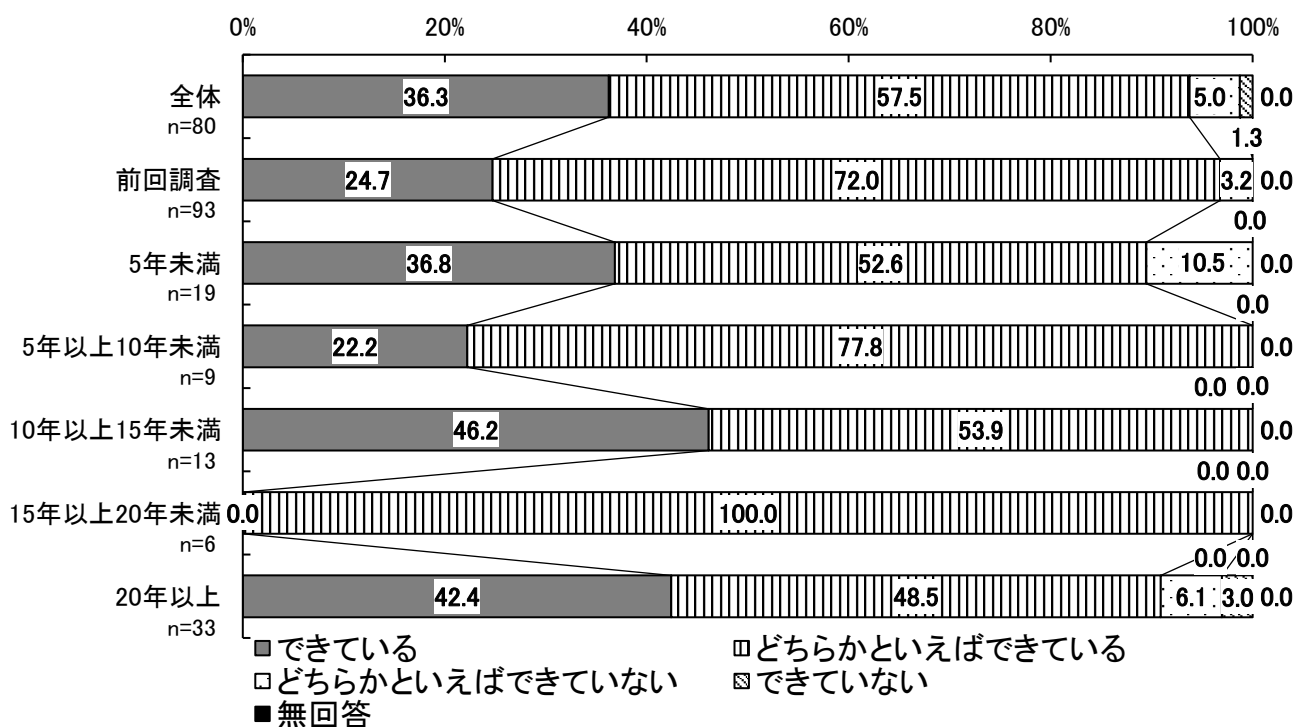
(7) 保護者と良好な関係を築く

経験年数が5年以上10年未満、10年以上15年未満、15年以上20年未満の方は、全員が“実行できている”と回答しています。



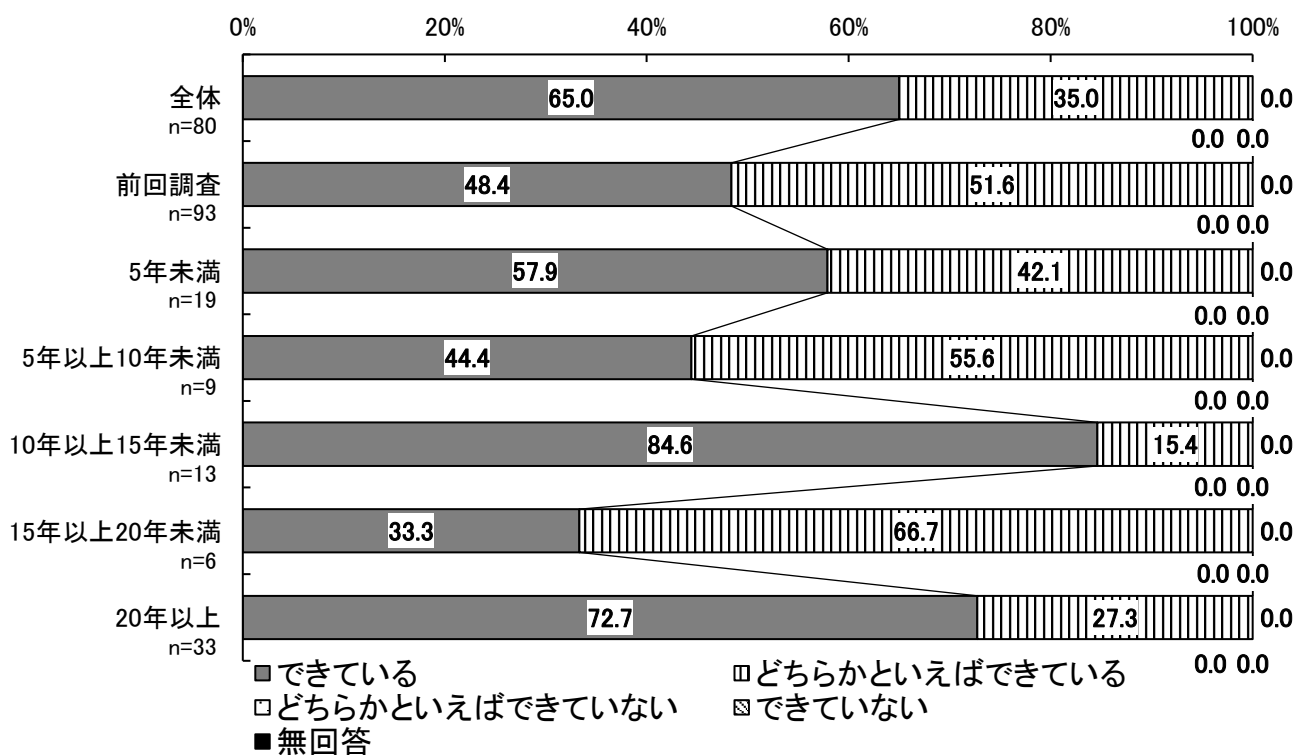
(8) 職場で良好な関係を築く

経験年数が5年以上10年未満、10年以上15年未満、15年以上20年未満の方は、全員が“実行できている”と回答しています。



(9) 倫理観・教職員としての自覚を持って職務にあたる

経験年数に関わらず、全員が“実行できている”と回答しています。



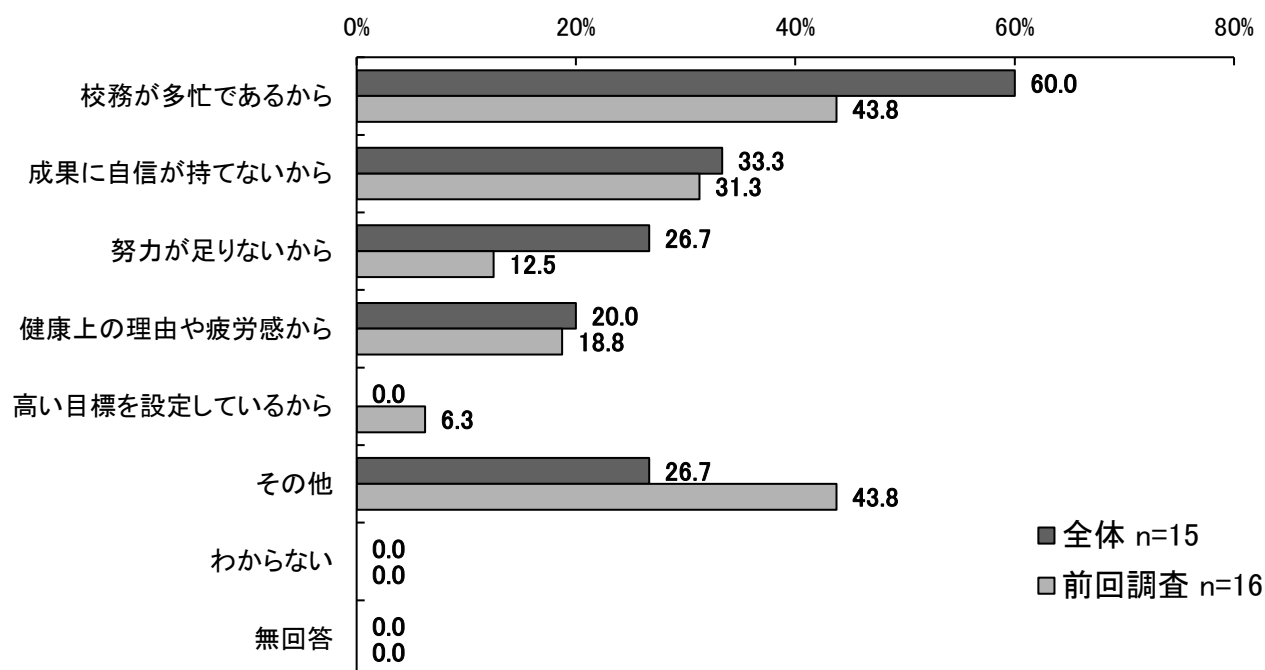
問 4-1 できていない理由

【問 4 で、1 つでも「どちらかといえばできていない」「できていない」と回答したときに答えてください】できていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

できていない理由は、上位から「校務が多忙であるから」60.0%、「成果に自信が持てないから」33.3%、「努力が足りないから」と「その他」26.7%となっています。

前回調査と比較すると、「校務が多忙であるから」が 16.2 ポイント、「努力が足りないから」が 14.2 ポイントそれぞれ増加しています。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・教員ではないため
- ・信頼できない
- ・経験が少ないから
- ・職員間でまだまだコミュニケーションがとれていない

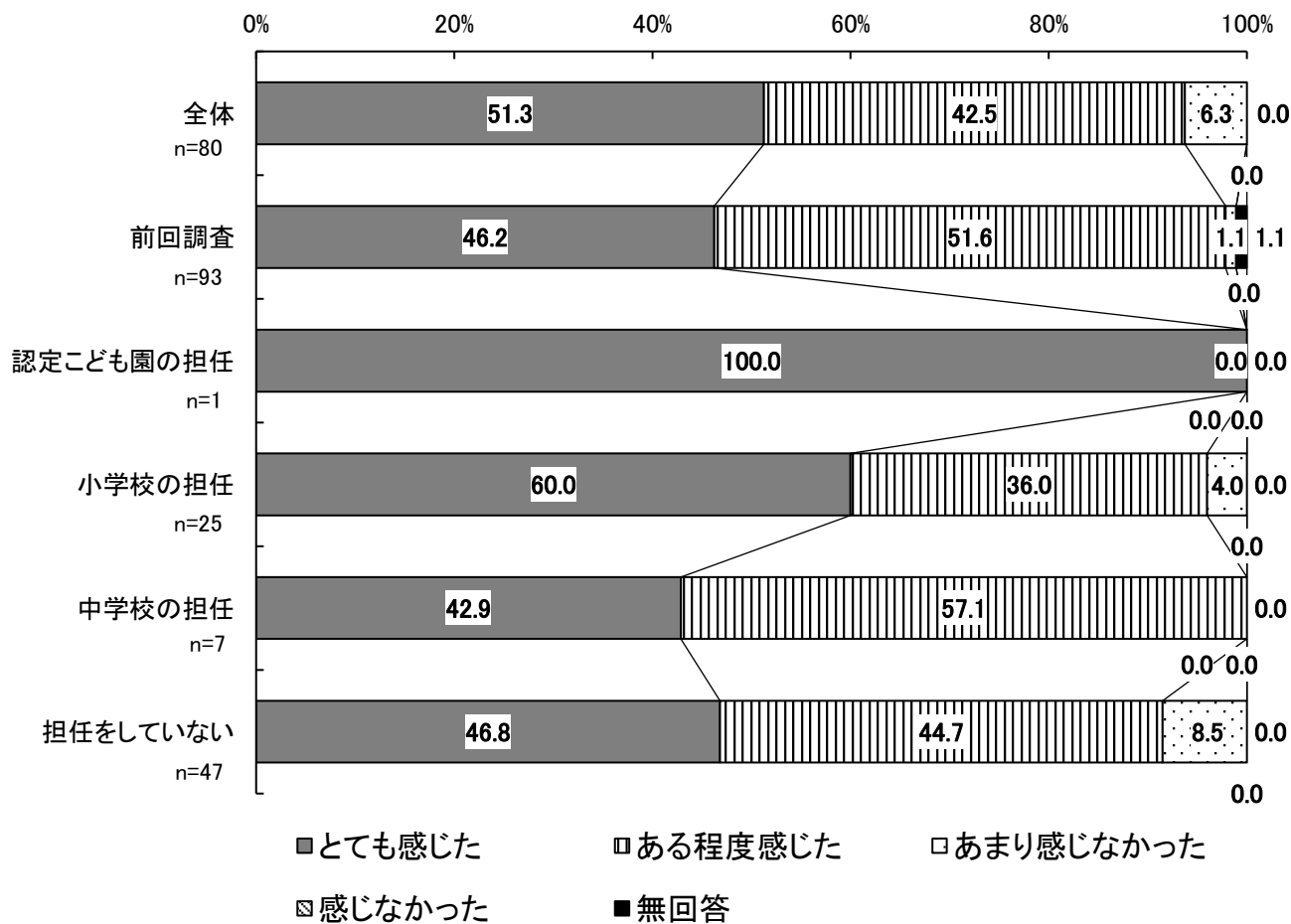
問5 職務の多忙感

この1年間で、多忙感を感じましたか。(○は1つ)

職務の状況について、全体では、この1年間で多忙感を“感じた”(「とても感じた」と「ある程度感じた」の合計。)と回答した方は、93.8%となっています。

前回調査や担任経験別で比較しても、多忙感を“感じた”の割合に大きな違いはみられませんでした。

【全体・前回調査・担任経験別】



問 5-1 多忙感を解消する方法

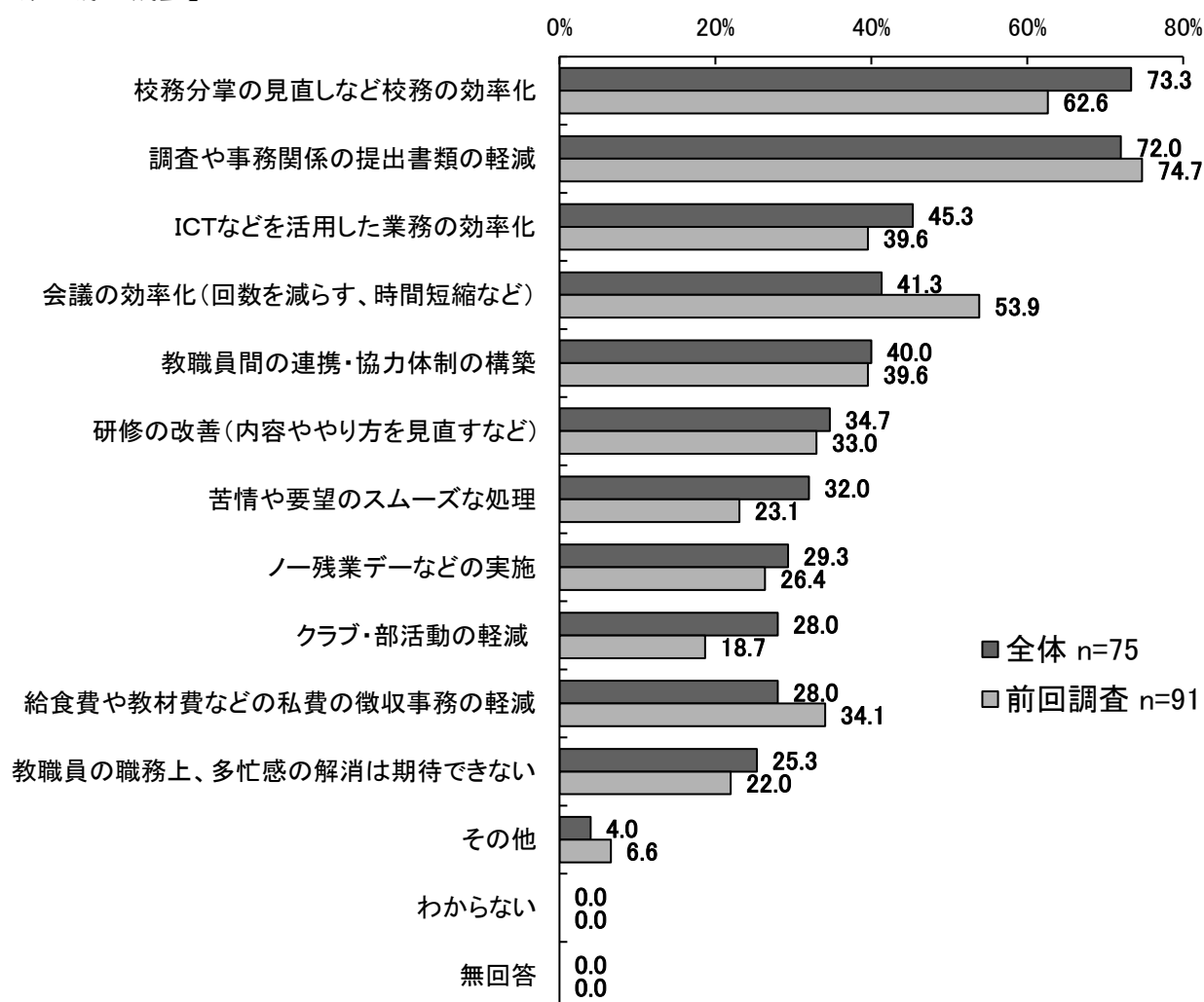
【問5で、「とても感じた」「ある程度感じた」と回答したときに答えてください】

多忙感を解消するために有効だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

多忙感を解消する方法として、上位から「校務分掌の見直しなど校務の効率化」73.3%、「調査や事務関係の提出書類の軽減」72.0%、「ICTなどを活用した業務の効率化」45.3%となっています。

前回調査と比較すると、「会議の効率化(回数を減らす、時間短縮など)」が12.6ポイント減少し、「校務分掌の見直しなど校務の効率化」が10.7ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・行事が近づくとその期間に負担が多くなる。
- ・行事や放課後の運動の練習等を見直し。放課後に授業の準備ができず、定時に帰るのは大変に困難である。
- ・経験が少なく、うまく見通しを持つことができなかったから。

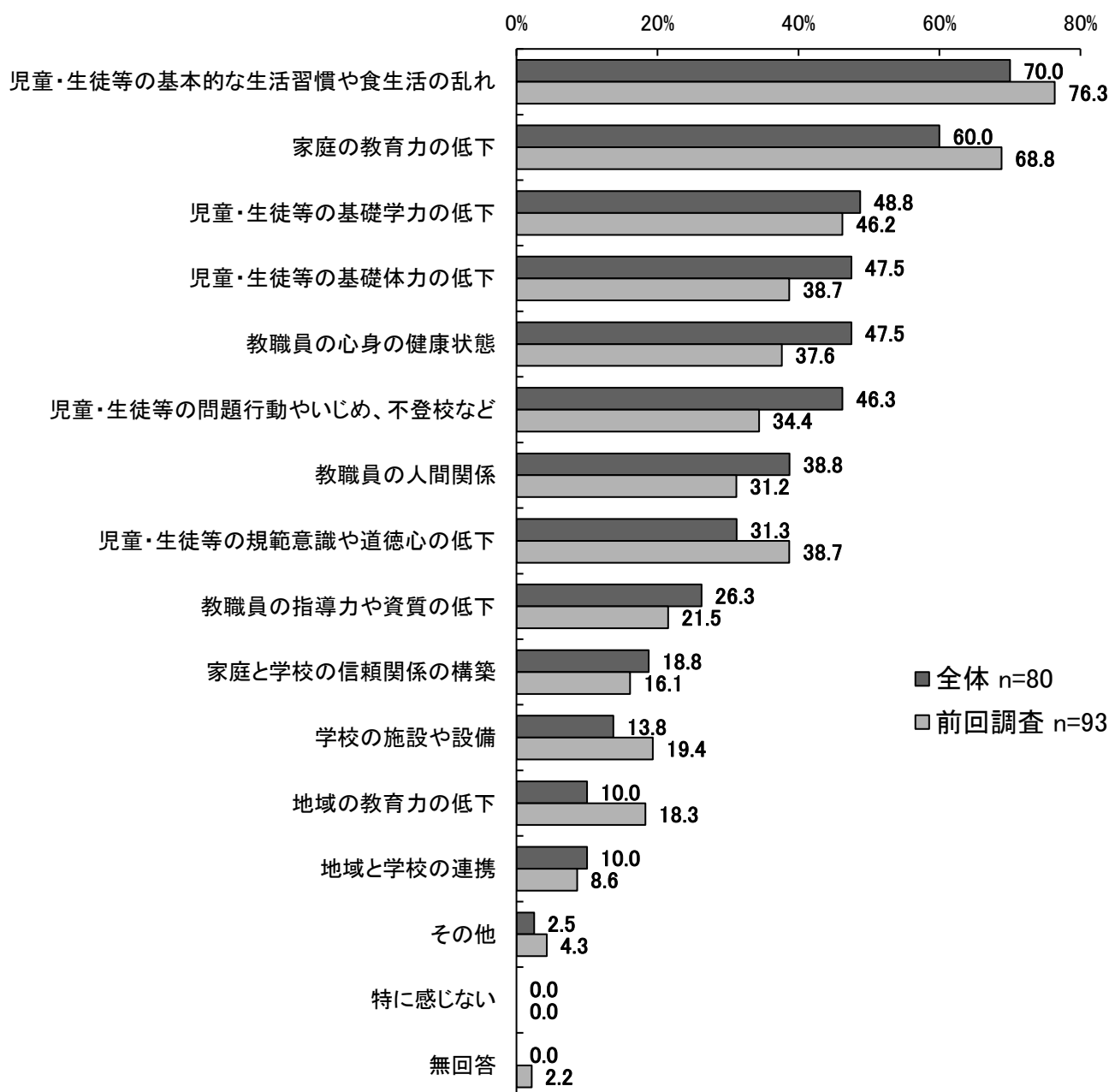
問6 職務の課題

日々の職務で、課題だと感じることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

日々の職務で課題だと感じることにについて、全体では、上位から「児童・生徒等の基本的な生活習慣や食生活の乱れ」70.0%、「家庭の教育力の低下」60.0%、「児童・生徒等の基礎学力の低下」48.8%となっています。

経験年数別にみると、「児童・生徒等の基本的な生活習慣や食生活の乱れ」は、10年以上15年未満では84.6%と他の経験年数に比べて高くなっています。

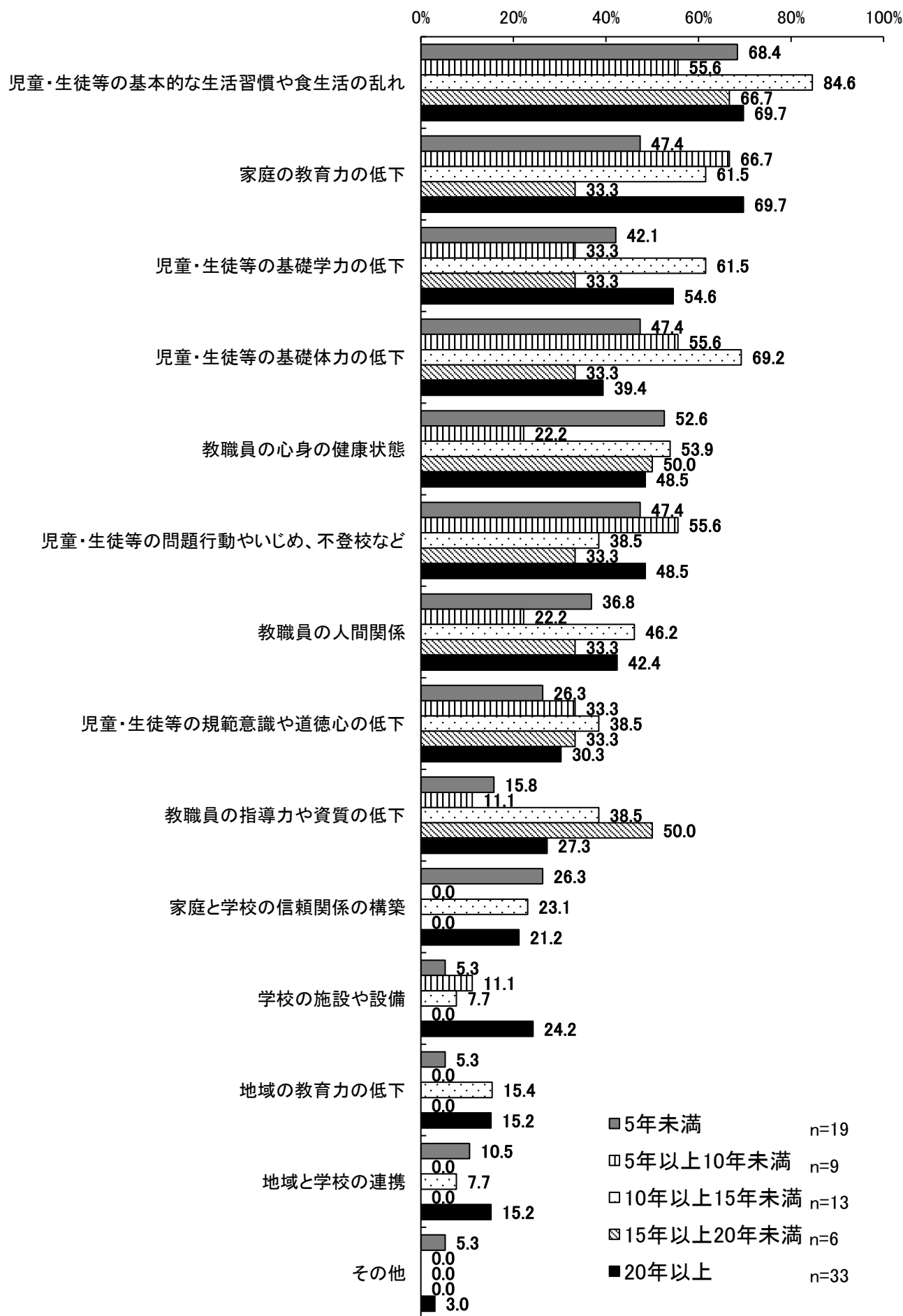
【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・子どもに求められる能力の質や量の増加
- ・教職員の勤務時間

【経験年数別】



問7 海陽町の教育について

海陽町の教育において、都市部の教育よりも優れているものは何でしょうか。

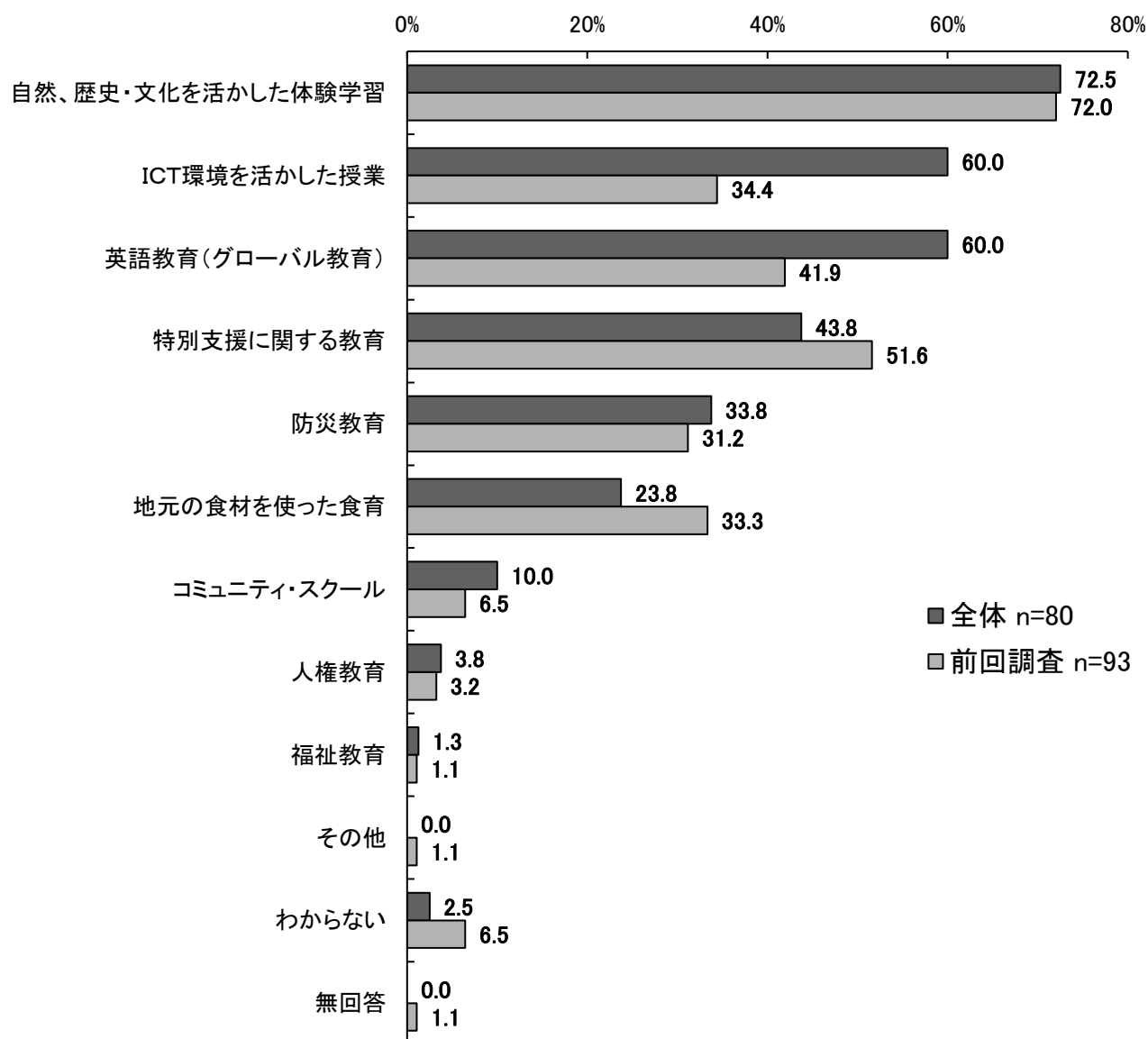
(あてはまるものすべてに○)

海陽町の教育において、都市部の教育よりも優れているものについて、全体では、上位から「自然、歴史・文化を活かした体験学習」72.5%、「ICT環境を活かした授業」と「英語教育（グローバル教育）」60.0%となっています。

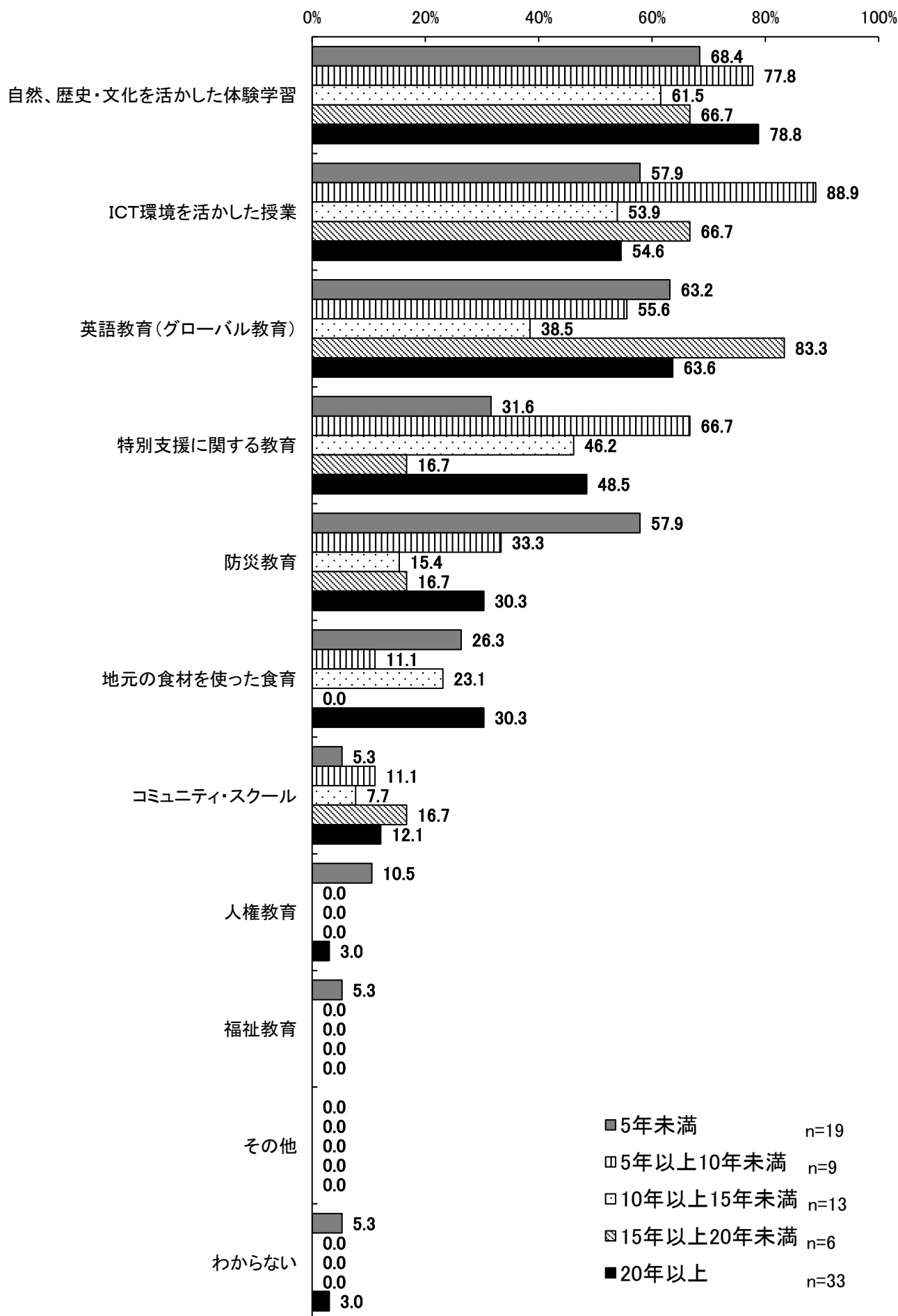
前回調査と比較すると、「ICT環境を活かした授業」が25.6ポイント、「英語教育」が18.1ポイント増加しています。

経験年数別にみると、「ICT環境を活かした授業」は、5年以上10年未満では88.9%と他の経験年数に比べて高くなっています。

【全体・前回調査】



【経験年数別】



問8 ICT教育で学んだことをどのように生かしてほしいか

現在、海陽町ではICT教育とグローバル教育（英語教育）に力を入れています。将来、児童・生徒にICT教育で学んだことをどのように生かしてほしいですか。ご自由にお書きください。（自由記述）

・ 普段の生活に生かされる。
・ どのように生かすと良いのか自分自身きちんとわかっていないためお答えが難しいところもありますが、職業の幅が広がればと思います。
・ グローバル社会で活躍できる人材に。
・ 自分の仕事で生かせるようにスキルを高めてほしい。
・ プレゼンをする力は育っているなど感じる
・ 上級学校や社会人になったときに、不自由なくICTを活用できる。
・ 学んだことを生かして世界で活躍できる人になってほしいです。そして、ふるさと海陽町を豊かにできる人になってほしいです。
・ 海陽町の中、高生になった時に英語教育が他町よりも強みであって欲しい
・ 将来の生活で生かしてほしい。
・ 世界で活躍
・ 先で役立つようにしてほしい。
・ 海外等で活躍して欲しいです。
・ 教育や仕事に取り入れて欲しい
・ 自分の就いた職業で知識や経験を生かして活用してほしいです。
・ 社会で役立ててほしい
・ 日常生活で使える英会話
・ 情報モラルを高めてネット上のトラブルを回避したり、就職した先でPCをスムーズに使いこなしたりしてほしい。
・ 多くの人とか変わっていく道具。
・ 特色ある教育で学んだことを将来の進路選択の際に、活かせる機会があれば積極的にチャレンジしてほしい。
・ 国際交流をひろげたり、コミュニケーションを円滑におこなううちからを身につけて欲しい
・ ICTもグローバル教育も、苦手意識や嫌悪感を持たず、「楽しい！」と思う素地を作って卒業して欲しいです。
・ 将来の進路選択の際に役立てて欲しい。しいては、地域社会に貢献するための基礎的なものとして生かして欲しい。
・ 正しくICTを使うようにしてほしい。
・ 情報を適正に収拾し、自分の意見や考えを効果的に表現してほしい。
・ 過疎化が進む海陽町の魅力発信や職業選択などに活かしてほしい
・ 将来の職業
・ 継続と検証
・ 自分の能力を最大限発揮できるような使い方を考えてICTを活用できる大人になってほしいです。
・ 仕事の効率化

・ 数学教育 ほとんどの学生は理系であるから ICT の基礎として数学が必要である。今学校でしていることは自分でできている。
・ ICT 教育が ICT 活用教育を指すのであればそれは手段であって目的ではないので、学んだ事を生かす、という話ではないように感じます。ICT を学ぶ教育（情報教育）を指すのであれば「情報」という教科や「技術」で学ぶ内容になると思います。海陽町が力を入れているのは前者かと思うのですがどうですか。
・ 自分の考えをまとめるときや課題解決の際に、適切な方法やツールを選ぶ力をつけた人材になってほしい。
・ 自身のライフ＆ワークに役立ててほしい。
・ レベルの高い ICT 教育を、つながりを大切にしながら生かしてほしいと願います。
・ 仕事での作業の効率化
・ 収集した情報をもとに、他者と協働しながら地域が抱える課題を解決し、より豊かな生活を送ることにつなげてほしい。
・ 創造力と探究心。
・ 徳島県で、起業するためにいかしてほしい。
・ ICT 教育に関して基礎的な知識を持って、社会に出た時にマナーが守れる大人になってほしい
・ 適切に使って、生活を豊かにしてほしい。
・ 仕事や生活を便利でよりよいものとしてほしい。犯罪に巻き込まれない知識と判断力を備えてほしい。
・ 自分の自立のために
・ 職業選択時に役に立ててほしい。
・ 生活や仕事で活かせる力
・ ICT の効果的な活用
・ ICT を上手く活用できるようになってほしい
・ 自分の考えを発信したりプログラミングなどで社会貢献するために生かしてほしい
・ 仕事に活用
・ 社会に出てからあらゆることに ICT を取り入れて活躍してほしい
・ 視野を広げ、やってみたいことにどんどん挑戦してほしい。
・ 本校は不登校児童が多く、将来、仕事に行くことができないのではないかと危惧される。プログラミングができると、エンジニアとして自宅でも仕事ができる。自分で働いて食べていけ、税金が納められる人間になれば十分だと思います。
・ 国際性を備えた人材に育ててほしい
・ ICT 教育を生かしてこれから先仕事などに繋がっていけるように学んでほしい
・ 自分の将来を考える時に少しでも視野や選択肢が広がってほしい。
・ 困った時に ICT 機器を適切に使用して、問題解決する。 自分のことや自分の考えを表現する。
・ 世界規模で考えれる力にしてほしい
・ 地元の良さ、魅力を外へ発信したり、地元へ帰ってきて根付いてほしい。
・ 自分で考えて何かを作り出したり行動したりできることにいかしてほしい。
・ 言葉の壁を超えて、自分も相手も大切にしながらコミュニケーションが取れる人になって欲しい。
・ 今まで同様、どんどん力を入れてやっていってほしい。
・ 操作や処理能力、情報の精査する力
・ 興味のあることについて、調べたり追求していけるようになって欲しいです。

・ 英語を嫌いにならず、国内外問わず英語を上手いかなせるようになってほしい。
・ 外国の方と密なコミュニケーションをとって、幅広い視野や考え方を身に付けてほしい。
・ 予測不能な社会に柔軟に対応できるように。
・ 自分の経験として仕事や私生活に活かし、色々な場所で役立ててほしい
・ これからはスマートフォンなどを使うことが必須になってくると思うので、将来の生活や職業で活用してほしいと思います。

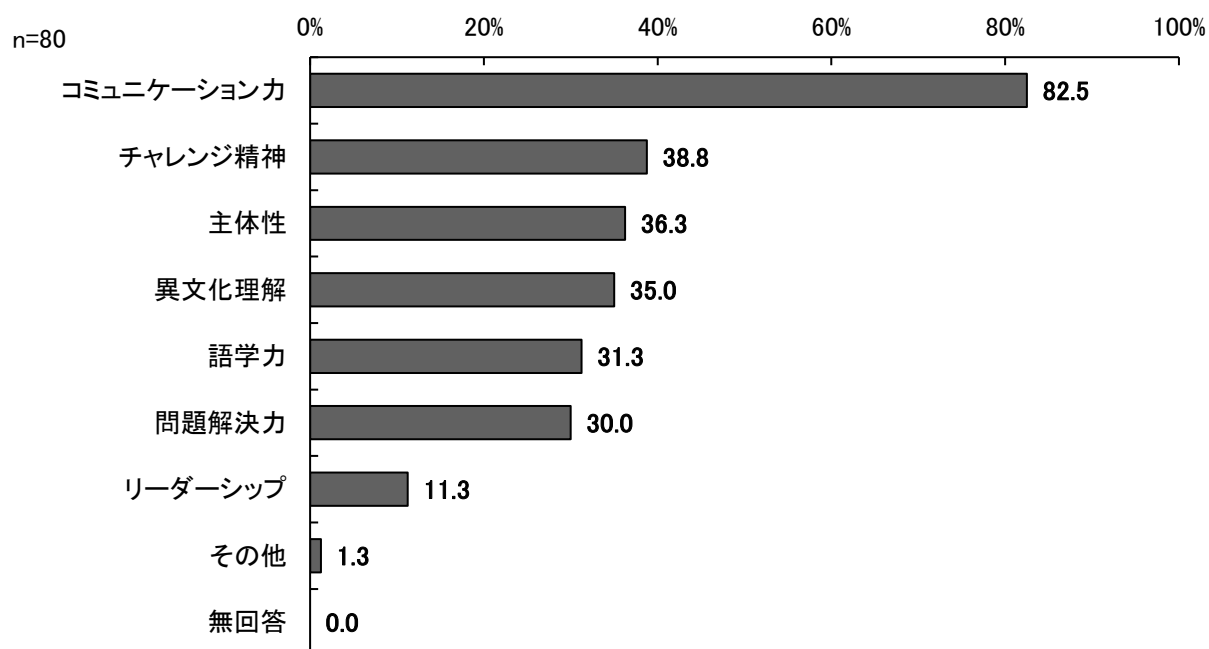
問9 グローバル社会で活躍する人材を育てるために必要な力

グローバル社会で活躍する人材を育てるためには、どのような力が特に必要だと思いますか。
(〇は2つまで)

グローバル社会で活躍する人材を育てるために必要な力について、全体では、上位から「コミュニケーション力」82.5%、「チャレンジ精神」38.8%、「主体性」36.3%となっています。

経験年数別にみると、「問題解決力」は経験年数が高くなるにつれて割合が高くなる傾向がみられます。

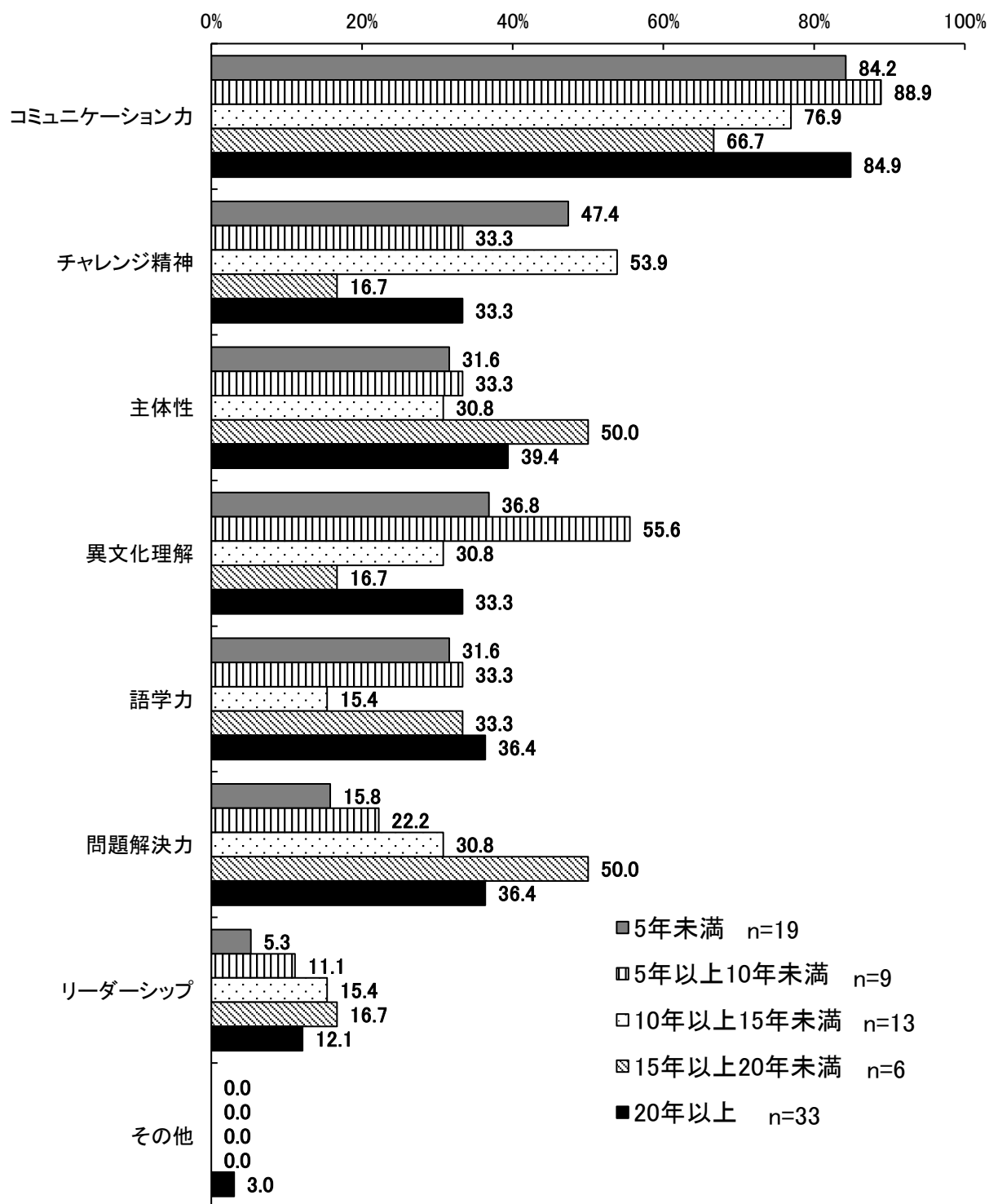
【全体】



(その他の回答)

- ・ 自己のアイデンティティ。これがなければ、対等に話ができない。自分の良さや故郷の良さを語れること

【経験年数別】



問10 英語を学んだことをどのように生かしてほしいか

将来、児童・生徒に英語をどのように生かしてほしいですか。ご自由にお書きください。
(自由記述)

・世界の人と関わる。価値観を広げる。
・受験や試験等で苦手意識を持たないよう、小学生のうちから基礎的な力をつけてほしいと思います。
・英語を好きになってほしい。
・広い視野を持ち、グローバル社会で活躍できる人材に。
・国際社会へ対応できるような、また、コミュニケーションが進んでとれるような教育を進めていきたい。
・英語を苦手だと思わず、どんどん話して欲しい
・外国人と簡単なコミュニケーションが取れる（観光客への道案内など）
・世界で活躍できる人になってほしいです。また、海陽町と外国を繋ぐことのできる人になってほしいです。
・自分の得意な事になって欲しい
・いろんな国の方と関わりあってほしい。
・コミュニケーション力
・社会生活に役立ててほしい
・コミュニケーションの機会を増やして欲しいです。
・コミュニケーション力
・街中での道案内や挨拶程度のことが自然とできるようになったらいいなと思います。
・自分の可能性を広げてほしい
・簡単な会話をすることができる
・田舎でも外国の方が増えているので、いろいろな人とコミュニケーションがとれて、地域を盛り立てていけるようになってほしい。
・よりよい関係作り
・他者とのコミュニケーションをとる場面で、物怖じせずに積極的に学んできたコミュニケーション力を発揮してほしい。
・語学を生かして自分の希望する道へ進んでほしい。
・外国の事を理解して、どこの国の人とも積極的に交流して欲しい
・これからは英語がたくさん使われる社会になります。だから、簡単な英語でも良いと思うので話せるように頑張ってもらいたい。
・英語を職業選択の際に大いに生かす生徒がいても良いし、日常会話が聞き取れる程度の生徒がいても良いと思います。選択の幅が広がり、生徒自身が決定できることが一番だと思います。
・将来どのような職業に就いたとしても、英語が話せる力が身につけていれば、活躍の場が広がる。ぜひ、そうなって欲しい。
・海外の人もそうですが、誰とでもコミュニケーションがとれるようになってほしい。
・国際的な視野を広げ、将来の選択肢を広げてほしい。
・自分の力の一つとして活用してほしいです。
・色々な国籍の人とコミュニケーションをとり、文化等の違いに触れ児童・生徒に広い視野を持ってもらいたい

・将来の職業で生かしてほしい
・自信をもって積極的に様々な人と関わる力
・英語がわからないから・・・と何かを諦めることがないようにないと思います。
・外国の方との積極的なコミュニケーション
・英語を生かす職業は少なく、できて当たり前の職業が多いと思う。専門的な知識技術が将来必要
・昔よりは社会において生かす場面は多くなっていると思うので、それぞれの必要とする場面で生かすことができるよう準備しておくのが大切だと思います。
・誰とでも関わりを築けるようにするために、英語の必要性を感じる。
・苦手意識なく日常的に聞いたり話したりしてほしい。
・実際にコミュニケーションの手段として活用してほしい。
・異文化とのコミュニケーションツール
・コミュニケーションの1つとして、人とのつながりを広げることに生かしてほしい。
・自分の世界を広げるために使って欲しい
・キャリアの選択肢を広げる。
・販路等を広げていくためにいかしてほしい
・人種、国籍関係なくいろいろな人と関わることにコンプレックスを抱えず向き合っていってほしい。英語はそのためのツールとして身近に感じ、習得して行ってほしい。
・就きたい職種を選ぶ選択肢が増えるといいと思う
・交流など、生活を豊かにすることができるよと思う。
・英語に限らず、異文化や価値観の違いを尊重して、共に暮らしていける人間性を育む。語学力は無くても翻訳アプリを活用すれば、コミュニケーションは可能だから。
・世界中の人々と積極的にコミュニケーションをとって行ってほしい。
・これから、ICT が台頭してくる世の中になるので、特に英語に関して思うことはない。英語が使えないとならないというケース自体が少なくなってきたと考えている。
・他国の人との交流
・外国人が増えているので、機会があれば会話をしてほしい。将来の職業選択時に利用してほしい。
・伝える力・理解力
・生活の一部になってほしい
・語学の違いに臆することなく、さまざまな人と積極的に関われるようになってほしい
・様々な人とコミュニケーションをとるために生かしてほしい。
・英語というより、国籍をこえて、おもいやったり、コミュニケーションをとろうとする態度
・外国の方と少しでも会話ができる力を身につけさせる
・英語でいろいろな人と積極的に関わってほしい。
・外国の人に、おそれず、どんどん話しかけて行ってほしい。
・進学や就職に生かしてほしい。その後のキャリア形成にも生かしてほしい。
・主体的にいろいろな人と関わり少しでも話せることができるように生かしてほしい
・たくさんの人と関わってほしい。
・コミュニケーションの一つとして自然に使えるようになってほしい。
・人とつながる力にしてほしい
・人と関わる手段の一つとして、有効に活用してほしい。

・ いろいろな国の人と平和的に交流することに生かしてほしい。
・ 誰とでも臆さず関われるように。
・ 自分が生きていくための一つの手立て。
・ 少しでも話せる、使えるなどの自信に繋げて欲しい
・ 仕事をしていくうえで、役立てて欲しいです。
・ 実際の現場でも使えるようにしてほしい
・ 日常生活で外国の方と自然にコミュニケーションができてほしい。
・ 自分の可能性を広げるツールの一つとして。
・ 英語を通じて世界のことを知ってほしい
・ 世界には自分とは違った色々な文化や考えがある事を知り、怖がらずに恥ずかしがらずに色々な国の人と関わって様々な事を学んでほしい。
・ 外国の方とのコミュニケーション、仕事、旅行など
・ 自分の考えや気持ちをできる限り正確に相手に伝え、コミュニケーションをとって、共生と相互理解をはかる場面に生かしてほしい。
・ 進路選択
・ 日本に来る外国人の観光客が増えていると思うので、外国人と関わる機会が多くなると思うので、街中で外国人とあった際に活用してほしいと思う。

問ⅠⅠ 職務の悩み

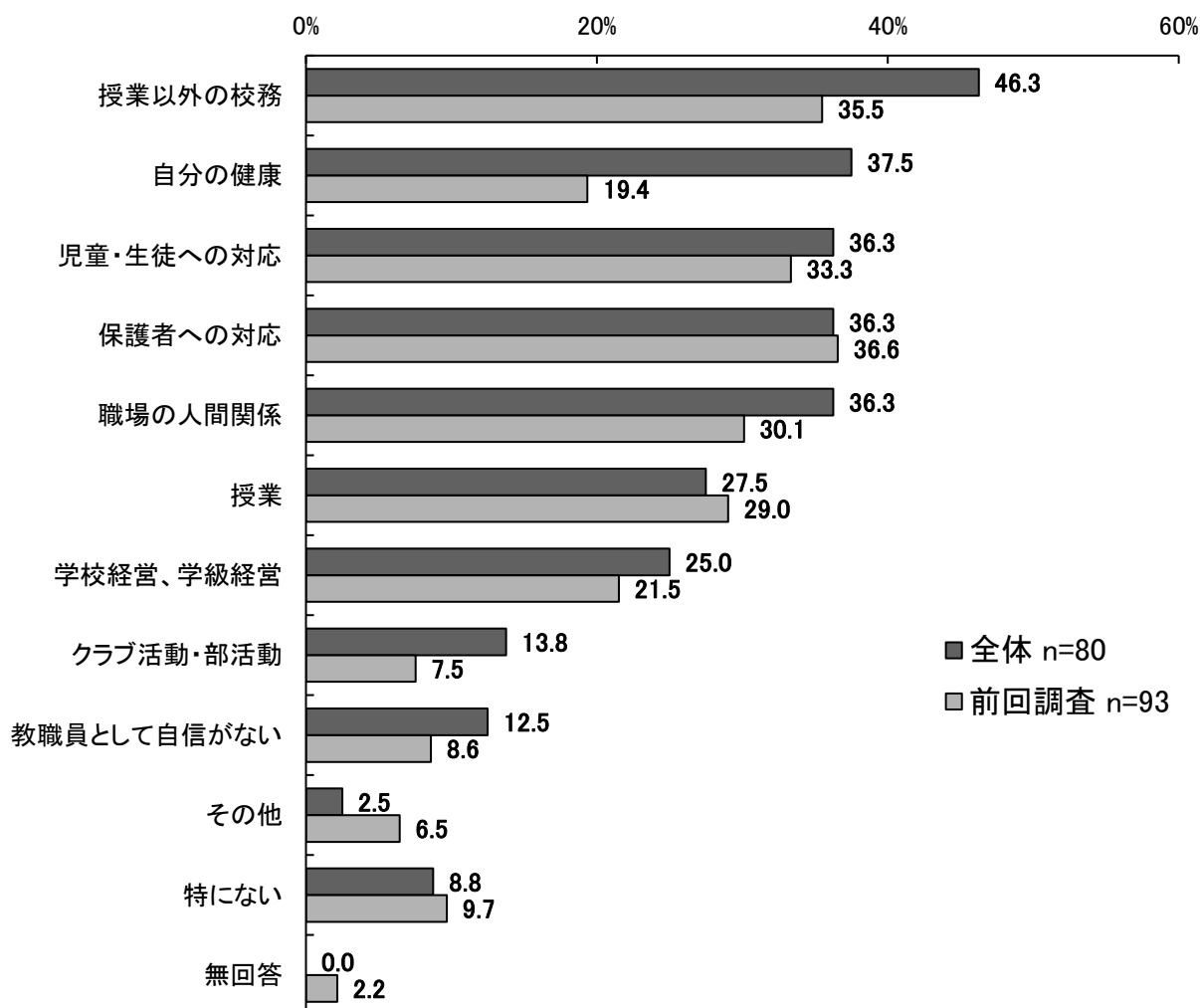
職務上、どのような悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

職務上の悩みについては、上位から「授業以外の校務」46.3%、「自分の健康」37.5%、「保護者への対応」「児童・生徒への対応」「職場の人間関係」36.3%となっています。

前回調査と比較すると、「自分の健康」が18.1ポイント増加しています。

経験年数別にみると、「児童・生徒への対応」や「授業」は5年未満及び5年以上10年未満で割合が高く、「自分の健康」は15年以上20年未満及び20年以上で割合が高くなる傾向がみられます。

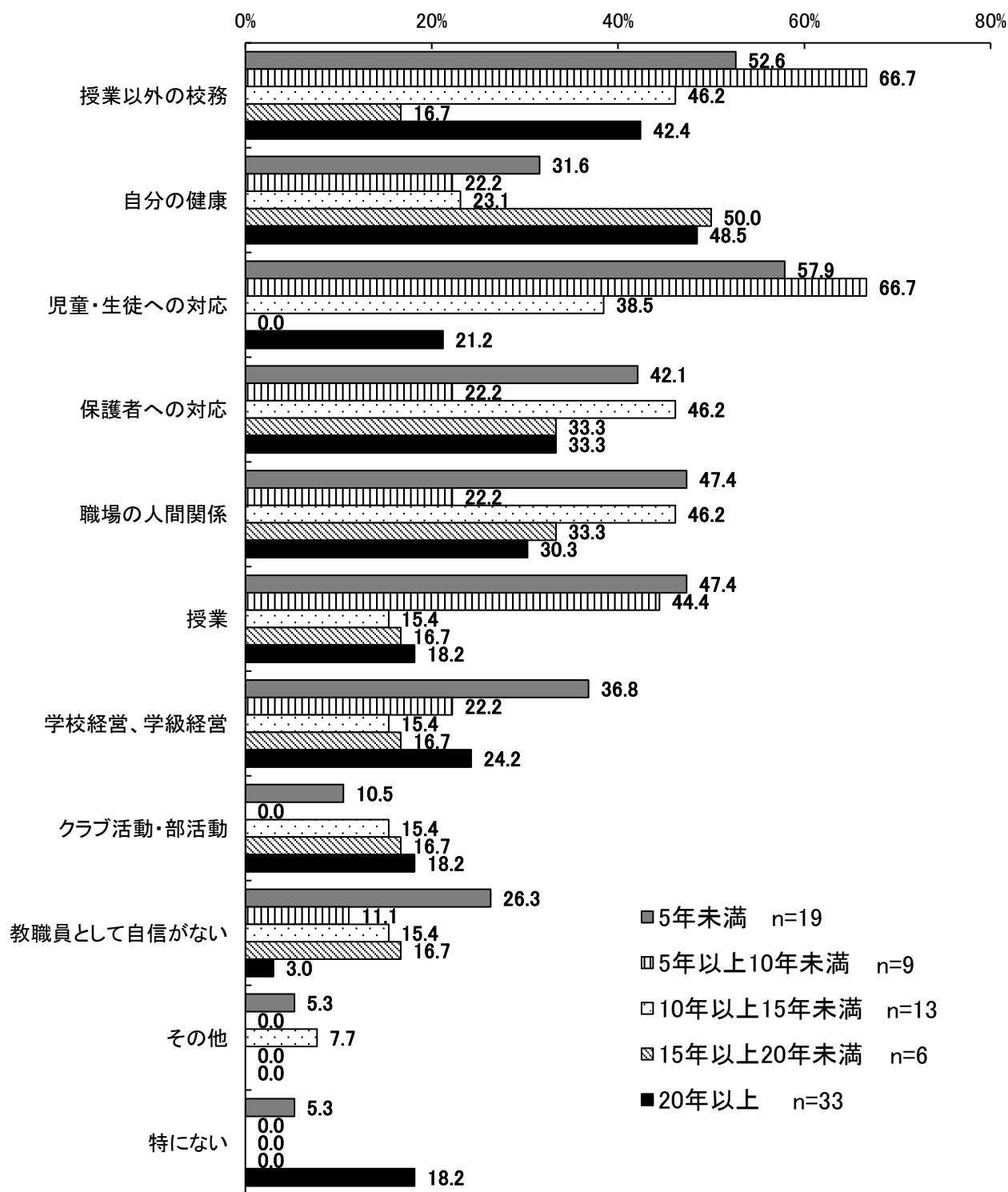
【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・ 学校行事
- ・ 職務の割り振りの偏り

【経験年数別】



問 11-1 職務の悩みを相談する相手

【問 11 で、「1.」～「10.」に○をつけたときに教えてください】

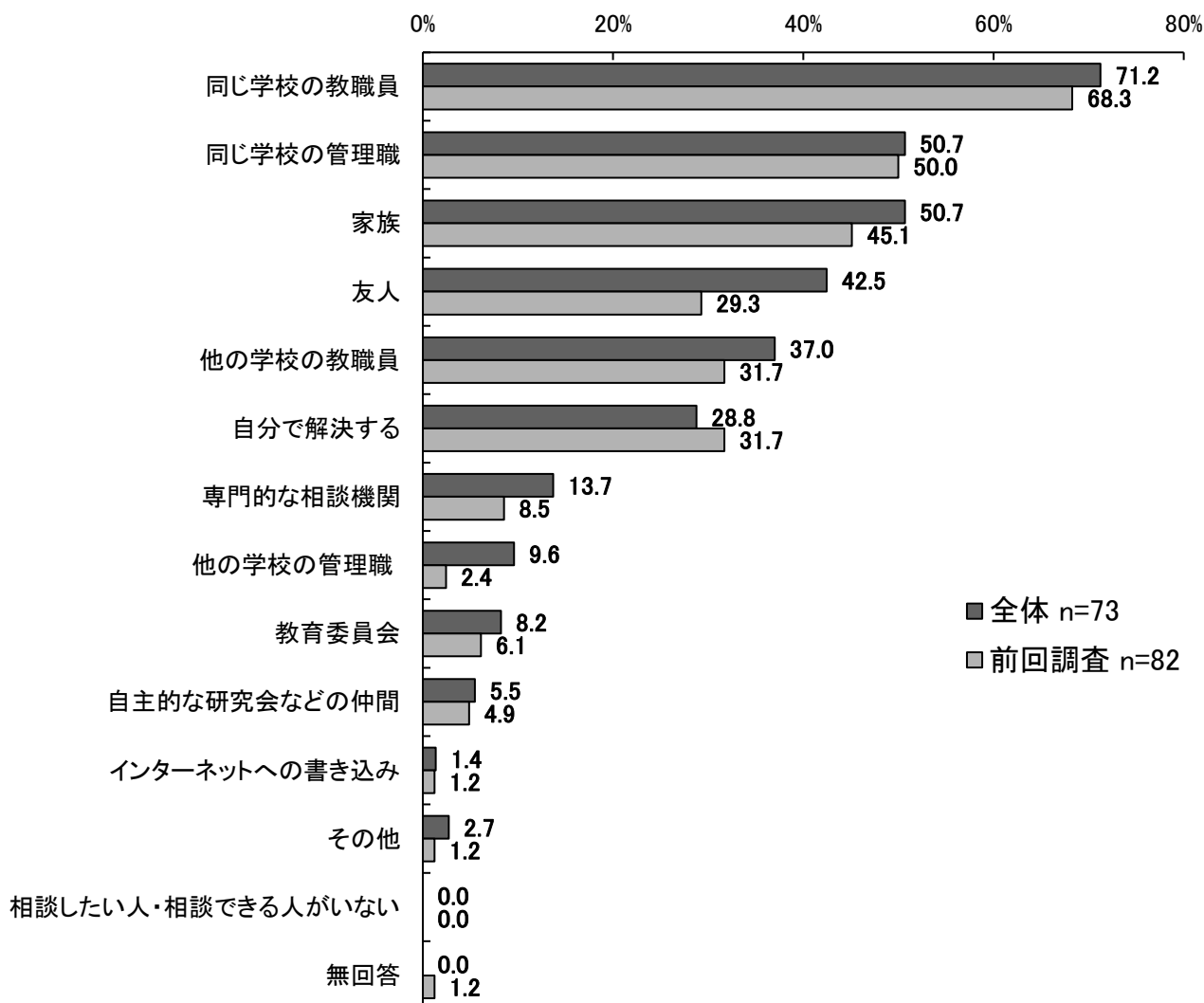
悩みを誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

悩みの相談相手については、上位から「同じ学校の教職員」71.2%、「同じ学校の管理職」と「家族」50.7%となっています。

同じ学校内でも、20.5 ポイントの差で、管理職よりも教職員に相談する割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、「友人」が13.2 ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



（その他の回答）

- ・ 医療施設
- ・ 本、研修など

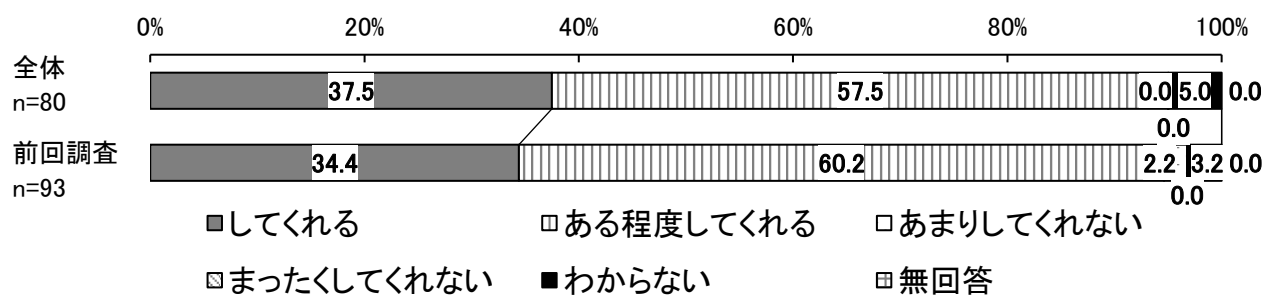
問12 保護者の理解・協力について

保護者は理解・協力してくれますか。(○は1つだけ)

保護者の理解・協力については、“理解・協力してくれる”(「してくれる」と「ある程度してくれる」の合計。)は、95.0%となっています。

前回調査と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

【全体・前回調査】



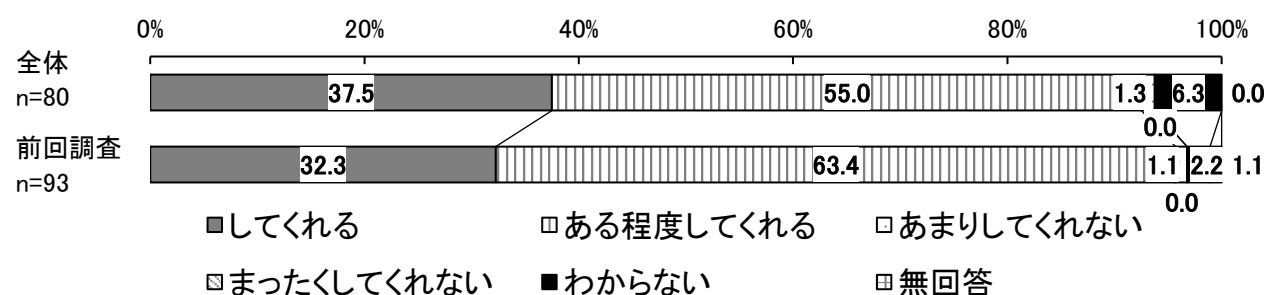
問13 地域の理解・協力について

地域は理解・協力してくれますか。(○は1つだけ)

地域の理解・協力については、“理解・協力してくれる”(「してくれる」と「ある程度してくれる」の合計。)は、92.5%となっています。

前回調査と比較しても、大きな違いはみられませんでした。

【全体・前回調査】



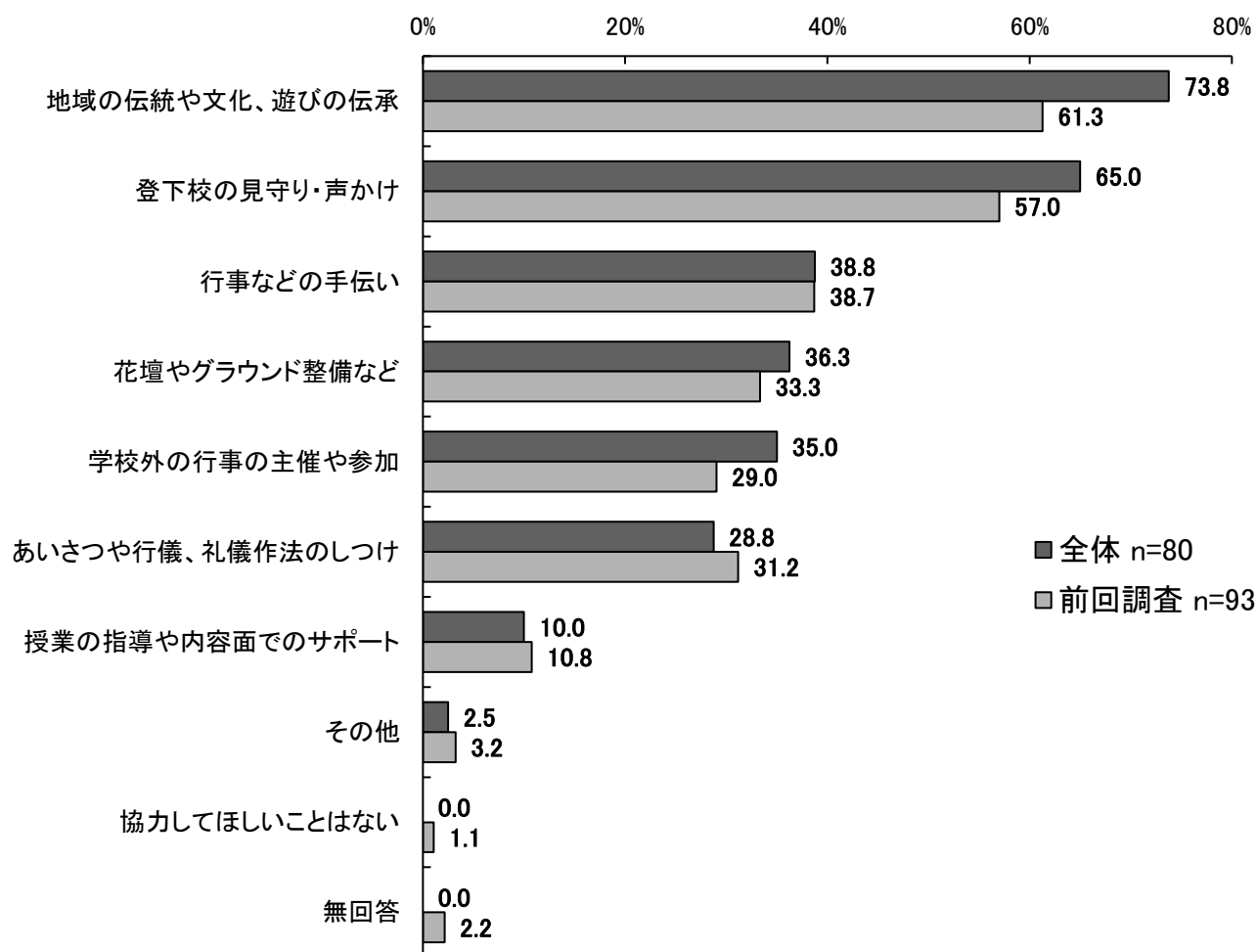
問 1 4 地域に協力してほしいこと

地域に協力してほしいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

地域に協力してほしいことは、上位から「地域の伝統や文化、遊びの伝承」73.8%、「登下校の見守り・声かけ」65.0%、「行事などの手伝い」38.8%となっています。

前回調査と比較すると、「地域の伝統や文化、遊びの伝承」が12.5ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・部活動の指導、サポート
- ・防災関係

問Ⅰ 5 教育振興の取組の満足度と重要度

海陽町教育振興の取組について、これまでの「満足度」と、これからの「重要度」についてあなたのお考えに一番近い番号を選んでください。（項目ごとに○は1つ）

【学校教育 満足度・重要度】

○満足度指数が高い

- ・ 学校給食の充実 6.2
- ・ ICT 教育の推進 5.9
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用 5.4
- ・ ALT 派遣事業 5.2

○重要度指数が高い

- ・ いじめ・不登校防止 8.5
- ・ 学力向上推進 7.8
- ・ 幼児教育の充実 7.6
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用 7.4
- ・ 読書習慣の形成の促進 7.1
- ・ 家庭教育の充実 7.1
- ・ ICT 教育の推進 7.1
- ・ 学校給食の充実 7.1
- ・ 児童生徒の生活習慣の改善 7.1

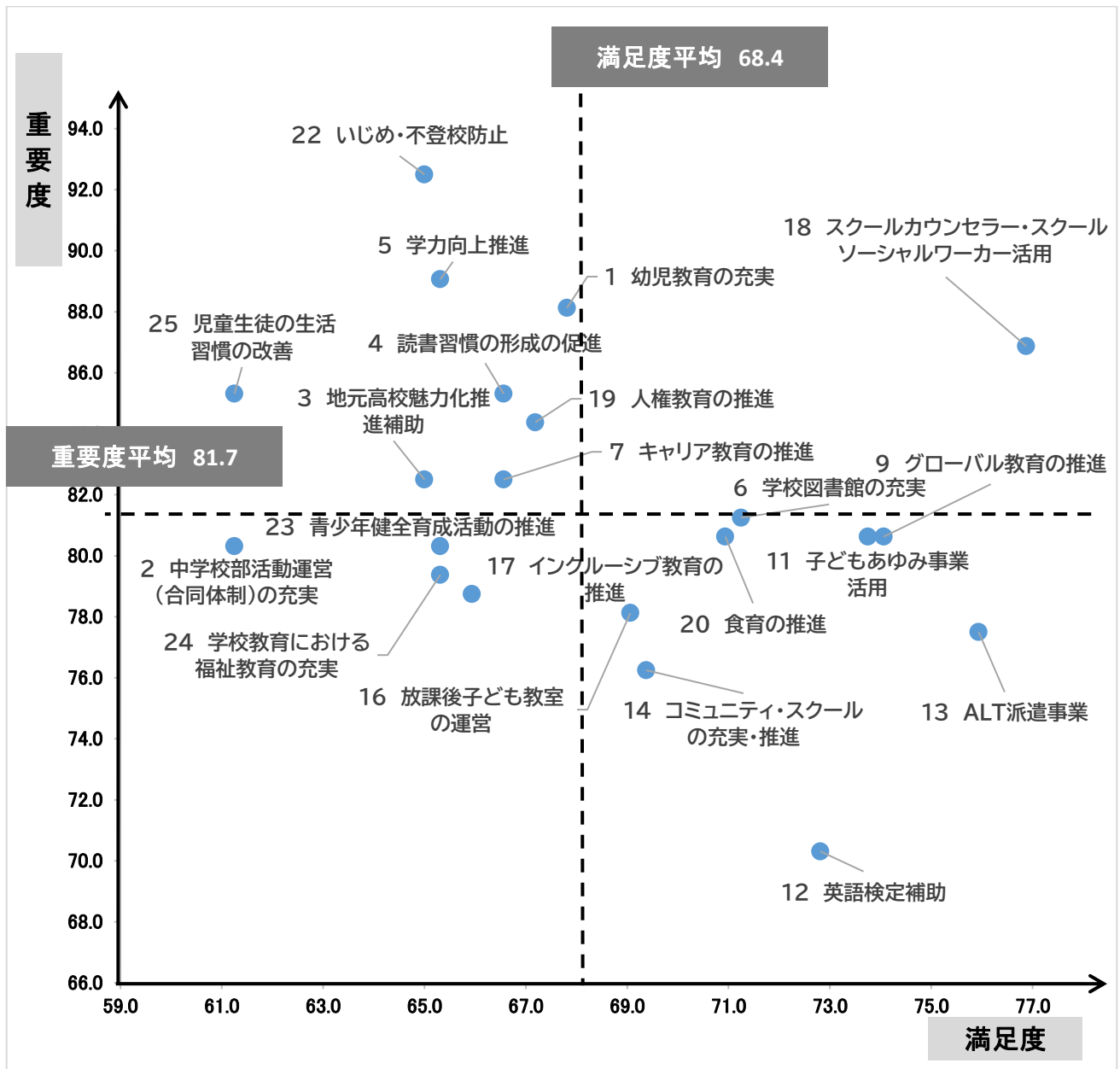
○満足度の上位回答（「満足」＋「ある程度満足」の計）

- ・ 学校給食の充実 86.3%
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用 82.6%
- ・ 学校図書館の充実 80.1%

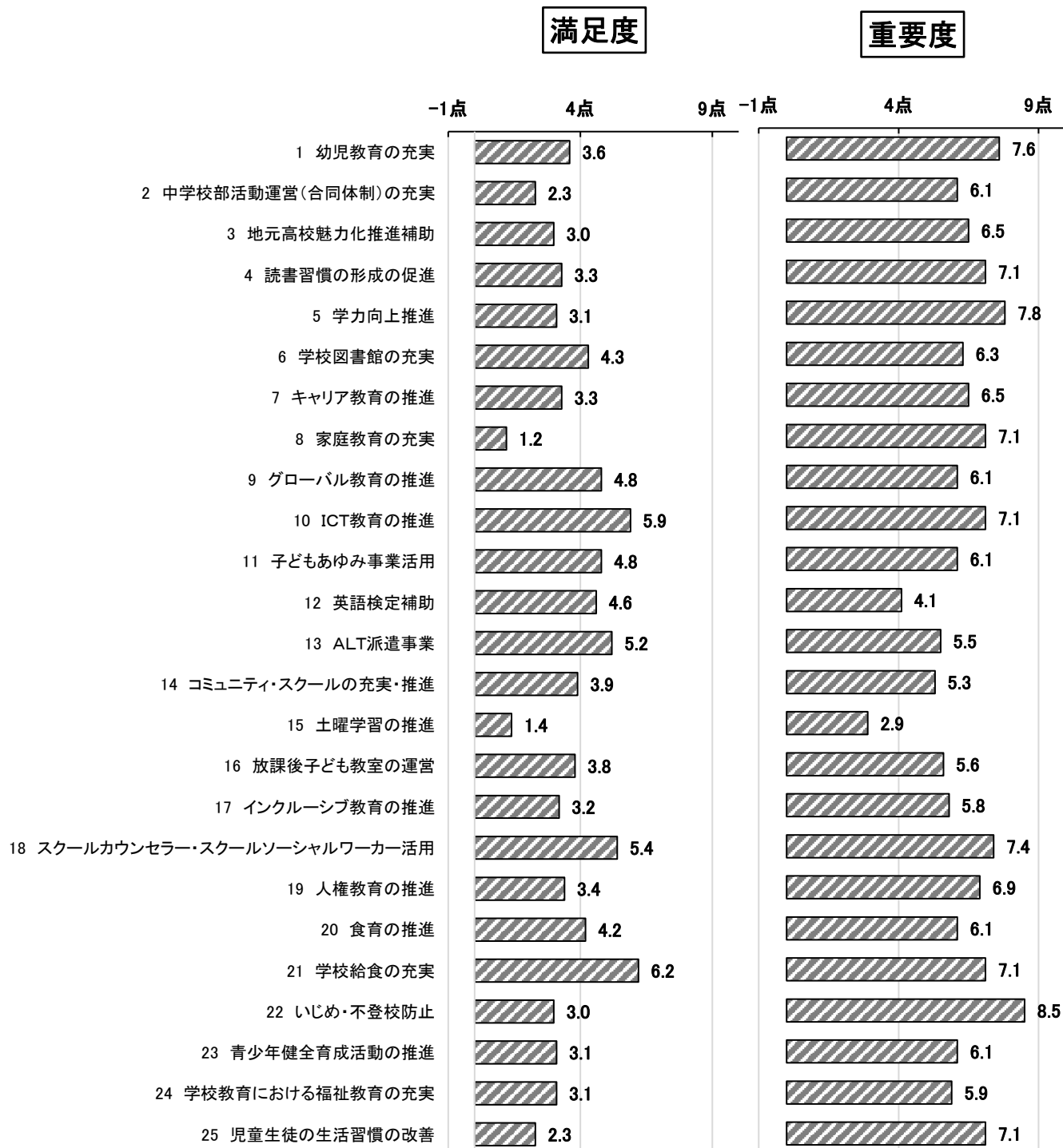
○重要度の上位回答（「重要である」＋「やや重要」の計）

- ・ 学力向上推進 97.6%
- ・ いじめ・不登校防止 97.5%
- ・ 読書習慣の形成の促進 95.1%

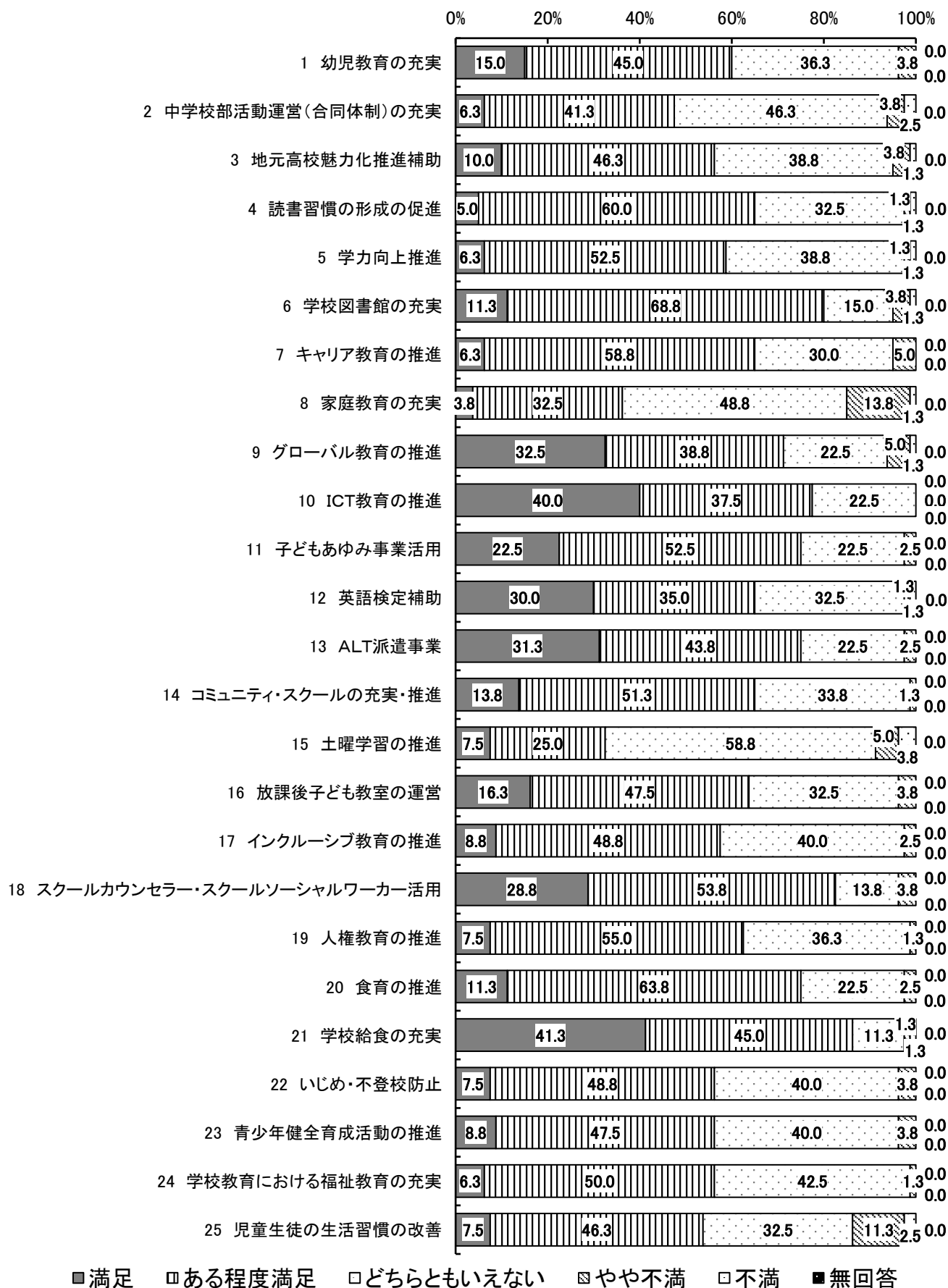
■【学校教育・SC分析】



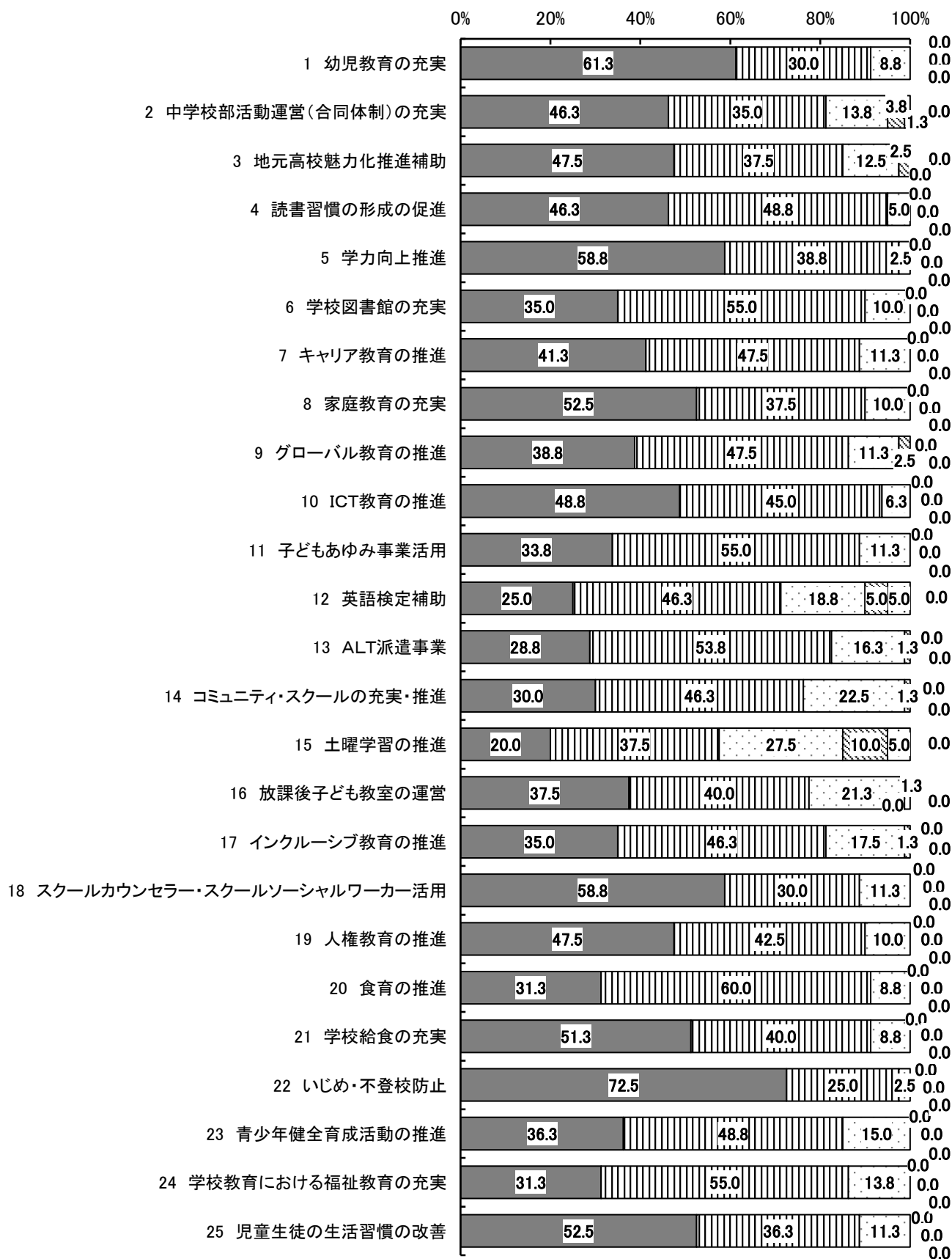
■【学校教育 満足度・重要度指数評価】



■【単数回答】学校教育・満足度



■【単数回答】学校教育・重要度



■重要である □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要でない □重要でない ■無回答

【防災教育 満足度・重要度】

○満足度指数

・防災教育の推進 4.6 ・東日本大震災の教訓復興教育 3.5

○重要度指数

・防災教育の推進 8.6 ・東日本大震災の教訓復興教育 7.4

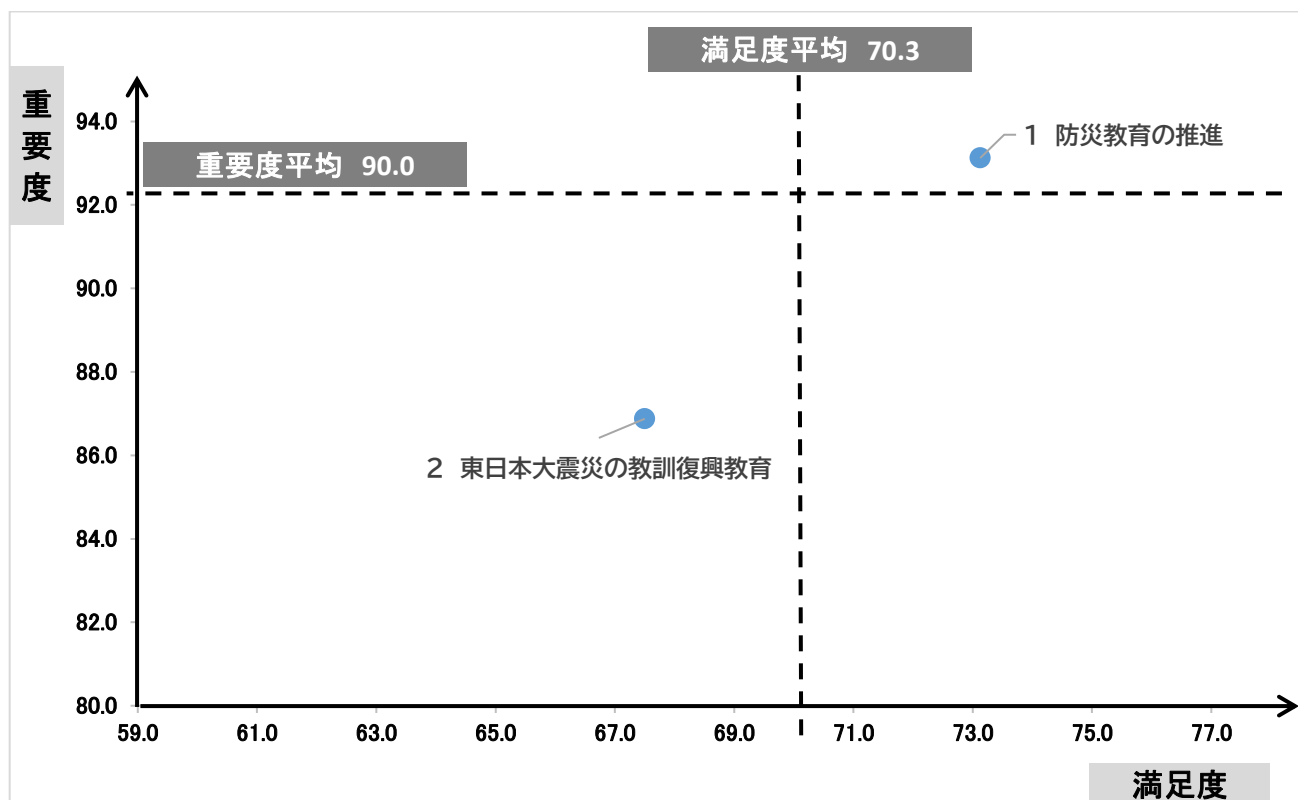
○満足度の回答（「満足」＋「ある程度満足」の計）

・防災教育の推進 80.0% ・東日本大震災の教訓復興教育 62.5%

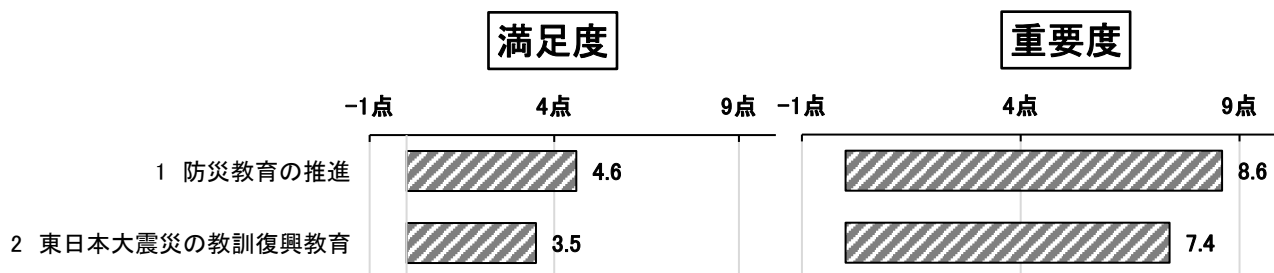
○重要度の回答（「重要である」＋「やや重要」の計）

・防災教育の推進 96.3% ・東日本大震災の教訓復興教育 91.3%

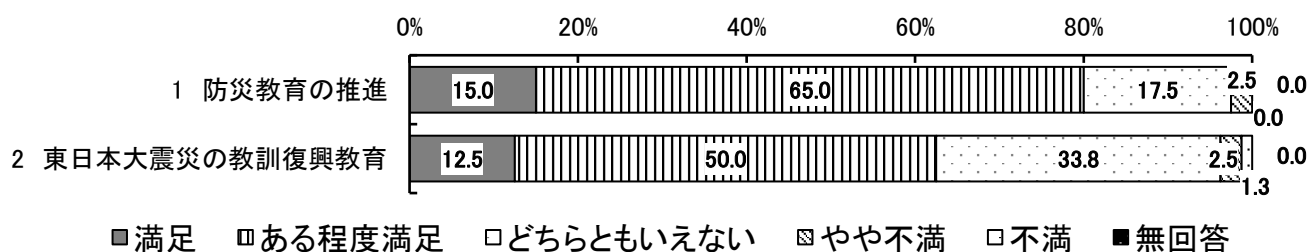
■【防災教育・SC分析】



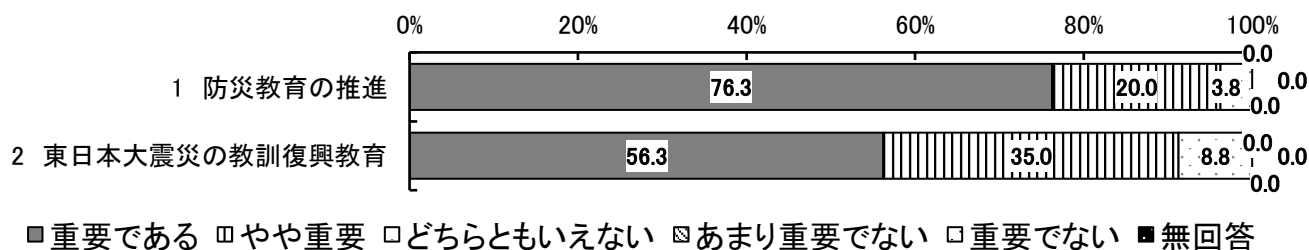
■【防災教育 満足度・重要度指数評価】



■【単数回答】防災教育・満足度（教職員）



■【単数回答】防災教育・重要度（教職員）



【生涯学習 満足度・重要度】

○満足度指数が高い

- ・図書館の運営の充実 5.2
- ・博物館の運営の充実 4.3
- ・グローバルな人財の育成 4.2

○重要度指数が高い

- ・挨拶や声掛けによる教育の充実 6.8
- ・図書館の運営の充実 6.3
- ・生涯教育の振興と充実 5.8
- ・地域づくりに取り組む人財や団体の育成 5.8
- ・地域における福祉教育の充実 5.8

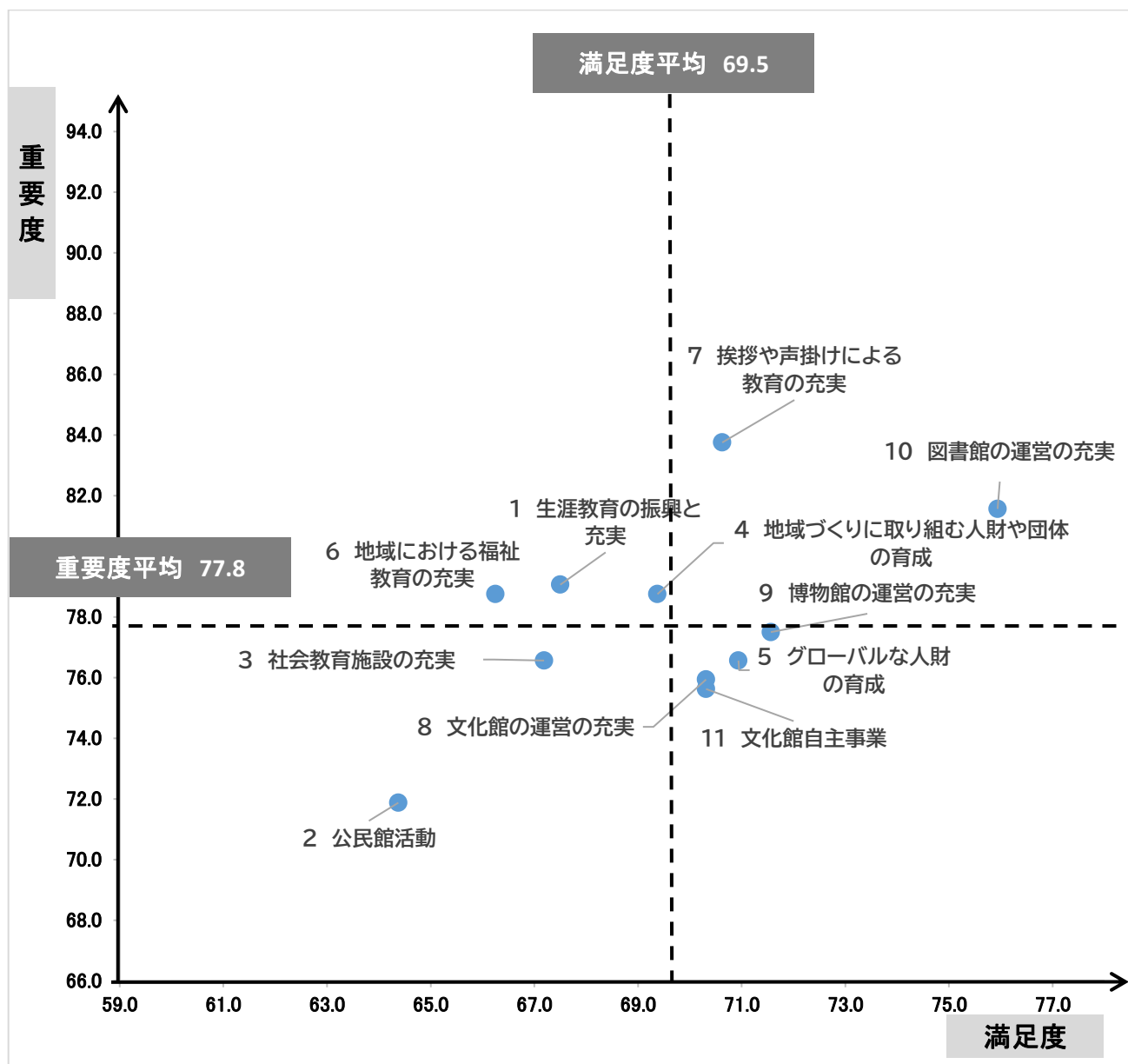
○満足度の上位回答（「満足」＋「ある程度満足」の計）

- ・図書館の運営の充実 82.6%
- ・博物館の運営の充実 72.5%
- ・挨拶や声掛けによる教育の充実 70.0%

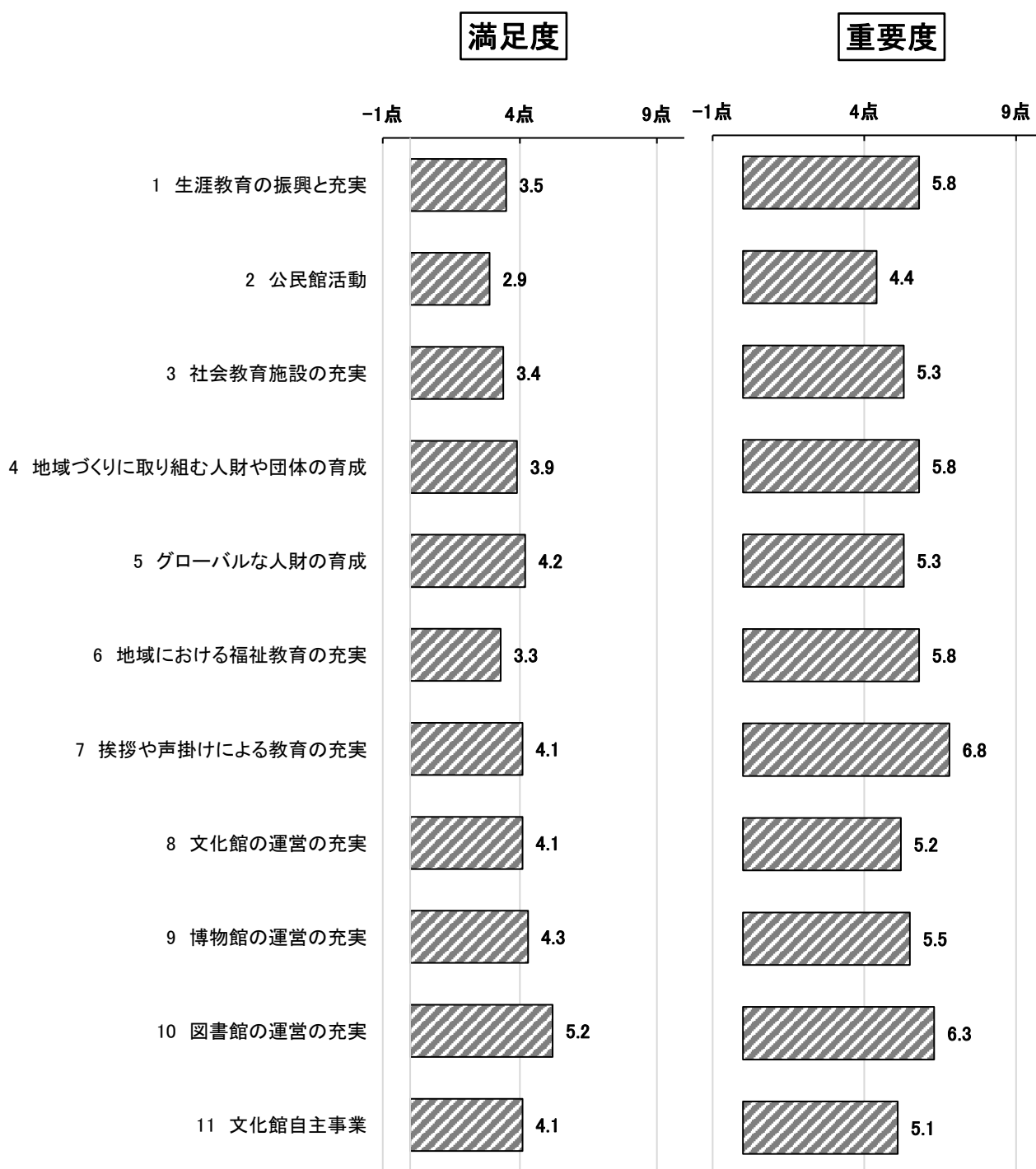
○重要度の上位回答（「重要である」＋「やや重要」の計）

- ・図書館の運営の充実 91.3%
- ・挨拶や声掛けによる教育の充実 90.0%
- ・生涯教育の振興と充実 87.6%

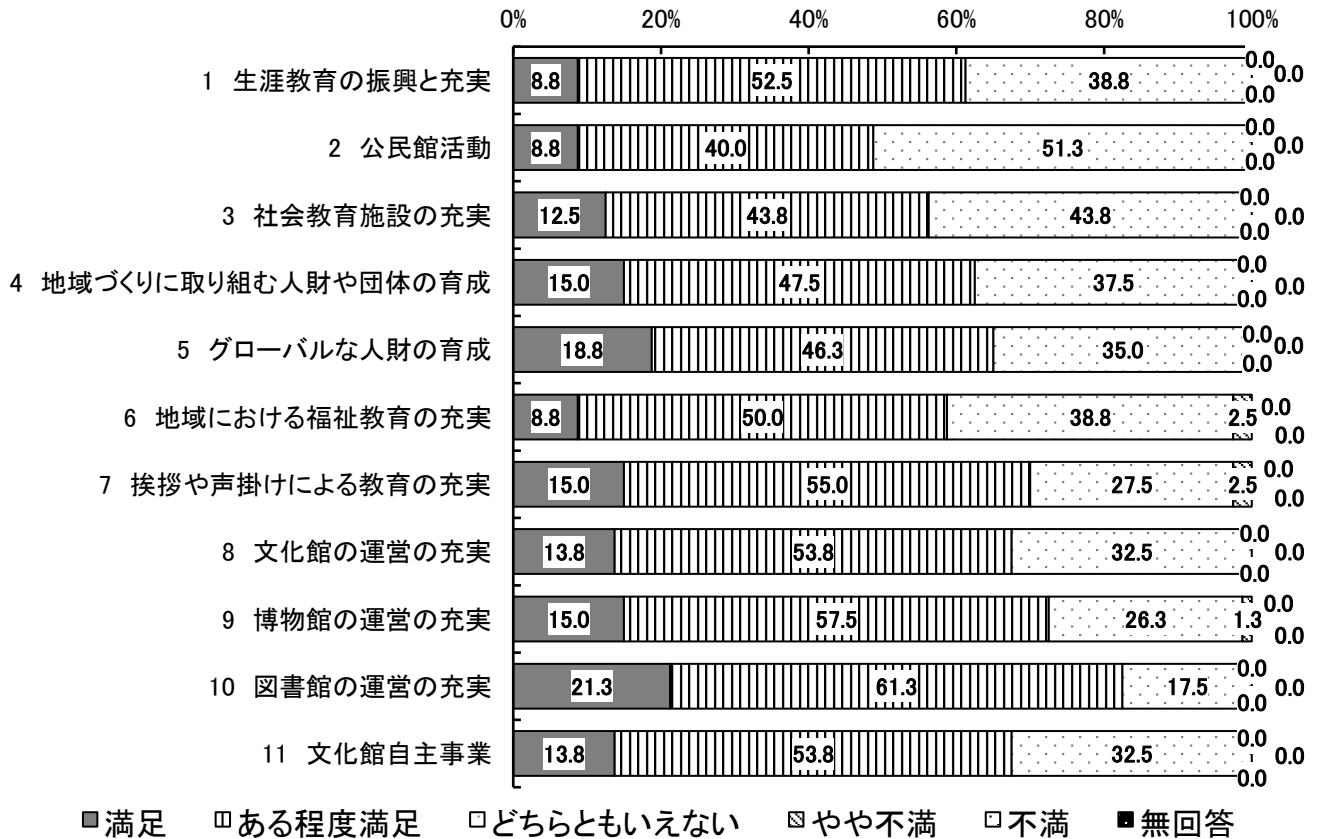
■【生涯学習・SC 分析】



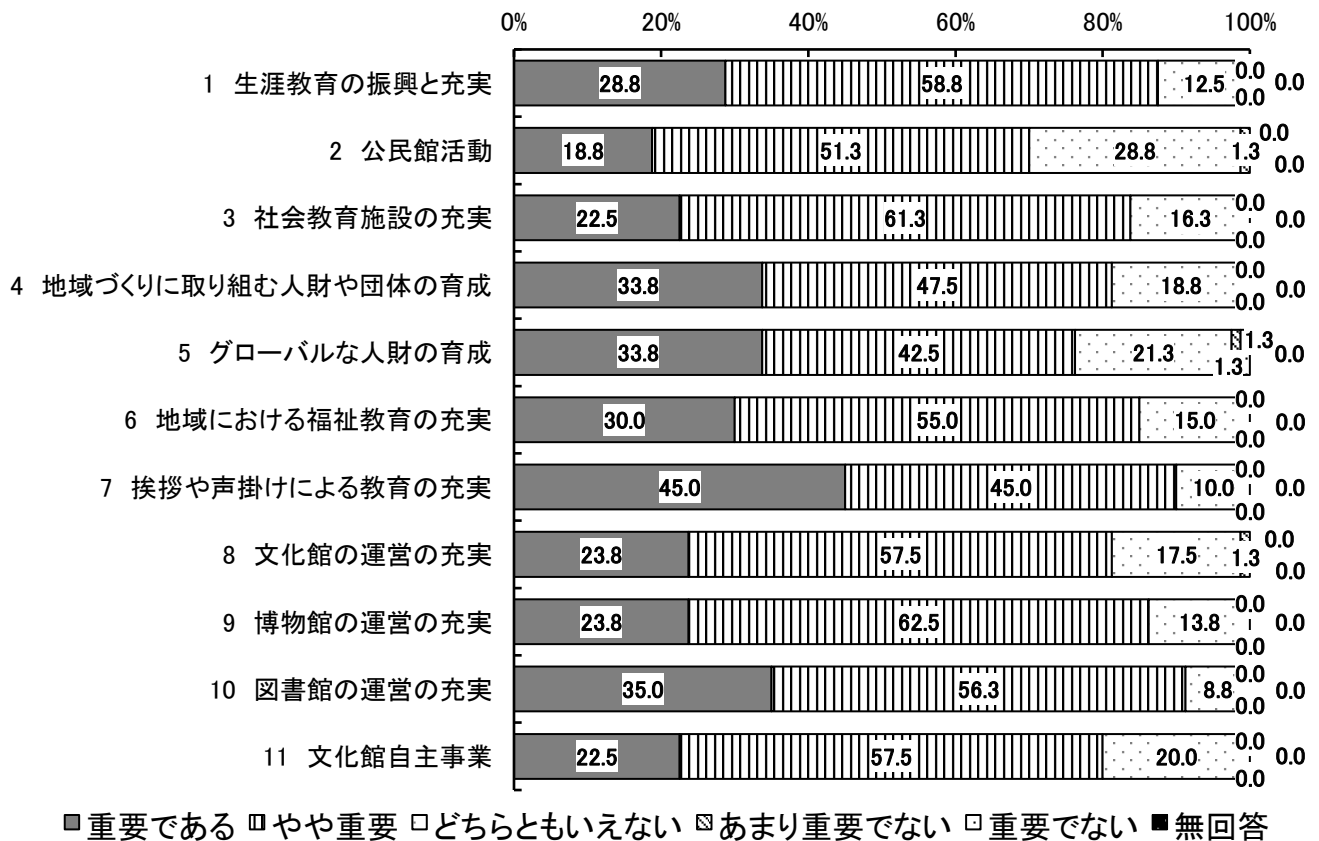
■【生涯学習 満足度・重要度指数評価】



■【単数回答】生涯学習・満足度



■【単数回答】生涯学習・重要度



問16 家庭教育で重視していること

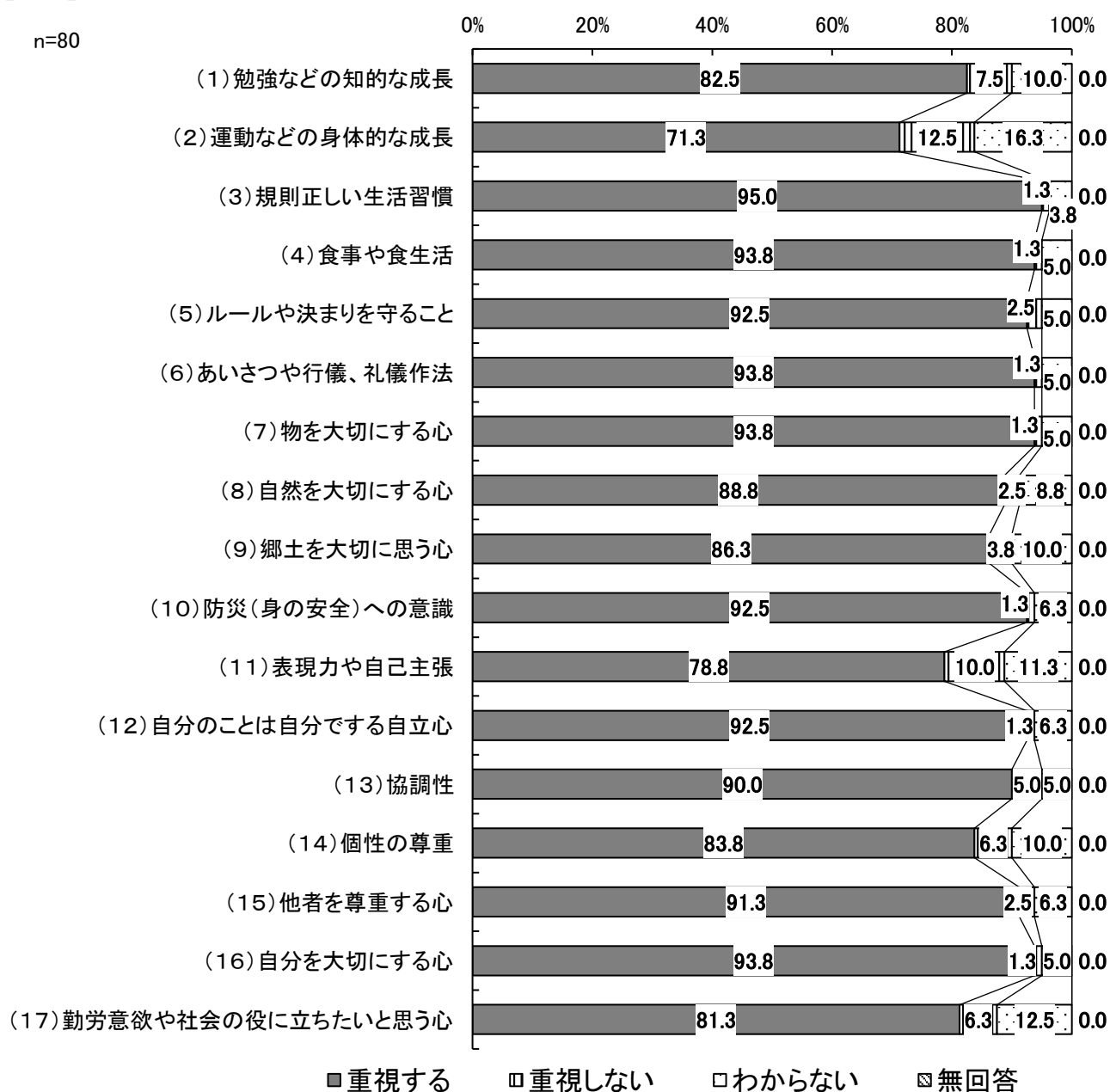
家庭教育で、次のことがらを重視していますか。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

家庭教育で重視していることについて、全体では、すべての項目について「重視する」が70%を超えています。

「重視する」の割合が高いものは、上位から「規則正しい生活習慣」95.0%、「食事や食生活」93.8%、「あいさつや行儀、礼儀作法」93.8%、「物を大切にする心」93.8%、「自分を大切にする心」93.8%となっています。

【全体】

n=80



3. 町内の小・中学校について

問17 充実・改善してほしい学校の施設・設備について

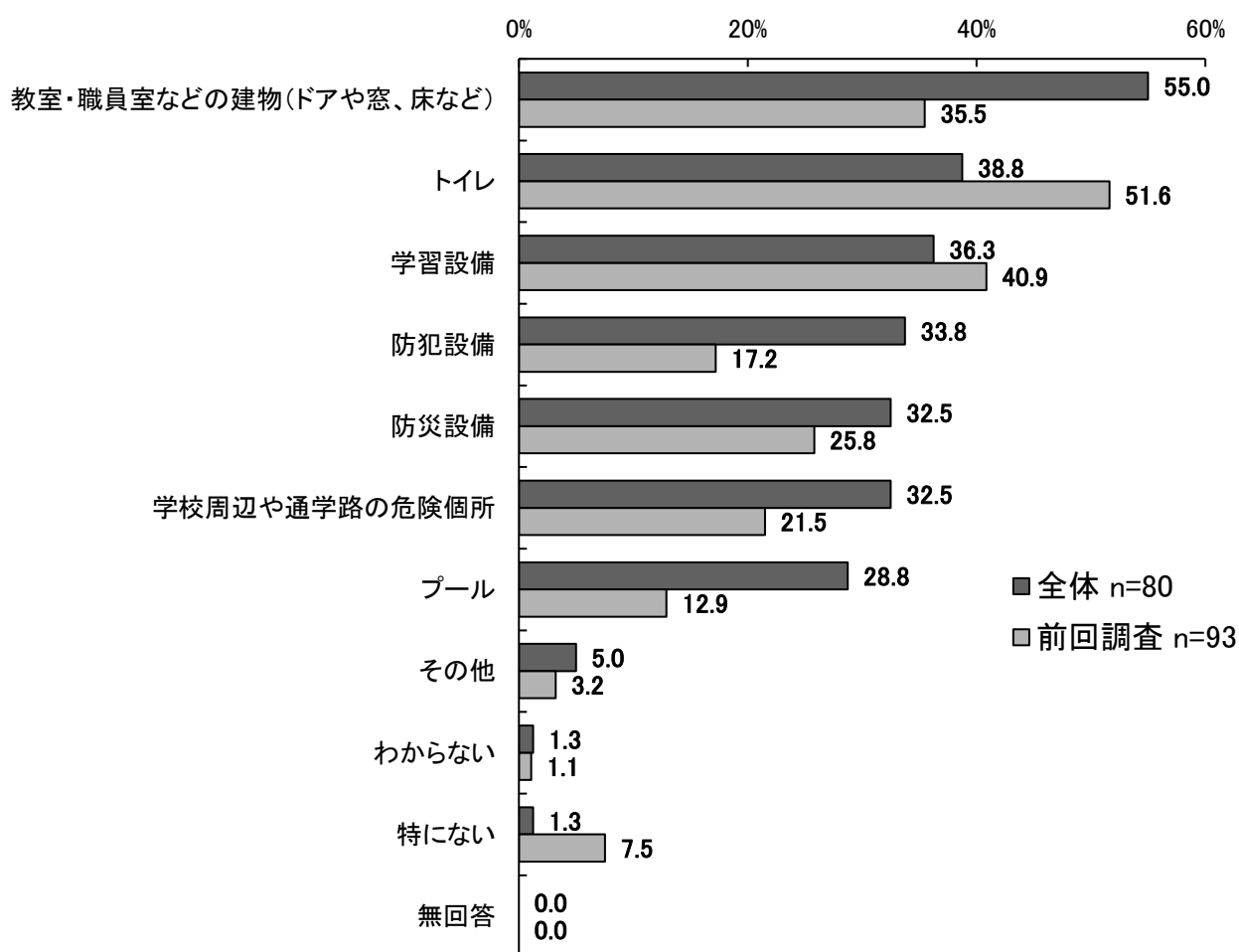
あなたは、学校の施設・設備などで、特に充実・改善してほしいことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

学校の施設・設備などで特に充実・改善してほしいことは、上位から「教室・職員室などの建物（ドアや窓、床など）」55.0%、「トイレ」38.8%、「学習設備」36.3%となっています。

前回調査と比較すると、「教室・職員室などの建物（ドアや窓、床など）」が19.5ポイント、「防犯設備」が16.6ポイント、「プール」が15.9ポイント増加しています。

【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・エアコンやクーラーを全教室や体育館に設置すること（4件）

問 18 児童・生徒の減少が子どもに与える影響

町では、少子化により、小・中学校の児童数・生徒数が減ることが予測されています。

児童や生徒の人数が減ることによって、子どもにどのような影響があると考えますか。

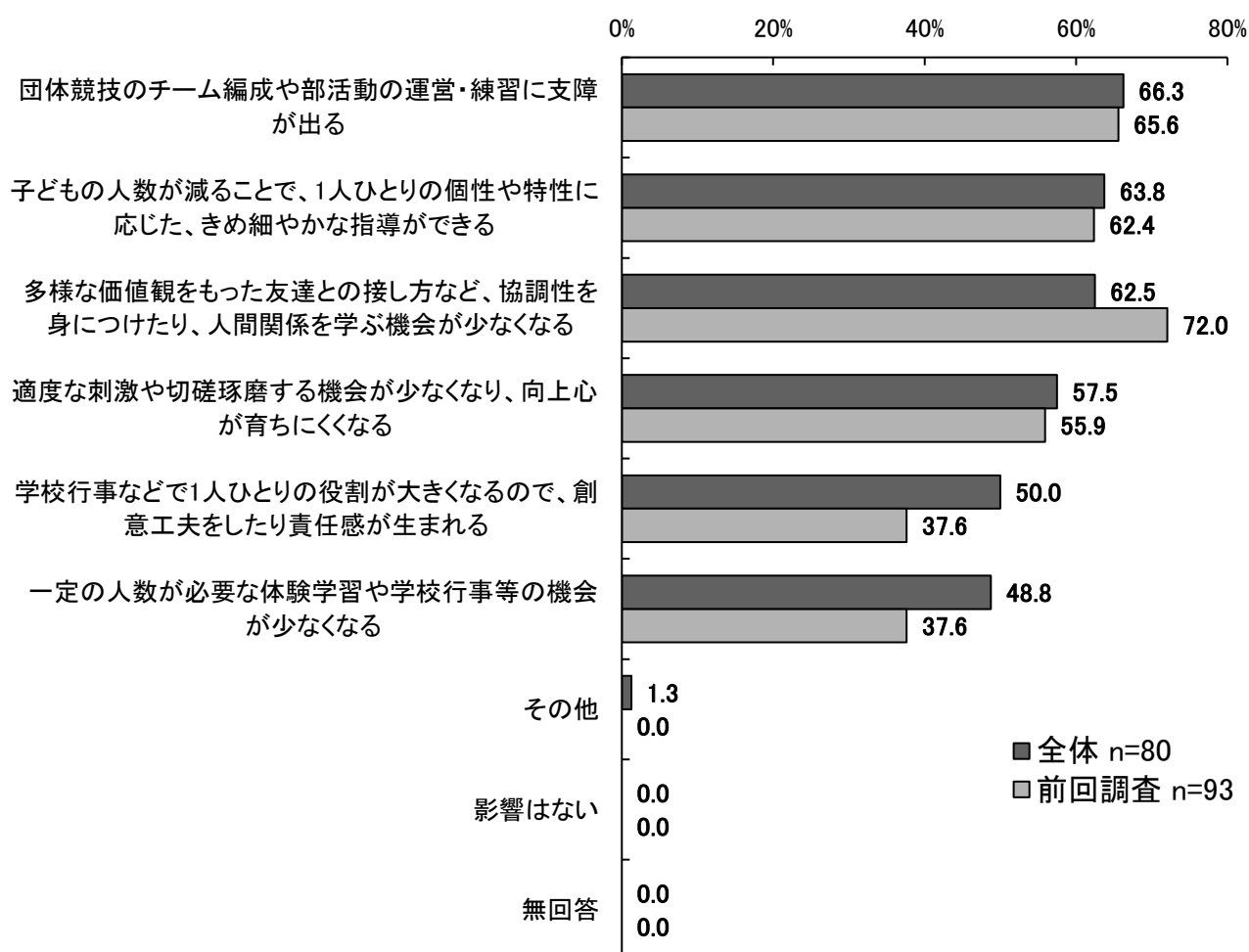
(あてはまるものすべてに○)

児童や生徒の人数が減ることによる子どもへの影響について、全体では、上位から「団体競技のチーム編成や部活動の運営・練習に支障が出る」66.3%、「子どもの人数が減ることによって、1人ひとりの個性や特性に応じた、きめ細やかな指導ができる」63.8%、「多様な価値観をもった友達との接し方など、協調性を身につけたり、人間関係を学ぶ機会が少なくなる」62.5%となっています。

前回調査と比較すると、「学校行事などで1人ひとりの役割が大きくなるので、創意工夫をしたり責任感が生まれる」が12.4ポイント増加しています。

経験年数別にみると、「学校行事などで1人ひとりの役割が大きくなるので、創意工夫をしたり責任感が生まれる」は、5年以上10年未満では77.8%と他の経験年数に比べて25ポイント以上高くなっています。

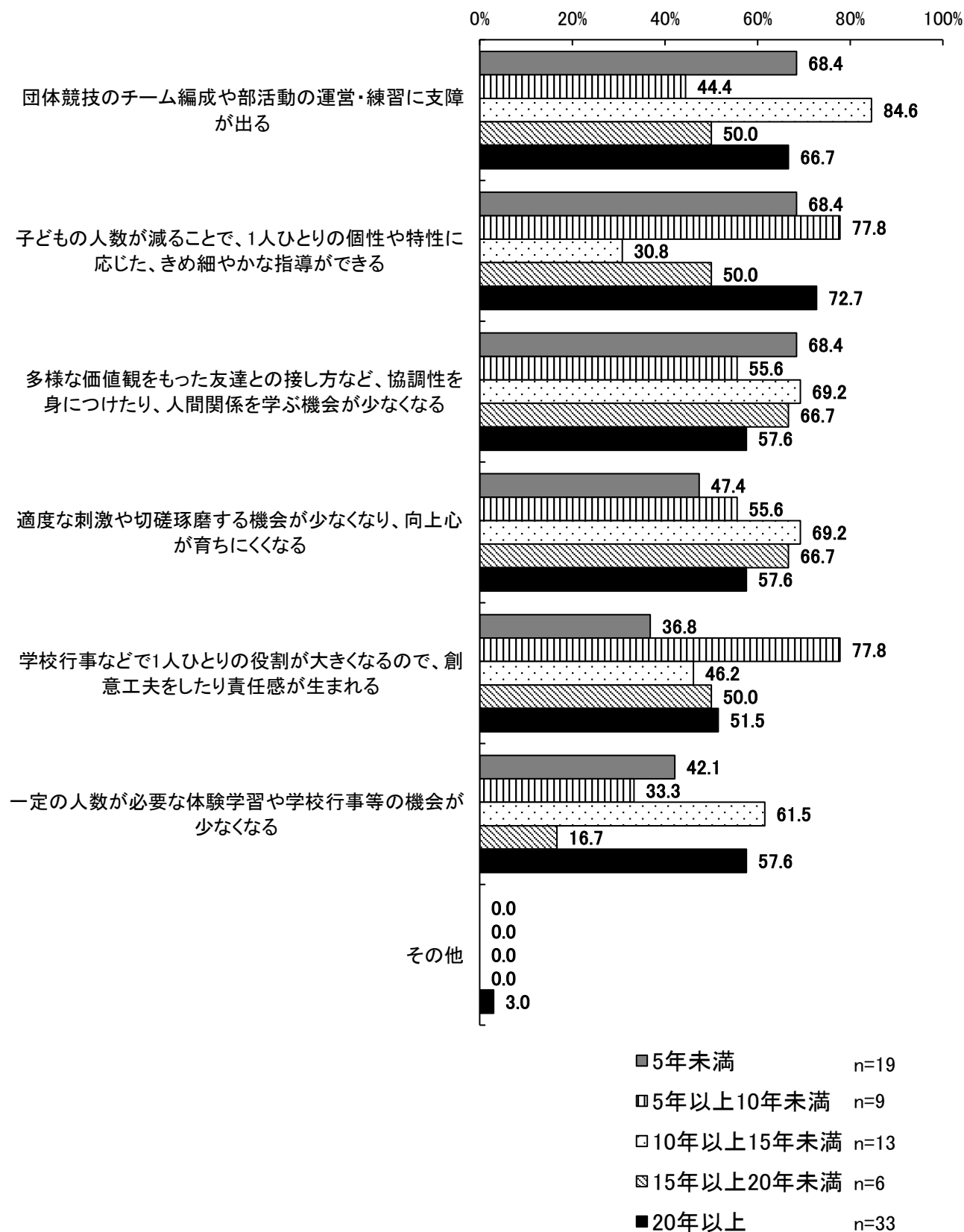
【全体・前回調査】



(その他の回答)

- ・小さい学校ならではのプラス面を考えるべきだと思う。

【経験年数別】



問 19 学校再編・統合に関するご意見

学校再編・統合について、ご意見などありましたらご自由にお書きください。（自由記述）

・仕方がないことだと思う。環境が変わることストレスもあり、不安定になることもあると思うのでフォローができる体制づくりも必要。
・統合することで一部の地域ばかりに負担がいくことのないように、配慮しながら進める必要があると思います。
・子どもの人数が減ってきているので、再編・統合は仕方ないと思います。
・子どもたちの、学習環境を考えるとある程度的人数が必要だと思います。ただ、いじめ等の問題で転校となると近くの学校がないと困るのではと思います。
・児童数の減少により、考えていく必要が生じる
・地域や保護者の意見を聞いて進めてほしい
・地域の賑わいがなくなる。
・学校がなくなったら、すぐに地域の人がいなくなる。
・現状の学校数を維持してほしい
・将来的には1つの中学校に統合されるのは仕方のないことだと思いますが、そうなる時期が少しでも遅くなればいいと思います。
・地域の方との話し合いを重視して協調しながら進めることが大切だと思う。小規模校には小規模校の良さがあるので、統合一辺倒ではないと感じる。
・人数も減ってきているので統合は仕方ないと思いますが、統合された学校の特色も残していければいいなと思います。
・学校がなくなった地域の衰退は著しいと思うのでできるだけ粘って欲しい。小さい学校ならではの良さを考える必要がある。
・計画的に進めてほしい。防災の観点から標高の高い場所の移転、もしくは高い避難所を近くに作ることも考えてはどうかと思う。
・必要だと感じるが、地域の意見も大切に進めることが大切だと思う。
・地域に学校が無くなると活気がなくなるので残したい。
・統合することでのメリットデメリットはあると思う。よく議論してもらいたいと思う。
・通学が可能であれば、早期に統合した方がいいと思う。
・地域を活性化するには、学校は必要だと考える。
・学校統合は、できるだけ先に延ばしてほしい。穴喰地区の学校存続を大切にしてほしい。
・小さい学校には小さい学校にしかできない学びがあります。多様な学びができなくなるのは残念です。
・児童数が少なくなっていないようならば、あと数年延ばしても良いのではないかなと思う。少人数だからこそ出来る学校なので、県外からの転校生が来たり、ICT教育にも力がいれられるのではないかなと思う。
・人数少ない学級よりも、ある程度人数がある学級の方が切磋琢磨する機会が増えるので良いと思う。
・子どもたちがその時にできる様々な機会を大切にしてほしい。
・現場の声をしっかり聞いてほしい。
・財政的なことを考えると再編統合という結論になってしまうが、小さい町だからこそ、特色ある素晴らしい教育が可能なのではないか。それが町の根本的な活性化に繋げて欲しい。
・海部小学校と統合をしたらいいと思います。

・ 少人数でも地域に学校は必要。安易な再編・統合には反対です。結果ありきの説明会を見直してほしいです。
・ 大人数や少人数での学校生活、それぞれにおいて、良い点や悪い点があると思うので、どちらでも子どもたちはどちらになっても頑張れると思います。

問 20 海陽町の学校教育に関するご意見

最後に、海陽町の学校教育について、ご意見やお考えをお聞かせください。（自由記述）

・ 教育に力を入れてると思います。
・ きめ細かな個別指導、グローバル教育、ICT 教育の推進など海陽町でしかできない学習方法が本当に素晴らしいと思います。少人数制の授業はデメリットも多いと思いますが、海陽町の良さが残ってくれればと思います。
・ 働き方改革を。教員にゆとりがないと思う。
・ ICT や英語、子どもあゆみ事業は大変有り難いです。今後もよろしくお願いいたします。
・ 町の規模の割に教育にたくさんの予算を使ってくれてありがたいです。
・ これからも ICT 教員と英語教育に力を入れて行ってほしいです。
・ 現状維持が続くのかな
・ いろいろな対策がなされている。
・ 頑張ってくれていると思います。これからもよろしくお願いします。
・ 移住者や特定の方だけでなく、一人ひとりが大切にされる教育をしていただきたい。
・ 英語教育は二極化になっている。英語嫌いが増えている。
・ 理数教育も充実してほしい
・ 子どもたちに何が必要なのかを見極めるのは大変難しいと思いますが、今日の前にいる子どもを大切に育てていけるような教育をしていけたらいいなと思います。
・ 文化的な刺激が少ないと感じます。自然体験だけではなく、様々な経験を通して調和の取れた人格の形成を図ることが大切ではないでしょうか。また、自立した人間になれるよう指導していかなければならないと思います。最近、最も気にかかるのは、家庭の教育力の低下です。ここ何年かで支援の必要な家庭が増えてきています。
・ 現状の海陽町の教育はとても充実している。しかし、それを支える教職員が減少している。人財の育成を含めて、確保することが大きな課題である。最初のには、「教育は人なり」なので。一番大切になってくる。
・ もう少し現場の声を聞いてほしいです。
・ 子どもの食経験を積み地元への愛着を育むためにも、さらに多く海陽町産の新鮮で美味しい食材を使用できると嬉しいです。海陽町でとれた食材を給食で提供すると、子どもたちはいつも以上に喜んでしっかり食べ、感謝の心を育むなど食育にも大きく役立っています。
・ 学校や子どもたち、地域の実態をよく考えて今後も教育に関する取組を進めて行ってほしい。
・ 海陽町は自然がいっぱいで、総合学習等で体験学習や、近くの博物館等も利用でき、環境は素晴らしいと思います。また、町有バスも利用でき大変有り難いです。英語教育に力を入れていただいていると思いますが、学校教育なので、学校との連携が不可欠だと思います。英語力を生かした職業に就くために海陽町を離れるのではなく、郷土愛を育て、将来海陽町をもり立てていく生徒が育つことを望みます。
・ 理系に力を入れてほしい。

・いつも大変お世話になっています。今後もよろしくお願いします。
・いつも、お世話になっています。現場からの無理なお願いにも素早く対応してくださり、他の郡市より大変働きやすい環境だと思います。
・学習教材購入や、配置は、他町に比べてもとても充実しており、素晴らしいと感じています。心も体も元気でいられるように、雰囲気がよい職場となることを願います。現場の声も聞いていただき、現場の現状をわかっていただけるとありがたいと思います。
・明るい未来を展望した教育方針を立てることが大切だ。
・部活動の地域移行のために、協議を進めて下さい。若手の教員が業務多忙等の理由を含め、辞めている現状を受け止めてほしいです。
・英語教育に力を入れていることで良い面もあるが、不自由を感じている生徒や教員もいると思う。グローバル社会で通用する人材の育成はこれからの社会で大切だと思う。しかし、英語を話せなくてもできる仕事はたくさんある。その分野だけに全振りしてしまうのは違うと思う。特別教室にエアコンを設置したり、各教室にホワイトボードとプロジェクターを設置したりするなど、予算を全ての生徒のために還元できるところに使ってほしい。
・学校備品等をできるだけ購入していただいたり、部活動のバスを動かすなど、多額の予算を学校教育に充てていただいて感謝しています。
・ICTの必要性は必然と思われる。しかし、グローバル教育については、論理的に母国語で考えることができても遅くはない。しかも、これからの時代に必要と言われると、英語を楽しく学習することでどれだけの人材が育つかという有効性よりも、地域学習などで培われた自尊心を持って、国際社会で活躍する人材の方が求められているように思う。徳島教育大綱でも、グローバルな人材の育成が言われていることとも呼応するが、どれだけ、自分や地域のことを把握し、自信を持った上で、自分の意見などを、方法として英語を使って表現することが大事ではないかと思われる。英語を習得することが目的ではなく、英語は方法の一つであるのではないかと考える。
・子供を大切に育ててほしい。
・英語教育に力を入れるのはわかりますが、それで、英語きらいを増やしてないのか危惧します。中学に進学するまでに、自分は英語が苦手だと、自信を失いいやになっている児童もいます。自身の学校の英語の先生はそれを熱心にくださっています。ありがたいです。
・クラスの半分が支援学級の児童で、入級をしていなくても支援が必要な児童が多い。質の良い町費の先生を増やして欲しい。
・学校現場には町費教員等を配置していただき助かっています。子供たちは個性を伸ばし生き生きと学校生活を送ることができています。これからも地域の宝である子供たちのために微力ではありますが尽くしていきたいと考えています。
・特別支援が必要な子どもの割合が多く、特に家庭に支援が必要な子どもが多すぎて学校現場としては困っている。
・住民みんなが学び続けられるよう、様々な機会を作ってほしい。
・机上論でなく、現場の声をしっかり聞いてほしい。困っていることを放置せず、せめて現状を知って、その上で動いてほしい。
・ICTやグローバル化など特色ある教育を積極的に発信されていること、素晴らしいと思います。
・特別支援教育に力を入れてくださり、ありがとうございます。就学前か一年生でウイスク検査をしていただけるとありがたいです。就学前に視覚支援の先生にもみていただきたいです。

・グローバル教育に力を入れるのも一つの方法ではあると思うが、他の基礎的な学力も身につけさせる必要があると思う。英語だけ特化するのではなく、上手く考えてほしい。また、グローバル教育に力を入れることによって、英語への苦手感をもつ生徒もいるので、考えてほしい。
・他の市町村と比較して教育に力を入れていると聞く。今後も教育に対して熱心であり続けてほしい。
・こども達が心豊かに育っている事が素晴らしいと思います。これはこの土地の良さだと感じます。教育の分野でこども園、小学校、中学校、高校とそれぞれのゴールを分かりやすく示してほしいです。それぞれが連携し合って総合的に伸びていく教育であってほしいと願っています。
・グローバル教育が進んでいるのは本当に素晴らしいですが、やりすぎの点はいなめません。バランスが大切だと思います。
・ICT教育も進んでいて良い教育環境で取り組んでいると思います。